



パーソナルコンピューター
VGN-T シリーズ
取扱説明書

付属マニュアル一覧

取扱説明書類

バイオを使う上での基本



■ 取扱説明書 (本書)

- ・付属品を確認する
- ・準備をする
- ・インターネットやメールをする
- ・拡張する
- ・リカバリする
- ・トラブルの解決
- ・サービス・サポート情報を見る

バイオの楽しみかたを紹介



■ VAIOで楽しもう！

付属のソフトウェアの楽しみかたを紹介しています。

バイオの画面で見るマニュアル

すべての情報を集約



■ バイオ電子マニュアル

バイオについてのすべての情報が記載されています。

- ▶ [スタート] メニューから [すべてのプログラム] → [バイオ電子マニュアル] の順にクリックする。

楽しみかたを画面で紹介



■ How to VAIO

デジタル写真、デジタル音楽、デジタル映像の楽しみかたを紹介します。

- ▶ 「バイオ電子マニュアル」の [バイオを楽しく学ぶ] をクリックする。

本機に関する重要なお知らせ



■ 重要なお知らせ

バイオを使う上でご覧いただきたい情報です。

- ▶ [スタート] メニューから [すべてのプログラム] → [重要なお知らせ] の順にクリックする。

ソフトウェアの詳しい使いかたを説明

■ ヘルプ

付属のソフトウェアの詳しい使いかたを説明します。

- ▶ 各ソフトウェアの [ヘルプ] メニューからそれぞれのヘルプを起動する。



パーソナルコンピューター
VGN-T シリーズ

Microsoft® Windows® XP Professional 搭載モデル
Microsoft® Windows® XP Home Edition 搭載モデル

はじめに

本機をセットアップ
する

インターネットを
始める

困ったときは

サービス・サポート

その他

お買い上げいただきありがとうございます。



警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と本機を
使う前の必要な準備について説明しています。この説明書を
よくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みにな
ったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してくだ
さい。



目次

「バイオ電子マニュアル」の使いかた	6
バイオ電子マニュアル 目次	7
安全規制について	8
安全のために	11

はじめに

付属品を確認する	18
説明書・その他	18
各部の説明	19
本機正面	19
本機右側面	23
本機左側面	24
本機後面	25
本機底面	25
キーボード各部の名称	26

本機をセットアップする

電源を入れる	28
バッテリーを上手に使うには	29
電源を切るには	30
Windowsを準備する	31
Windows セキュリティ センターについて	33
カスタマー登録する	34
VAIOカスタマー登録について	34
VAIOカスタマー登録の方法	34
VAIOカスタマー登録情報を変更するには	38
基本設定を行う	39
Do VAIOの設定をする	39
パスワードについて	39

インターネットを始める

インターネットとは	42
ホームページを見る	42
電子メールをやりとりする	42
情報を発信する	42
インターネット接続方法の種類について	43
インターネット接続に必要なものは	44
インターネット上のトラブルについて	45
インターネットに接続するまでの流れ	46
インターネットに接続したあとは	47
一般電話回線／ADSL／ISDN／CATVインターネット回線につなぐ	47
一般の電話回線につなぐときは	47
ADSL接続サービスを利用するときは	49
ISDN回線を利用するときは	49
CATVインターネット回線を利用するときは	49
チェックシートを作成する	50
設定項目について	51
ADSLでインターネットに接続する	54
接続のための設定をする	54
一般電話回線でインターネットに接続する (モデム搭載モデル)	55
接続のための設定をする	55
インターネットに接続する	59
接続を切断するには	60
電子メールソフトウェアの設定をする	61
電子メールの設定を変更するには	62
電子メールをやりとりする	63
セキュリティについて	66

困ったときは

困ったときは	70
バイオ電子マニュアルQ&A一覧	72
よくあるトラブルと解決方法	76
電源／起動	76
パスワード	79
画面／ディスプレイ	80
文字入力／キーボード	82
タッチパッド	84
ハードディスク	86
エラーメッセージ	87

サービス・サポート

VAIOカスタマー登録について	90
「VAIO Update」を利用するには	91
バイオ内の情報を調べる	92
VAIOカスタマーリンクの ホームページを確認する	95
VAIOカスタマーリンクに 電話で問い合わせる	98
修理を依頼されるときは	100
その他のサービスとサポート	103
お問い合わせ先について	105
保証書とアフターサービス	107
お客様の個人情報のお取扱いについて	107

その他

メモリモジュールを取り付ける／はずす	110
メモリモジュールを取り付けるには	110
メモリモジュールを取りはずすには	115
リカバリについて	117
リカバリとは	117
リカバリの種類／方法	118
リカバリの準備(バックアップ)	120
バックアップしたデータを戻す	121

リカバリディスクを作成する	122
リカバリに使用するディスクについて	122
リカバリディスクを作成するには	123

リカバリする	124
Windowsからリカバリする	124
Windowsが起動しない状態で リカバリする	127
本機をお買い上げ時状態に戻す	127

パーティションサイズを変更する	128
パーティションとは	128
パーティションサイズを変更するには	129
ハードディスク上のリカバリ領域を 削除する	129

使用上のご注意	131
---------	-----

お手入れ	135
------	-----

コンピュータ廃棄時などの ハードディスク上のデータ消去について	136
------------------------------------	-----

付属ソフトウェアのお問い合わせ先	136
------------------	-----

主な仕様	141
------	-----

索引	143
----	-----

▶▶▶ 次ページに続く

本書に記載以外のさらに詳しい情報は、「バイオ電子マニュアル」に掲載しています。
「バイオ電子マニュアル」の目次は次ページをご覧ください。

はじめに

本機をセッティング
する

インターネットを
始める

困ったときは

サービス・サポート

その他

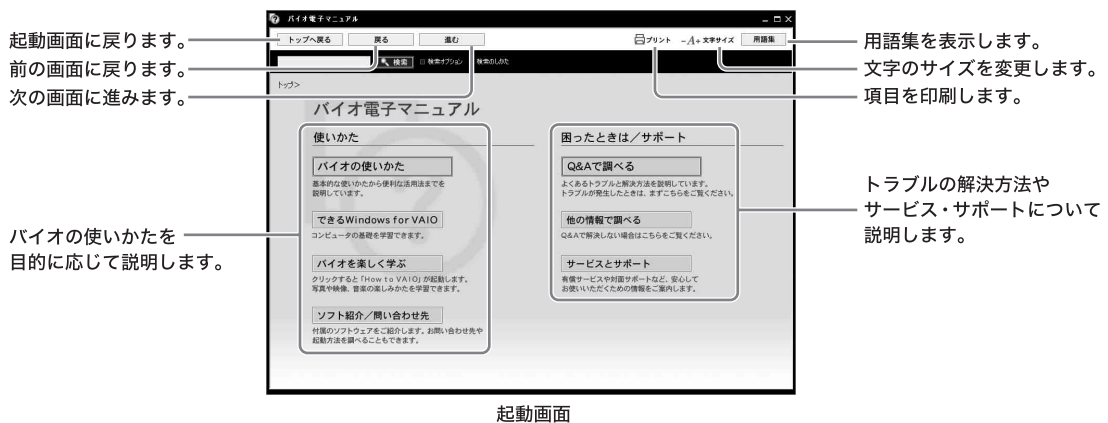
「バイオ電子マニュアル」の使いかた

「バイオ電子マニュアル」は、本機の使いかたや困ったときの解決方法などを画面上で調べることができる電子マニュアルです。

1 [スタート]ボタン→[すべてのプログラム]→[バイオ電子マニュアル]の順にクリックする。

「バイオ電子マニュアル」が表示されます。

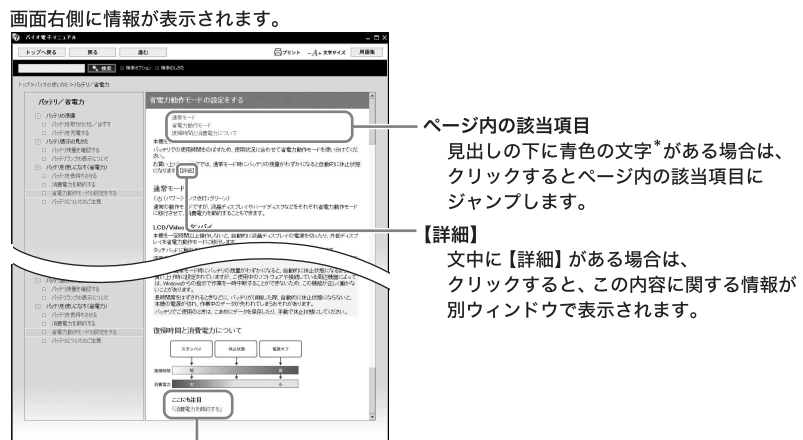
2 見たい項目をクリックする。



起動画面

例：消費電力を節約する方法を知りたいとき

起動画面の [バイオの使いかた] → 「機能／設定」の [バッテリー／省電力] → [省電力動作モードの設定をする] の順にクリックする。



ここにも注目

ページの最後に「ここにも注目」がある場合は、青色の文字*をクリックすると、このページに関連する情報のページを表示します。

* ポインタをあてると下線が引かれる文字

バイオの使いかた

「バイオの使いかた」には以下の情報が収録されています。

機能／設定

- 各部の説明
- 電源／起動
- バッテリ／省電力
- 画面／ディスプレイ
- 文字入力／キーボード
- タッチパッド
- DVDボタン
- メモリ
- ご注意／その他

楽しむ／保存する

- Do VAIOで楽しむ
- 映像
- 写真
- 音楽
- スピーカー／ヘッドホン／マイク
- “メモリースティック”
- フロッピーディスク
- PCカード
- データの保存

インターネット／ネットワーク

- インターネット／電子メール
- ネットワーク (LAN)
- ワイヤレスLAN
- i.LINK
- USB
- プリンタ
- ドライバ
- ポートリプリケーター

できるWindows for VAIO

コンピュータの基礎を学習できます。

バイオを楽しく学ぶ

「How to VAIO」で写真や映像、音楽の楽しみかたを学習できます。

ソフト紹介／問い合わせ先

付属のソフトウェアを紹介します。
お問い合わせ先や起動方法を調べることもできます。

Q&Aで調べる

「Q&Aで調べる」には以下の情報が収録されています。

機能／設定

- 電源／起動
- パスワード
- 省電力動作モード
- 画面／ディスプレイ
- 文字入力／キーボード
- タッチパッド
- ハードディスク
- プロセッサ (CPU)
- ファン
- メモリ

楽しむ／保存する

- CD／DVDディスク
 - CD／DVDの再生
 - CD／DVDの作成
- スピーカー／ヘッドホン
- マイク
- “メモリースティック”
- フロッピーディスク
- PCカード
- ソフトウェア

インターネット／ネットワーク

- インターネット接続
 - ダイヤルアップ
 - ADSL
 - ネットワーク (LAN)
 - 携帯電話
- インターネット閲覧
- 電子メール
- ワイヤレスLAN
- i.LINK／DV機器
- プリンタ
- ポートリプリケーター

その他

- カスタマー登録
- エラーメッセージ
- リカバリ (再セットアップ)
 - リカバリについて
 - リカバリディスクを作成する
 - リカバリする
 - パーティションサイズを変更する

他の情報で調べる

Q&Aで解決しない場合にご覧ください。

サービスとサポート

有償サービスや対面サポートなどをご案内します。

安全規制について

電気通信事業法に基づく認定について

本製品は、電気通信事業法に基づく技術基準適合認定を受けています。認証機器名は次のとおりです。

認証機器名: PCG-4C1N

電波法に基づく認証について

本機内蔵のワイヤレスLANカードは、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- ・ 本機内蔵のワイヤレスLANカードを分解／改造すること
- ・ 本機内蔵のワイヤレスLANカードに貼られている証明ラベルをはがすこと

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

漏洩電流自主規制について

この装置の本体およびディスプレイは、それぞれ社団法人電子情報技術産業協会(旧JEIDA)のパソコン基準(PC-11-1988)に適合しております。

瞬時電圧低下について

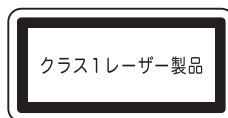
本装置は、社団法人電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。

しかし、本規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

(社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格に基づく表示)
ただし、バッテリー未搭載でACアダプタを使用している場合は、規定の耐力がないため、ご注意ください。

レーザー安全基準について

- ・ 本製品は、レーザーに関する安全基準(JIS-C-6802)クラス1に適合しています。
本機底面に下記認証ラベルを表示しています。



- ・ 本製品に内蔵しているDVD±RWドライブまたはCD-RW/DVD-ROM一体型ドライブについて修理が必要な場合は、必ずVAIOカスタマーリンクに依頼してください。
お客様ご自身で本体からドライブを取りはずしたり分解することは大変危険ですので、絶対に行わないでください。
本機のキーボードを取りはずすと、下記注意ラベルを表示しています。



本機の内蔵モデムについて

本機の内蔵モデムは、諸外国で使用できる機能を有していますが、日本国内で使用する際は、他の国や地域のモードをご使用になると電気通信事業法(技術基準)に違反する行為となります。お買い上げ時の設定は「日本国モード」となっておりますので、そのままご使用ください。

無線の周波数について

本製品は2.4 GHz帯を使用しています。他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本製品の使用上のご注意

本製品の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

- 1) 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 2) 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変え、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。

- 3) 不明な点その他お困りのことが起きたときは、VAIO カスタマーリンクまでお問い合わせください。VAIO カスタマーリンクについては、付属の「バイオ サービス・サポートのご案内」をご覧ください。

2. 4DS/OF4

この表示のある無線機器は2.4 GHz帯を使用しています。変調方式としてDS-SS変調方式およびOFDM変調方式を採用し、与干渉距離は40 mです。

ワイヤレスLAN製品ご使用時におけるセキュリティについて

ワイヤレスLANではセキュリティの設定をすることが非常に重要です。

セキュリティ対策を施さず、あるいはワイヤレスLANの仕様上やむを得ない事情により、セキュリティの問題が発生してしまった場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。

詳細については、

http://vcl.vaio.sony.co.jp/notices/security_wirelesslan.html

をご覧ください。

ワイヤレスLAN機能について

本機内蔵のワイヤレスLAN機能はWFA (Wi-Fi Alliance) で規定された「Wi-Fi (ワイファイ) 仕様」に適合していることが確認されています。

著作権について

- 本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 著作物の複製および利用にあたっては、それぞれの著作物の使用許諾条件および著作権法を遵守する必要があります。著作権者の許可なく、複製または利用すること、取り込んだ映像・画像・音声に変更、切除その他の改変を加え、著作物の同一性を損なうこと等は禁じられています。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象商品に関する基準を満たしていると判断します。



国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっております。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク (ロゴ) は参加各国の間で統一されています。

充電式電池の収集・リサイクルについて

リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。



Li-ion

充電式電池の収集・リサイクルおよびリサイクル協力店に関する問い合わせ先: 有限責任中間法人JBRC

ホームページ: <http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html>

使用済みコンピュータの回収について



リサイクル

このマークが表示されているソニー製品は、新たな料金負担無しでソニーが回収し、再資源化いたします。

詳細はソニーのホームページ <http://www.sony.co.jp/pcrecycle/> をご参照ください。

個人・ご家庭のお客様へ

個人・ご家庭でご使用になりましたバイオを廃棄する方法について詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「機能/設定」の[ご注意/その他]→[その他]→[使用済みコンピュータの回収について]の順にクリックする。)

事業者のお客様へ

事業で(あるいは、事業者が)ご使用になりましたバイオを廃棄する場合は、<http://www.sony.co.jp/pcrecycle/> より、事業者向けのページをご覧ください。

この商品はグリーン購入法における判断基準を満たしています。



この説明書は、本文に 100%古紙再生紙と VOC(揮発性有機化合物)ゼロ植物油型インキを使用しています。

この説明書の説明図や画面について

この説明書で使われている説明図や画面は実際のものとは異なる場合があります。特に指示のない限り、本文中の説明図には VGN-T70B/L を使用しています。

- 取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、および貸与することを禁じます。
- 本機の保証条件については、同梱の当社所定の保証書をご参照ください。
- 本機に付属のソフトウェアの使用権については、各ソフトウェアのソフトウェア使用許諾契約書をご参照ください。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は、一切その責任を負いかねます。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 付属のソフトウェアが使用するネットワークサービスは、ソニーおよび提供者の判断にて中止・中断する場合があります。その場合、付属のソフトウェアまたはその一部の機能がご使用いただけなくなることがありますので、あらかじめご了承ください。

⚠ 警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故につながることもあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

12～16ページの注意事項をよくお読みください。
製品全般の注意事項が記載されています。

故障したら使わない

すぐにVAIOカスタマーリンク修理窓口にて修理をご依頼ください。

万一異常が起きたら

- ・煙が出たら
- ・異常な音、においがしたら
- ・内部に水、異物が入ったら
- ・製品を落としたり、キャビネットを破損したとき



- ① 電源を切る
- ② 電源コードや接続ケーブルを抜き、バッテリーを取りはずす
- ③ VAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に点検・修理を依頼する

データはバックアップをとる

ハードディスク内の記録内容は、バックアップをとって保存してください。ハードディスクにトラブルが生じて、記録内容の修復が不可能になった場合、当社は一切その責任を負いません。

警告表示の意味

この説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



危険 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。



警告 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながる可能性があります。



注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



注意



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



水ぬれ禁止



ぬれ手禁止

行為を指示する記号



指示



プラグをコンセントから抜く



警告
下記の注意事項を守らないと火災・感電などにより死亡や大けがの原因となります。

電源コードを傷つけない



禁止

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- ・ 本機と机や壁などの間にはさみこんだりしない。
- ・ 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- ・ 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- ・ 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- ・ 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には置かない



禁止

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となります。この説明書に記されている使用条件以外の環境でのご使用は、火災や感電の原因となります。

内部に水や異物を入れない



水ぬれ禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いてください。

モデムは一般電話回線以外に接続しない



禁止

本機の内蔵モデムをISDN(デジタル)対応公衆電話のデジタル側のジャックや、構内交換機(PBX)へ接続すると、モデムに必要以上の電流が流れ、発熱・火災の原因となります。

特に、ホームテレホン・ビジネスホン用の回線などには、絶対に接続しないでください。

内部をむやみに開けない



分解禁止

- ・ 本機および付属の機器(ケーブルを含む)は、むやみに開けたり改造したりすると火災や感電の原因となります。
- ・ メモリモジュールを取り付けたり、取りはずすときは、「メモリモジュールを取り付ける／はずす」(110ページ)に従って注意深く作業してください。また、指定されている部分以外には触れないでください。指定以外の部分にむやみに触れると、火災や感電の原因となります。

指定のACアダプタ以外は使用しない



禁止

火災や感電の原因となります。

ひざの上で長時間使用しない



禁止

長時間使用すると本機の底面が熱くなり、低温やけどの原因となります。

本機は日本国内専用です



指示

本機に内蔵されているモデムは国内専用です。海外などでモデムを使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

(ネットワーク/LAN) コネクタに指定以外のネットワークや電話回線を接続しない



禁止

本機の  (ネットワーク/LAN) コネクタに次のネットワークや回線を接続すると、コネクタに必要な以上の電流が流れ、発熱、火災の原因となります。

特に、ホームテレホンやビジネスホンの回線には、絶対に接続しないでください。

- 10BASE-Tと100BASE-TXタイプ以外のネットワーク
- 一般電話回線
- ISDN(デジタル)対応公衆電話のデジタル側のジャック
- PBX(デジタル式構内交換機)回線
- ホームテレホンやビジネスホンの回線
- 上記以外の電話回線など

また、 (ネットワーク/LAN) コネクタをお使いになるときは、職場などのネットワーク管理者にご相談ください。

落雷のおそれがあるときは本機を使用しない



禁止

落雷により、感電することがあります。雷が予測されるときは、火災や感電を防ぐためにテレホンコードや電源プラグを抜いてください。また、雷が鳴りだしたら、本機には触らないでください。

警告

下記の注意事項を守らないと、医療機器などを誤動作させるおそれがあり事故の原因となります。

満員電車の中など混雑した場所ではワイヤレス機能を使用しない



禁止

付近に心臓ペースメーカーを装着されている方がいる可能性のある場所では、電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

心臓ペースメーカーの装着部位から 22 cm 以上離して使用する



禁止

電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くではワイヤレス機能を使用しない



禁止

電波が影響を及ぼし、医療用電気機器の誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

航空機内ではワイヤレス機能を使用しない



禁止

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、ワイヤレス機能を使用しない



禁止

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

⚠ 警告

下記の注意事項を守らないと、健康を害するおそれがあります。

ディスプレイ画面を長時間続けて見ない



禁止

ディスプレイなどの画面を長時間見続けると、目が疲れたり、視力が低下するおそれがあります。

ディスプレイ画面を見続けて体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

キーボードを使いすぎない



禁止

キーボードやタッチパッドなどを長時間使い続けると、腕や手首が痛くなったりすることがあります。

キーボードやタッチパッドを使用中、体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

大音量で長時間つづけて聞きすぎない



禁止

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

特にヘッドホンで聞くとときはご注意ください。

呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

⚠ 注意

下記の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグにさわらない



ぬれ手禁止



ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。

接続するときは電源を切る



注意



ACアダプタや接続ケーブルを接続するときは、本機や接続する機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。

指定された電源コードや接続ケーブルを使う



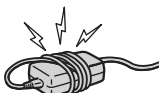
注意

この説明書に記されている電源コードや接続ケーブルを使わないと、感電の原因となることがあります。

電源コードや接続ケーブルをACアダプタに巻き付けない



禁止



断線の原因となることがあります。

排気口、吸気口をふさがない



禁止



排気口、吸気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- 毛足の長い敷物（じゅうたんや毛布など）の上に放置しない。
- 布などでくるまない。

排気口からの排気に長時間あたらない



禁止

本機をご使用中、その動作状況により排気口から温風が排出されることがあります。
この温風に長時間あたると、低温やけどの原因となる場合があります。

通電中の本機やACアダプタに長時間ふれない



禁止

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

本機やACアダプタを布や布団などでおおった状態で使用しない



禁止

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

安定した場所に置く



禁止



ぐらついた台の上や傾いたところなどに置かないでください。また、横にしたり、ひっくり返して置いたりしないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

本機の上に乗らない、重いものを載せない



禁止



壊れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く



プラグをコンセントから抜く



電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

移動させるときは、電源コードや接続ケーブルを抜く



注意



接続したまま移動させると、ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となったり、接続している機器が落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
また、本機を落とさないようにご注意ください。

コネクタはきちんと接続する



注意



- コネクタの内部に金属片を入れないでください。ピンとピンがショート（短絡）して、火災の原因となることがあります。
- コネクタはまっすぐに差し込んで接続してください。斜めに差し込むと、ピンとピンがショートして、火災の原因となることがあります。
- コネクタに固定用のスプリングやネジがある場合は、それらで確実に固定してください。接続不良が防げます。

長時間使用しないときは電源プラグを抜く



プラグをコンセントから抜く

長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

直射日光のあたる場所や熱器具の近くに設置・保管しない



禁止



内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

液晶画面に衝撃を与えない



重い物をのせたり、落としたりしないでください。
液晶画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。

ディスプレイパネルの裏側を強く押さない



液晶画面が割れて、故障やけがの原因となることがあります。

本機に強い衝撃を与えない



故障の原因となることがあります。

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、次の注意事項を必ずお守りください。



- 指定された充電方法以外で充電しない。
- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解しない。
電子レンジやオープンで加熱しない。コインやヘヤーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管するとショートすることがあります。
- 火のそばや炎天下などで充電したり、放置しない。
- バッテリーに衝撃を与えない。
落とすなどして強いショックを与えたり、重いものを載せたり、圧力をかけないでください。故障の原因となります。
- バッテリーから漏れた液が目に入った場合は、きれいな水で洗ったあと、ただちに医師に相談してください。
- 本機に付属または指定された別売りのバッテリーをご使用ください。
- 以下のバッテリーを使用した場合の安全性は保証できません。
 - 本機に付属、または指定された別売りのバッテリー以外を使用した。
 - 分解、改造を行ったバッテリーを使用した。



バッテリーを廃棄する場合は、次のご注意をお守りください。

- 地方自治体の条例などに従う。
- 一般ゴミに混ぜて捨てない。

または、リサイクル協力店へお持ちください。

本機の発熱についてのご注意

使用中に本機の表面や底面、ACアダプタ、バッテリーが熱くなることがあります

CPUの動作や充電時の電流によって発熱していますが、故障ではありません。使用している拡張機器やソフトウェアによって発熱量は異なります。

また、「Sony Notebook Setup」ソフトウェアの「パフォーマンス設定」画面で[メモリバス 333MHz / グラフィックスコア周波数 250MHz] (パフォーマンス優先) を選択した場合は、[メモリバス 266MHz / グラフィックスコア周波数 200MHz] (省電力優先) を選択した時よりも底面が熱くなりますのでご注意ください。設定を変更する方法について詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「機能/設定」の[バッテリー/省電力]→[バッテリーを使いこなす(省電力)]→[消費電力を節約する]の順にクリックする。)

本機やACアダプタが普段よりも異常に熱くなったときは

本機の電源を切り、ACアダプタの電源コードを抜き、バッテリーを取りはずしてください。次に、VAIOカスタマーリンク修理窓口修理に修理をご依頼ください。

はじめに

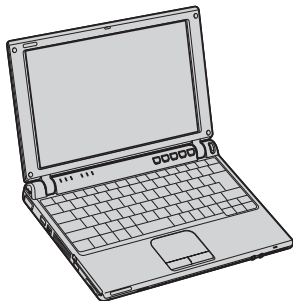
付属品を確かめる

付属品が足りないときや破損しているときは、VAIOカスタマーリンクまたは販売店にご連絡ください。
なお、付属品は本機のみで動作保証されています。

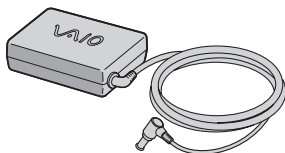
VGN-T90S・T90PSをご購入のお客様へ

お客様が選択された商品により仕様が異なります。
本機には、お客様が選択された仕様を記載したラベルが同梱されておりますので、そちらもあわせてご覧ください。

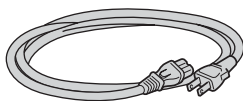
□ パソコン本体



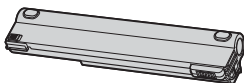
□ ACアダプタ



□ 電源コード



□ バッテリー



説明書・その他

□ 取扱説明書

□ VAIOで楽しもう！

□ VAIOカスタマー登録・保証書お申込書

□ VAIOカルテ

□ ソフトウェア使用許諾契約書

□ その他パンフレット類

- ・ プロバイダを選ぶ際は、「できるインターネット プロバイダー選び&オンラインサービス編」をご活用ください。
- ・ 大切な情報が記載されている場合があります。必ずご覧ください。

【ヒント】

本機に付属のソフトウェアについては、「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」(136ページ)をご覧ください。

□ Microsoft® Office Personal Edition 2003*1 プレインストールパッケージ CD-ROM (VGN-T70B/L・T50B/L・T50B/Tを含む「Office Personal 2003」ソフトウェア搭載モデルに付属)

□ Microsoft® Office Professional Enterprise Edition 2003*2 プレインストールパッケージ CD-ROM (VGN-T90S・T90PSのうち「Office Professional Enterprise 2003」ソフトウェア搭載モデルに付属)

お買い上げ時にプレインストールされています。起動方法について詳しくは「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」の「ワープロ・表計算」(138ページ)をご覧ください。

*1 この説明書では以降、Office Personal 2003と略します。

*2 この説明書では以降、Office Professional Enterprise 2003と略します。

【ヒント】

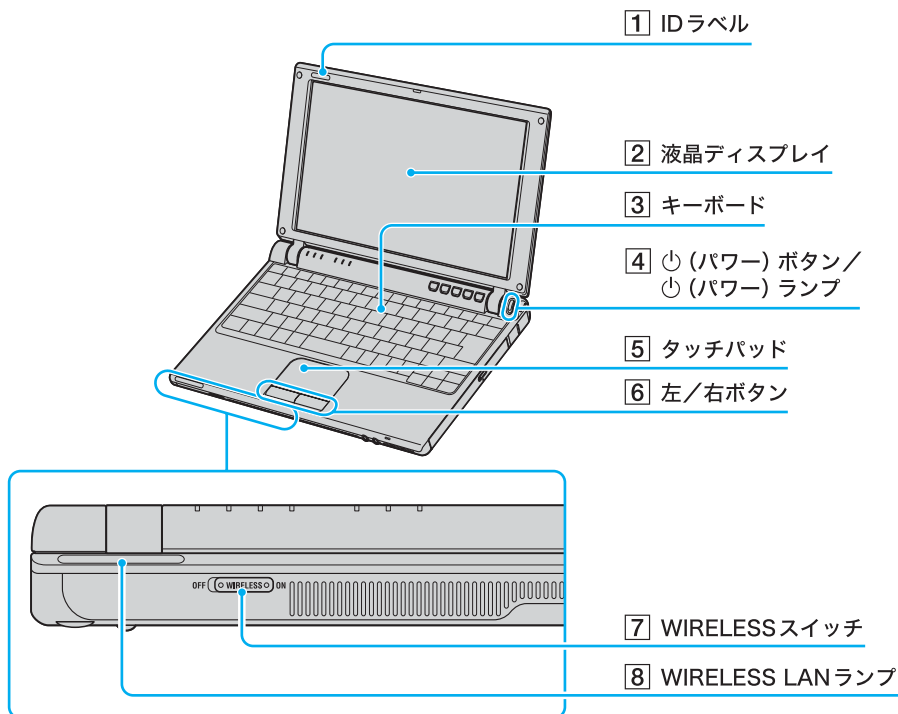
本機はハードディスクからリカバリすることができるため、リカバリディスクは付属していません。
詳しくは「リカバリについて」(117ページ)をご覧ください。

各部の説明

ここでは、本機の各部の説明を行います。

詳しい説明については、()内のページおよび「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「機能/設定」の[各部の説明]の順にクリックする。)

本機正面



1 IDラベル

型名が記載されています。

2 液晶ディスプレイ (80、131ページ)

3 キーボード (26、82ページ)

4 冫 (パワー) ボタン / 冫 (パワー) ランプ (29ページ)

電源が入ると点灯(グリーン)します。
スタンバイモード時には点滅(アンバー(赤褐色))します。

5 タッチパッド (84ページ)

マウスの代わりに画面上のポインタを動かします。

6 左/右ボタン

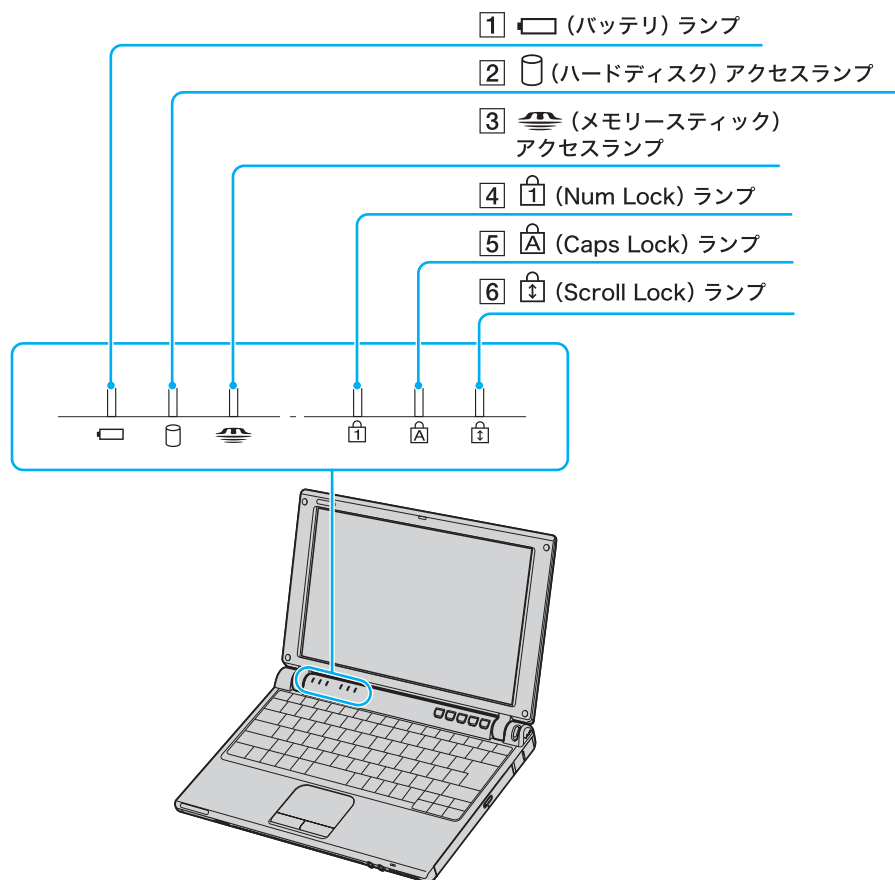
マウスの左/右ボタンに相当します。

7 WIRELESSスイッチ

ワイヤレスLANをオン/オフします。

8 WIRELESS LANランプ

ワイヤレスLANが使える状態のときに点灯します。



1 [Battery icon] (バッテリー) ランプ

バッテリーの動作状態をお知らせします。

2 [Hard disk icon] (ハードディスク) アクセスランプ

ハードディスクにアクセスしているときに点灯します。

3 [Memory stick icon] (メモリースティック) アクセスランプ

“メモリースティック”にアクセスしているときに点灯します。

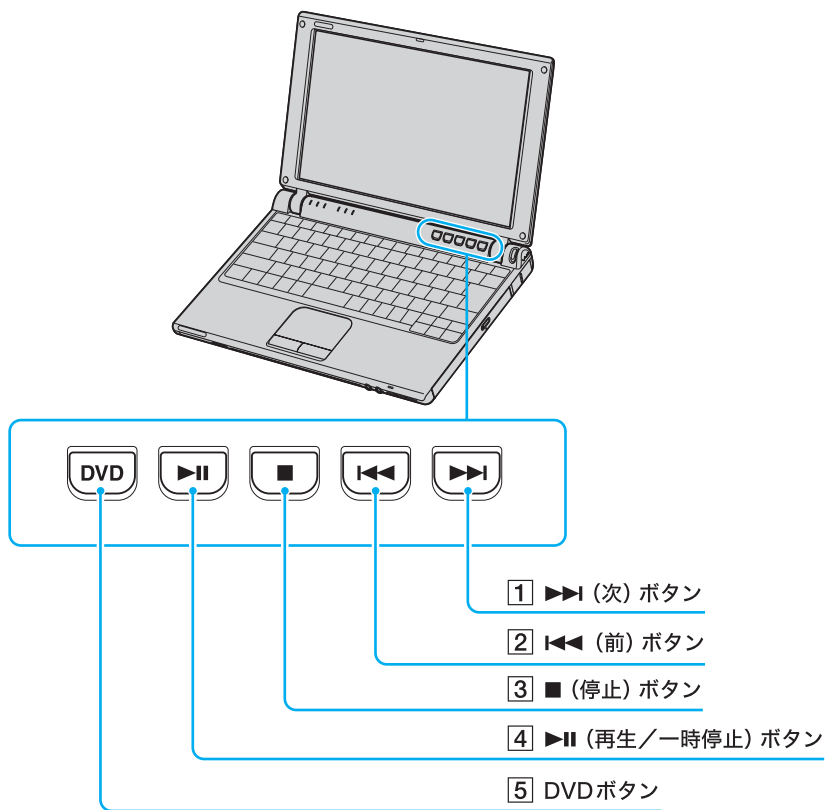
4 [Num Lock key icon] (Num Lock) ランプ (26ページ)

Num Lkキーを有効にすると点灯します。

5 [Caps Lock key icon] (Caps Lock) ランプ (26ページ)

Caps Lockキーを有効にすると点灯します。

6 [Scroll Lock key icon] (Scroll Lock) ランプ



1 次 (次) ボタン

Do VAIO で DVD などの映像再生中にチャプターや映像を進め、CD などの音楽再生中に曲を進めます。また、長押しすることで早送りができます。

2 前 (前) ボタン

Do VAIO で DVD などの映像再生中にチャプターや映像を戻し、CD などの音楽再生中に曲を戻します。また、長押しすることで早戻しができます。

3 停止 (停止) ボタン

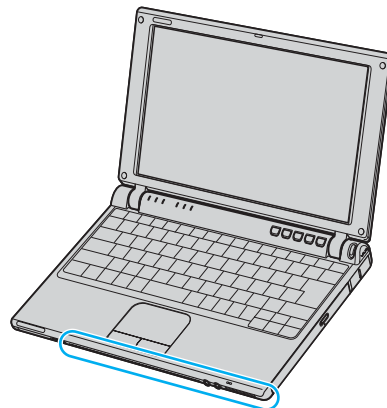
Do VAIO で CD などの音楽 / DVD などの映像の再生を停止します。

4 再生/一時停止 (再生/一時停止) ボタン

Do VAIO で CD などの音楽 / DVD などの映像の再生 / 一時停止をします。

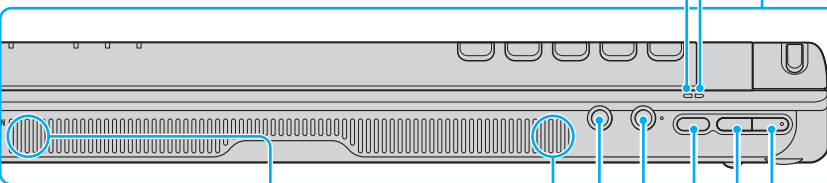
5 DVD ボタン

Do VAIO を起動して DVD を再生します。
長押しして「DVD ボタン設定」画面を表示し、DVD ボタンの動作を設定することもできます。
また、他の機能を割り当てることもできます。



1 ✕ (消音) ランプ

2 SOUND EFFECT (サウンドエフェクト) ランプ



3 内蔵スピーカー

4 (ヘッドホン) コネクタ

5 (マイク) コネクタ

6 消音 / SOUND EFFECT (サウンドエフェクト) ボタン

7 (ボリューム) ボタン

1 ✕ (消音) ランプ

消音時に点灯します。

2 SOUND EFFECT (サウンドエフェクト) ランプ

サウンドエフェクト機能を有効にすると点灯します。

3 内蔵スピーカー

4 (ヘッドホン) コネクタ

スピーカーやヘッドホンをつなぎます。

5 (マイク) コネクタ

マイクをつなぎます。

ヘッドホンコネクタと区別がしやすいように、マイクコネクタの右側に突起がついています。マイクをお使いになるときは、誤ってヘッドホンコネクタに接続しないようにご注意ください。

6 消音 / SOUND EFFECT (サウンドエフェクト) ボタン

短く押すことで消音をオン／オフします。

また、長押しすることでサウンドエフェクト機能をオンし、「サウンドエフェクト」切り替え画面を表示します。

7 (ボリューム) ボタン

スピーカーやヘッドホンの音量を調節します。

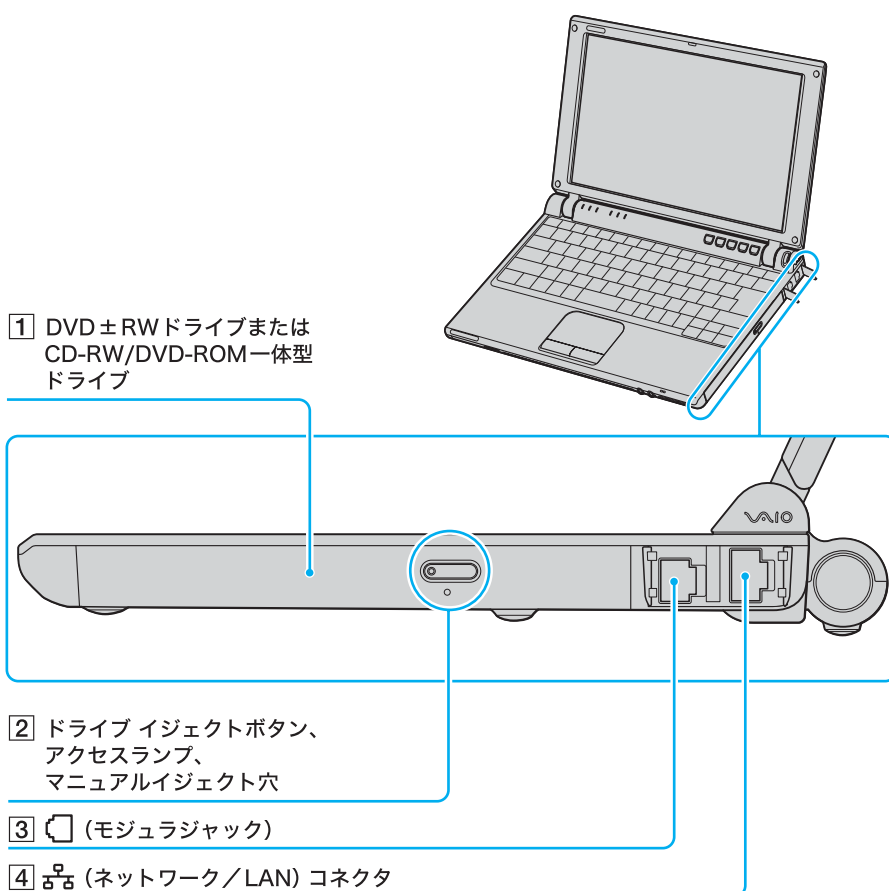
－(マイナス) ボタンと区別がしやすいように、＋(プラス) ボタンに突起がついています。

メモ

ランプの明るさについて

本機は消費電力を抑えるために、バッテリー使用時はACアダプタをつないでいるときに比べて、ランプの明るさを暗くしています。

本機右側面



- 1 DVD±RWドライブまたはCD-RW/DVD-ROM一体型ドライブ
以降、DVD±RWドライブ(VGN-T70B/L・T50B/L・T50B/Tを含むDVD±RWドライブ搭載モデル)をドライブと略します。
また、CD-RW/DVD-ROM一体型ドライブ(VGN-T90PS・T90SのうちCD-RW/DVD-ROM一体型ドライブ搭載モデル)をCD-RW/DVDドライブまたはドライブと略します。
*ドライブを確認するには、本機右側面のマークをご覧ください。
- 2 ドライブ イジェクトボタン、アクセスランプ、マニュアルイジェクト穴
- 3 (モジュラジャック)
電話回線をつなぎます。
- 4 (ネットワーク/LAN) コネクタ
LANケーブルなどをつなぎます。
LANポートを使用するタイプのADSLモデムなどに接続するときに使います。(49ページ)

DVD±RWドライブ:   

CD-RW/DVDドライブ:  

- 2 ドライブ イジェクトボタン、アクセスランプ、マニュアルイジェクト穴

はじめに

本機をセットアップ
する

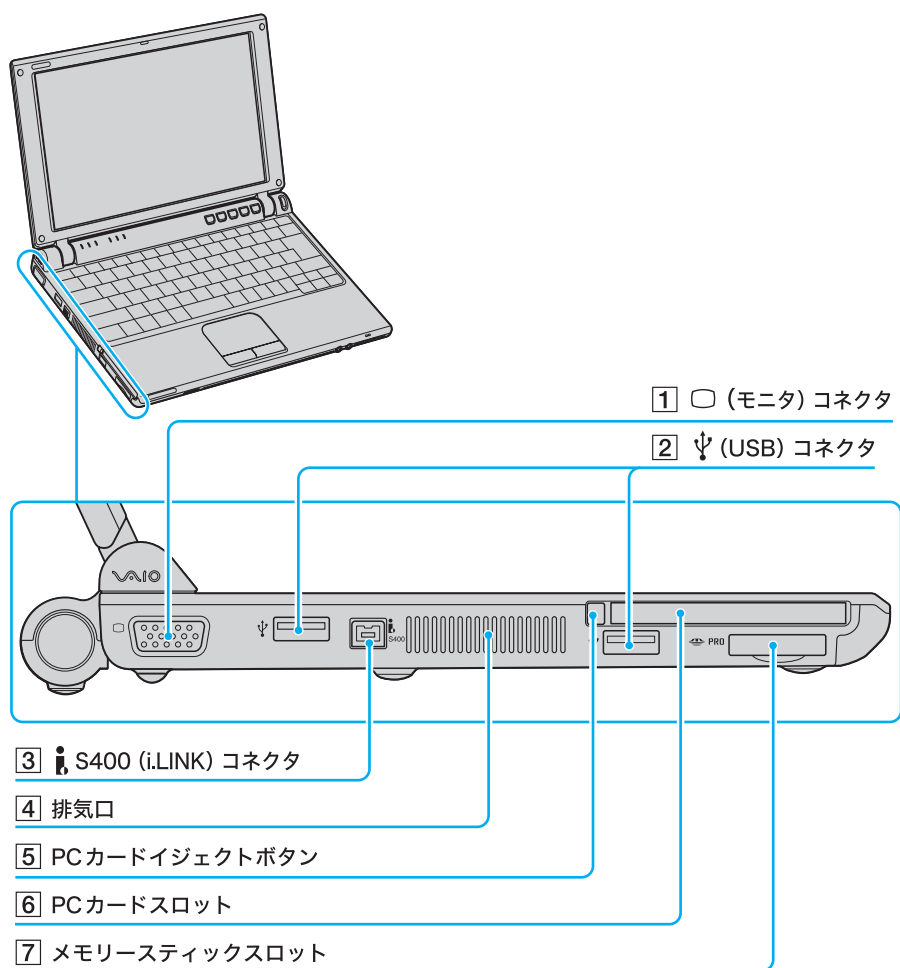
インターネットを
始める

困ったときは

サービス・サポート

その他

本機左側面



1 □ (モニタ)コネクタ

外部ディスプレイや液晶プロジェクタをつなぎます。

2 ψ (USB) コネクタ

USB規格に対応した機器をつなぎます。

3 ⓘ S400 (i.LINK) コネクタ

i.LINK端子の付いた他の機器とデータをやりとりできます。

4 排気口

5 PCカード イジェクトボタン

PCカードを取り出します。

6 PCカードスロット (133ページ)

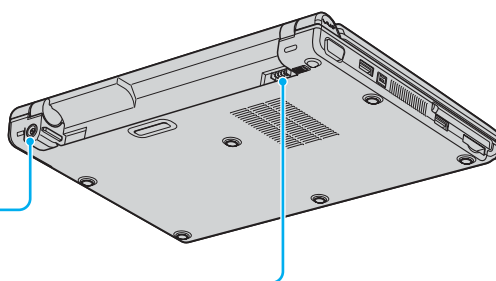
7 メモリースティックスロット

“メモリースティック”を挿入します。
“メモリースティック デュオ”もそのまま使いになれます。

本機後面

1 ◇⦿◇ DC IN 16Vコネクタ

2 バッテリコネクタ



1 ◇⦿◇DC IN 16Vコネクタ (28ページ)

ACアダプタをつなぎ、電源コンセントにつなぎます。

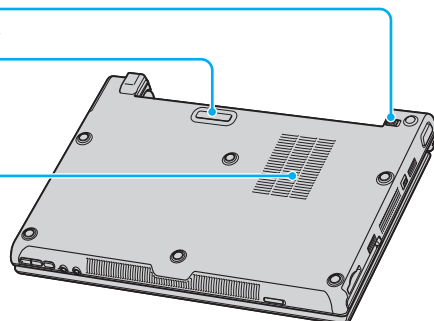
2 バッテリコネクタ

本機底面

1 RELEASE (リリース) レバー

2 ポートリプリケータコネクタ

3 吸気口



1 RELEASE(リリース)レバー

バッテリーを取りはずします。

2 ポートリプリケータコネクタ

！ご注意

お買い上げ時には、あらかじめカバーが取り付けられています。
ポートリプリケータを使用しないときは、カバーを取り付けておいてください。
また、ポートリプリケータ使用時に取りはずしたカバーをなくさないようにしてください。

3 吸気口

はじめに

本機をセットアップ
する

インターネットを
始める

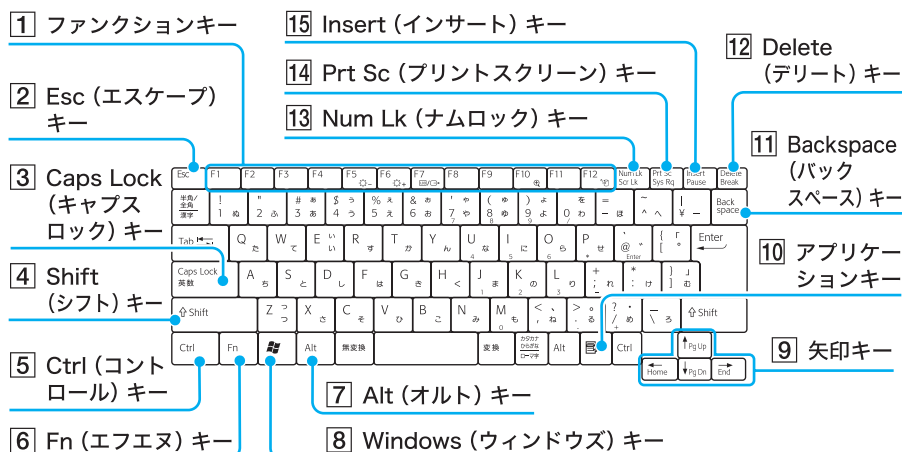
困ったときは

サービス・サポート

その他

キーボード各部の名称

各ソフトウェアのヘルプもあわせてご覧ください。



1 ファンクションキー

使用するソフトウェアによって働きが異なります。
Fnキーと組み合わせて使うと、特定の機能を実行できます。

2 Esc(エスケープ)キー

設定を取り消したり、実行を中止するときなどに押します。
Fnキーと組み合わせて使うと、スタンバイ状態にすることができます。

3 Caps Lock(キャプスロック)キー

Shift(シフト)キーを押しながらこのキーを押し、
キーボードの左上にある  (Caps Lock) ランプが点灯しているときに、文字キーを押すと、アルファベットの大文字を入力できます。

4 Shift(シフト)キー

文字キーと組み合わせて使うと、大文字を入力できます。

5 Ctrl(コントロール)キー

文字キーなどと組み合わせて使うと、特定の機能を実行します。

6 Fn(エフエヌ)キー

キーボード上でグレイで表記されている機能を使うとき、このキーと組み合わせて押します。

7 Alt(オルト)キー

文字キーなどと組み合わせて使うと、特定の機能を実行します。

8 Windows(ウィンドウズ)キー

Windowsの「スタート」メニューが表示されます。

9 矢印キー

カーソルを動かしたり、数ページにわたる画面の次ページまたは前ページを表示できます。

10 アプリケーションキー

タッチパッドの右ボタンを押したときと同じ働きをします。

11 Backspace(バックスペース)キー

カーソルの左側の文字を消します。

12 Delete(デリート)キー

カーソルの右側の文字を消します。

13 Num Lk(ナムロック)キー

テンキーと組み合わせて使うと、数字を入力できます。
Num Lkキーを押すと、キーボードの左上にある  (Num Lock) ランプが点灯します。もう1度Num Lkキーを押すと、消灯します。

14 Prt Sc(プリントスクリーン)キー

デスクトップ画面全体を画像として本機に取り込みます。

15 Insert(インサート)キー

文字を挿入するか、上書きするかを切り替えます。

本機をセットアップする

電源を入れる

次の手順に従って、本機の電源を入れてください。

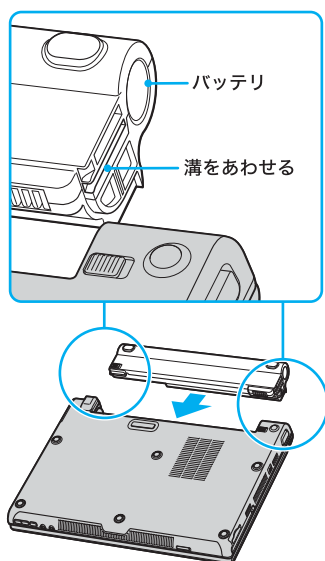
！ご注意

安全のために、本機に付属または指定された別売りのバッテリーおよびACアダプタをご使用ください。

1 バッテリーを取り付ける。

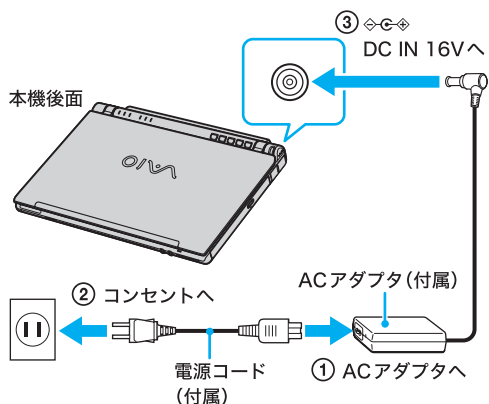
停電や誤ってAC電源がはずれ、作業中のデータが失われてしまうことのないよう、付属のバッテリーを取り付けます。

- ① 本機後面とバッテリーの両端の溝をあわせ、「カチッ」と音がするまでバッテリーを差し込む。



2 AC電源をつなぐ。

本機と壁のACコンセントを接続します。



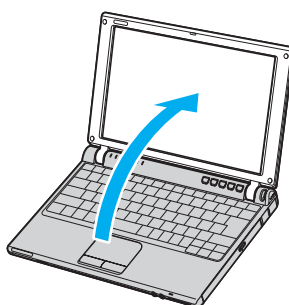
- ① 電源コードのプラグをACアダプタに差し込む。
- ② 電源コードのもう一方のプラグを、壁のコンセントに差し込む。
- ③ ACアダプタのプラグを、本機後面の⚡DC IN 16Vコネクタに差し込む。

！ご注意

別売りのポートリプリケーターVGP-PRT1をご使用になるときは、必ずポートリプリケーターに付属のACアダプタVGP-AC16V8をお使いください。

本体に付属のACアダプタVGP-AC16V7をご使用になると、作業中の状態や保存されていないデータが失われることがあります。

3 ディスプレイパネルを開く。



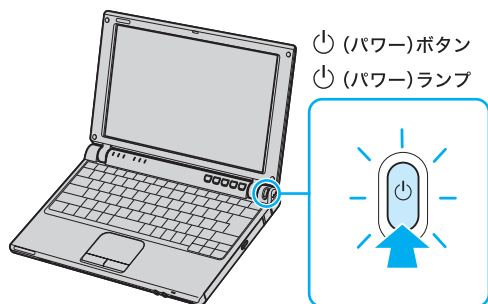
4

⏻(パワー)ボタンを押し、⏻(パワー)ランプが点灯(グリーン)したら離す。

本機の電源が入り、しばらくしてWindowsが起動します。

!!ご注意

- ⏻(パワー)ボタンを4秒以上押したままにすると、電源が切れてしまいます。⏻(パワー)ランプが点灯したら指を離してください。
- ディスプレイパネルを閉じた状態で⏻(パワー)ボタンを押しても電源は入りません。



!!ご注意

- 本機の液晶ディスプレイ上面にフロッピーディスクなどを近づけないでください。
- 本機のタッチパッド手前部分に磁気製品などを近づけると、ディスプレイパネルを閉じたときと同じ状態となり、休止状態(お買い上げ時の設定)に移行します。本機の近くには磁気製品を近づけないよう、ご注意ください。

本機の電源をはじめて入れる場合は、Windowsのロゴの画面が表示され、しばらくして「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されます。「Windowsを準備する」(31ページ)の手順に従って、Windowsのセットアップを行ってください。

!!ご注意

- 「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されるまでにしばらく時間がかかりますが、そのままお待ちください。
途中で電源を切るなどの操作を行うと、本機の故障の原因となります。
- 本機を安心してご使用になるために、大切なデータを失わないための対策や第三者から本機を守るために「セキュリティについて」(66ページ)をご覧ください。

!!ヒント

本機の2回目の起動時か、「Norton AntiVirus」ソフトウェアをはじめて起動したときは、「Norton AntiVirus」画面が表示されます。
画面の指示に従って操作してください。

!!ヒント

本機はエネルギースター規格に基づいて設計されており、お買い上げ時の設定では、AC電源でご使用中に約30分操作をしないと、自動的に省電力動作モードへ移行します(スタンバイ^{*1})。キーボードのいずれかのキーを押すか、⏻(パワー)ボタン^{*2}を一瞬押すと、元の状態に戻ります。

また、バッテリーでご使用中に約30分操作をしないと、自動的に本機の電源を切ります(休止状態^{*1})。元の状態に復帰させるには、⏻(パワー)ボタン^{*2}を一瞬押してください。

^{*1} 詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。
([バイオの使いかた]→「機能/設定」の[バッテリー/省電力]→[バッテリーを使いこなす(省電力)]→[消費電力を節約する]の順にクリックする。)

^{*2} ⏻(パワー)ボタンを4秒以上押しつづけると保存された状態が破棄されますのでご注意ください。

バッテリーを上手に使うには

本機をバッテリーで使用しているときに、次のようなことに気をつけるとバッテリーを長持ちさせることができます。

- 液晶ディスプレイの明るさを暗くする
お買い上げ時の設定は明るくなっています。
液晶ディスプレイは、明るくするより暗いままで使用
するほうがバッテリーを長持ちさせることができます。
- 省電力の機能を使う
こまめにスタンバイや休止状態にすることで、バッ
テリーを長持ちさせることができます。
また、休止状態の場合は、電源オフからの起動よりも
早く復帰できます。

電源を切るには

次の手順に従って、本機の電源を切ります。

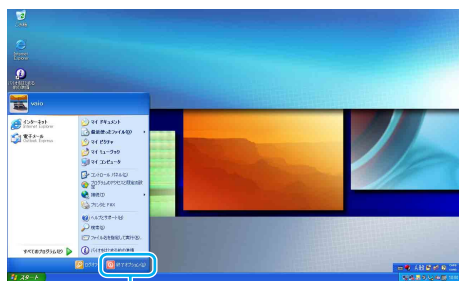
！ご注意

必ず次の手順に従って電源を切ってください。手順に従って電源を切らないと本機の故障の原因となったり、作成した文書などのファイルが使えなくなることがあります。

1 [スタート]ボタンをクリックする。

スタートメニューが表示されます。

2 メニューの[終了オプション]をクリックする。



ここをクリックする。

「コンピュータの電源を切る」画面が表示されます。

メモ

画面は実際のものとは異なる場合があります。

3 [電源を切る]をクリックする。



ここをクリックする。

数秒後に本機の電源が自動的に切れ、⏻(パワー)ランプ(グリーン)が消灯します。

液晶ディスプレイパネルを閉じるときは、⏻(パワー)ランプが消灯したのを確認してから閉じてください。

Windowsを準備する

本機を使う前に、Windowsを使うための準備が必要です。Windowsが使える状態になると、本機に付属のソフトウェアやいろいろな機能も使えるようになります。次の手順に従って、Windowsを使う準備をします。

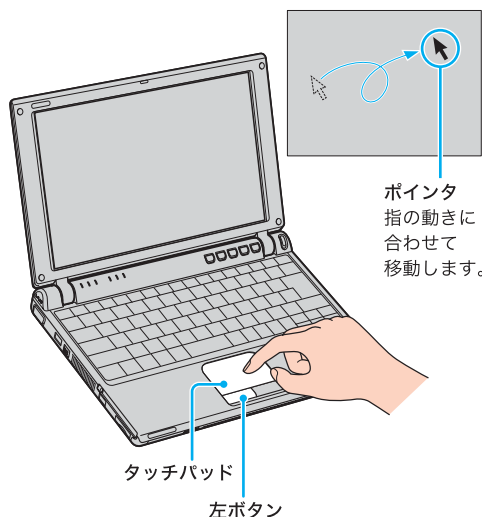
ポイント

- 停電や誤ってAC電源がはずれ、作業中のデータが失われてしまうことのないよう、次の操作を行う前に付属のバッテリーを本機に取り付けてください。取り付けかたについては「電源を入れる」(28ページ)をご覧ください。
- タッチパッドやキーボードの使いかたについては、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。
- 次の手順で使われている画面は、実際のものとは異なる場合があります。表示される画面に従って操作してください。

1 「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されたら、画面右下にある[次へ]をクリックする。

タッチパッドに触れて指を動かし、[次へ]の上までポインタを移動し、左ボタンを「カチッ」と1回押してすぐに離します。

これを「クリックする」と言います。



ここをクリックする。

「使用許諾契約」画面が表示されます。

2 画面に表示された内容を読み、内容に同意するときは[同意します]の○をクリックして●にし、[次へ]をクリックする。

ここをクリックすると、文章が上下に移動する。



ここをクリックする。
○が●になる。

！ご注意

[同意しません]の○をクリックすると、Windowsの準備作業は中止され、Windowsと本機に付属のソフトウェアはお使いになれません。

3 コンピュータを保護するための設定画面が表示されるので、設定を有効にする項目を選び、[次へ]をクリックする。

「コンピュータに名前をつけてください」画面が表示されます。

はじめに

本機をセットアップする

インターネットを始める

困ったときは

サービス・サポート

その他

4 必要な場合はコンピュータ名を変更し、 [次へ]をクリックする。

コンピュータ名は、本機をネットワークに接続して使用する場合にコンピュータを識別するために必要です。「このコンピュータの名前」の欄に自動的に表示されますが、必要な場合は認識しやすい名前に変更してください。
また、コンピュータにわかりやすい説明をつけることもできます。その場合は「コンピュータの説明」欄に入力してから[次へ]をクリックしてください。

Windows XP Home Edition搭載モデルをお使いの場合は、手順7へ進んでください。

5 「管理者パスワードを設定してください」画面が表示されたら、「管理者パスワード」と「パスワードの確認入力」の欄にパスワードを入力し、[次へ]をクリックする。

6 「このコンピュータをドメインに参加させますか？」画面が表示されたら、ネットワーク環境に合わせて設定し、[次へ]をクリックする。

7 「インターネットに接続する方法を指定してください。」または「インターネット接続が選択されませんでした。」画面が表示されたら、[省略]をクリックする。

「Microsoftにユーザー登録する準備はできましたか？」画面が表示されます。

ヒント

「インターネットに接続する方法を指定してください。」

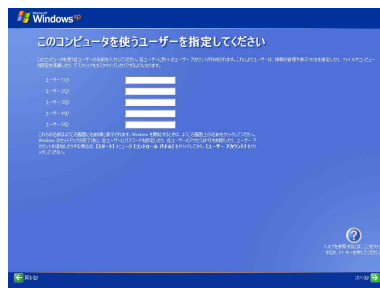
画面でお使いのデバイスの○をクリックして[次へ]をクリックすると、デバイスによってはインターネットへ接続するための設定画面が表示されます。

その場合は画面の指示に従って操作してください。

また、インターネットに接続するための設定は、Windowsのセットアップ完了後にも行うことができます。詳しくは「インターネットを始める」(42ページ)をご覧ください。

8 [いいえ、今回はユーザー登録しません]の○をクリックして●にし、[次へ]をクリックする。

「このコンピュータを使うユーザーを指定してください」画面が表示されます。



ヒント

「Microsoftにユーザー登録する準備はできましたか？」画面で、[はい、今すぐユーザー登録します]を選んで[次へ]をクリックすると、マイクロソフトへのオンライン登録ができます。ただし、オンライン登録するには本機を電話回線に接続しておく必要があります。
インターネットに接続するための設定について詳しくは「インターネットを始める」(42ページ)をご覧ください。

9 ユーザーの名前を入力し、[次へ]をクリックする。

複数のユーザーを入力した場合、ここで入力した名前は、本機の電源を入れたときに表示される「ようこそ」画面に表示されます。Windowsを起動するときには、表示された名前をクリックします。

Windowsのセットアップ完了後に、使用するユーザーを追加したり、設定を変更することもできます。詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([できるWindows for VAIO]をクリックする。)

「設定が完了しました」画面が表示されます。

10 [完了]をクリックする。

- ① [スタート]をクリックして、[コントロール パネル]→[日付、時刻、地域と言語のオプション]→[日付と時刻]の順にクリックする。
「日付と時刻のプロパティ」画面が表示されます。
- ② [日付と時刻]タブをクリックして、「日付」と「時刻」を現在の日時にあわせる。
- ③ [OK]をクリックする。
日時の設定が有効になります。

これでWindowsが使えるようになりました。

電源の切りかたについて詳しくは、「電源を切るには」(30ページ)をご覧ください。

！ご注意

- 本機に付属のOS(Operating System)以外をインストールした場合の動作保証はいたしかねます。本機のOSは、「Microsoft® Windows® XP Professional*」または「Microsoft® Windows® XP Home Edition*」です。
* この説明書では、WindowsまたはWindows XPと略します。
- デスクトップ画面上にあるアイコンには、一定の期間使用しないと自動的にデスクトップ画面上から削除されるものがあります。Windowsの初回起動時から60日後に、アイコンを削除するかどうかを確認する画面が表示されます。
その後も60日ごとに、使用していないデスクトップ画面上のアイコンが自動的に検索され、削除するかどうかを確認する画面が表示されます。デスクトップ画面上のアイコンを削除しても、ソフトウェア自体は削除されません。

ヒント

本機を複数のユーザーで使えます

登録したユーザーごとに専用のデスクトップ画面やマイドキュメントが用意され、それぞれのユーザーが自分専用のコンピュータのように使用することができます。複数のユーザーでのWindowsの使用について詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([できるWindows for VAIO]をクリックする。)

以上で、本機を使う準備ができました。

Windows セキュリティ センターについて

Windows セキュリティ センターは、[スタート]ボタンをクリックし、[コントロール パネル]→[セキュリティ センター]の順にクリックして起動します。



Windows セキュリティ センターでは、お使いのバイオをウイルスなどから守るために、セキュリティに関する次の項目について、バイオの状態をチェックします。問題が見つかった場合はメッセージが表示され、対応策を知ることができます。

- ファイアウォール
お買い上げ時の設定では「有効」になっています。有効になっていると、ネットワークなどを介した第三者のアクセスを阻止することができます。
- 自動更新
「Windowsを準備する」(31ページ)の手順3でコンピュータを保護する設定を選ぶと、この機能が「有効」になります。有効にすると、「Windows Update」にて提供されるプログラムの更新を定期的に確認し、自動的にインストールすることができます。
- ウィルス対策
ウィルス対策ソフトウェアが最新の状態に保たれているかチェックします。ウィルス定義ファイルは頻繁に更新されますので、常に最新の状態に保つようにしましょう。

！ご注意

ファイアウォール機能を有効にすると、ソフトウェアの一部の機能が使えなくなる場合があります。詳しくは、お使いのソフトウェアのヘルプをご覧ください。

カスタマー登録する

VAIOカスタマー登録について

ソニーマーケティング株式会社およびソニー株式会社（以下、「ソニー」）はバイオをご所有のお客様へセキュリティ情報などの必要な情報をお知らせし、充実したサービス・サポートをご提供するために、「VAIOカスタマー登録」を行っていただくことをおすすめしています。ご登録のメリットについては、VAIOホームページ（<http://www.vaio.sony.co.jp/>）をご覧ください。

出荷時点で付属する保証書が提供する製品の保証期間は買い上げ時から3か月間です。
ご登録を行っていただくことで、カスタマー専用デスクから、ご購入日より1年間有効な保証書（「My Sony ID」と「お客様サポート番号」を記載）をお送りします。

なお、保証について詳しくは、「保証書とアフターサービス」（107ページ）をご覧ください。
VAIOカスタマー登録に関してのお問い合わせは、「カスタマー専用デスク」までご連絡ください。
詳しくは、「お問い合わせ先について」（105ページ）をご覧ください。

VAIOカスタマー登録の方法

次の方法で手軽にご登録が行うことができます。

- オンライン登録
テレホンコードをつなぎ、一般の電話回線を通じて行えます。また、インターネット経由でもご登録を行うことができます。
- 付属のお申込書を郵送して登録
付属の「VAIOカスタマー登録・保証書お申込書」にご記入の上、郵送いただくことでご登録を行うことができます。
付属の「VAIOカスタマー登録・保証書お申込書」を使ってお申し込みいただく場合は、「VAIOカスタマーID」を記した保証書をお送りします。その後、次の手順に従って、「My Sony ID」を取得することができます。

ポイント

- VAIOオンラインカスタマー登録にご使用いただく電話回線は一般電話回線だけでなく、ISDN回線にも対応しています。（49ページ）
- 次の場合を除き、ソニーがお客様の同意なく登録内容を外部へ開示することはありません。ただし、お客様個人を特定できない統計情報はこの限りではありません。
 - お客様にお知らせした使用目的のために、業務を委託する協力会社へ開示が必要な場合。（ソニーは、当該協力会社に対して、お客様の情報の厳重な管理と使用目的の遵守を徹底します。）
 - 司法機関または行政機関から法的義務を伴う要請を受けた場合。
- 13才より小さいおこさまは、ほごしゃのかたといっしょにとろくしてください。

注意

- VAIOオンラインカスタマー登録を行うには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限を持つユーザーとしてログオンする必要があります。
- VAIOカスタマー登録は、本機のリカバリをしたあとなどに再び行う必要はありません。住所などのご登録内容の変更を行うときは、VAIOホームページ内（<http://www.vaio.sony.co.jp/>）のページ上で、変更手続きが行えます。
また、[スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]にポインタをあわせ、[VAIO オンラインカスタマー登録]をクリックして変更手続きを行うこともできます。

1 電話回線につなぐ。

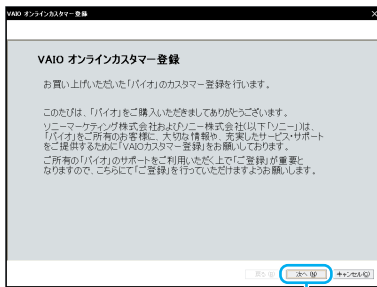
47ページの手順に従ってつながります。

2 [スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]にポインタを合わせ、[VAIO オンラインカスタマー登録]をクリックする。

ポイント

カスタマー登録をしない、または後でするときは、[キャンセル]をクリックして表示される画面で[終了]をクリックしてください。

3 「次へ」をクリックする。



ここをクリックする。

「登録手順について」画面が表示されます。

4 「次へ」をクリックする。

「ID・パスワードの入力」画面が表示されます。

ヒント

1つ前の画面を見たいときは、[戻る]をクリックします。

5 「次へ」をクリックする。

ヒント

本機を含めてパイオをすでに2台以上お持ちの方など、すでに「VAIO カスタマーID」や「My Sony ID」をお持ちの方はIDを入力し、画面の指示に従って操作してください。

6 「VAIOオンラインカスタマー登録専用回線」の をクリックしてオレンジ色にし、「次へ」をクリックする。

①ここをクリックする。



②ここをクリックする。

「発信方式の設定」画面が表示されます。

！ご注意

- 外線発信(0発信)はできません。
- 「インターネット経由」を選んで登録いただく場合、接続料金はお客様の負担となります。
- ターミナルアダプタ、携帯電話、PHSなど、お使いになる通信機器によっては、正しく接続できないことがあります。この場合は、本機の  (モジュラジャック) と一般電話回線をつなぎ(47ページ)、通信を行ってください。

ヒント

- [次へ]をクリックすると、手順7に進む前に「接続デバイスの選択」画面が表示されることがあります。この場合は、通信に使う機器を選び、[次へ]をクリックしてください。
- 「インターネット経由」を選んで[次へ]をクリックしたときは、「インターネット経由の接続設定」画面が表示されます。画面の指示に従って接続先を選択して、手順8に進んでください。

7 お使いの電話回線の発信方式(ダイヤル方法)を選び、「次へ」をクリックする。

！ご注意

ターミナルアダプタ、携帯電話、PHSなど、お使いになる通信機器によっては、正しく接続できないことがあります。この場合は、本機の  (モジュラジャック) と一般電話回線をつなぎ(47ページ)、通信を行ってください。

ヒント

- 本機を一般電話回線につないでいるときのみトーン式/パルス式ダイヤルを選びます。
- トーン式ダイヤルとは
電話機のダイヤルボタンを押すと「ピポパ」と音がし、「カチカチ」という音がしない電話機のダイヤル方法です。
- パルス式ダイヤルとは
ボタンではなくダイヤルを回す電話機、またはダイヤルボタンを押すたびに「カチカチ」という音がする電話機のダイヤル方法です。
- お使いの電話回線のダイヤル方法がわからない場合は、電話会社から送られてくる請求内訳表をご覧ください。請求内訳表の中に「プッシュ回線使用料」と記載されている場合は「トーン式ダイヤル」です。回線(基本)使用料のみ記載されている場合は「パルス式ダイヤル」です。電話回線のダイヤル方法について詳しくは、契約している電話会社へお問い合わせください。

8 電話回線がつながっていることを確認し、[問い合わせ]をクリックする。

電話回線を通じて通信が行われ、完了すると「問い合わせ完了」画面が表示されます。

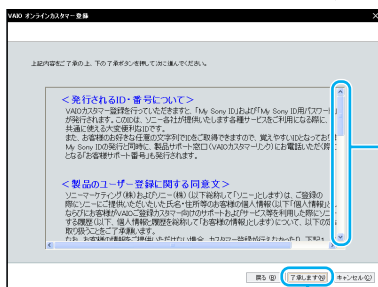
9 [次へ]をクリックする。

「VAIO カスタマー登録の特典／VAIO カスタマー登録のご注意」画面が表示されます。

10 [次へ]をクリックする。

11 スクロールバーをドラッグするか、 ▲ または ▼ をクリックして、画面に現れた内容をすべて読み、内容を了承するときは[了承します]をクリックする。

① スクロールバーを操作して文章を表示させる。



② ここをクリックする。

「IDの規約の確認」画面が表示されます。

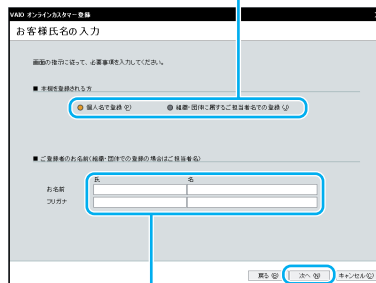
12 スクロールバーをドラッグするか、 ▲ または ▼ をクリックして、画面に現れた内容をすべて読み、内容に同意するときは[同意する]をクリックする。

！ご注意

[同意しない]をクリックすると、カスタマー登録は完了しません。

13 画面の指示に従って入力し、[次へ]をクリックする。

① どちらかを選ぶ。

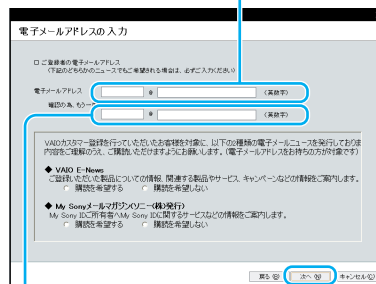


② お名前とふりがなを入力する。

③ ここをクリックする。

14 すでに電子メールアドレスをお持ちの方は、電子メールアドレスを入力し、[次へ]をクリックする。

① 電子メールアドレスを入力する。
電子メールアドレスをお持ちでない方や電子メールアドレスを教えたくない方は、何も入力せずに [次へ] をクリックする。



② 確認のため、もう1度入力する。

③ ここをクリックする。

15 必要な項目を入力し、[次へ]をクリックする。

① 生年月日を入力する。 ② 性別を選ぶ。

③ 郵便番号を入力する。
(ハイフンは入力しない。)

④ ここをクリックする。

ヒント

「郵便番号」を入力した後、「住所検索」をクリックすると、簡単に住所検索ができます。

！ご注意

- 「郵便番号」はハイフンを除いて入力してください。
- 保証書等の送付先がここで入力した住所と同様の場合は、画面下部の「保証書等の送付先住所を上記と同様にする。」の ☐ をクリックして ☒ にしてください。

16 「My Sony ID」の「@」前にご希望の文字列、「My Sony ID用パスワード」、「パスワード初期化のための合言葉」を入力し、[次へ]をクリックする。

① ここに入力する。 ② ここに入力する。

③ パスワードを忘れてしまったときに備え、入力する。

④ ここをクリックする。

！ご注意

- 「My Sony ID用パスワード」は英字と数字を混ぜて入力してください。英字のみ、または数字のみのパスワードは設定できません。
- 「My Sony ID用パスワード」は「登録内容の確認」画面では表示されません。「My Sony ID用パスワード」を忘れないようご注意ください。

ヒント

「パスワード初期化のための合言葉」は、「My Sony ID用パスワード」を忘れてしまったときに備え、あらかじめ設定しておいた質問と答えを使って、パスワードの初期化と再設定を行う機能です。

17 本機のモデル名を確認し、本機の購入日や販売店名を入力し、[次へ]をクリックする。

① ここがお使いの機種が確認する。

② ここに入力する。 ③ ここをクリックする。

「登録内容の確認」画面が表示されます。

ヒント

製品情報の入力が完了すると、「アンケート」画面が表示される場合がありますので、画面の指示に従って入力してください。

18 登録内容を確認し、[次へ]をクリックする。

「確認してください」画面が表示されます。

19 [登録する]をクリックする。

登録内容が電話回線を通じて送られ、送信が終わると「登録完了」画面が表示されます。

！ご注意

ターミナルアダプタ、携帯電話、PHSなど、お使いになる通信機器によっては、正しく接続できないことがあります。この場合は、本機の (モジュラージャック) と一般電話回線をつなぎ (47 ページ)、通信を行ってください。

20 [次へ]をクリックする。

「ご登録の完了」画面が表示されます。

【ヒント】

「My Sony ID」と「お客様サポート番号」について
VAIO登録カスタマー向けのサービスをご利用の際には
「My Sony ID」をお使いください。

VAIOカスタマーリンクへ電話でお問い合わせいただく
際には「お客様サポート番号」をご使用ください。

【ご注意】

VAIOカスタマーリンクへ電話でお問い合わせいただく
際に、「My Sony ID」はご使用できません。

【ヒント】

「My Sony ID」と「お客様サポート番号」は後日、ソニーより
「1年間保証書」などとともにお送りいたします。

21 [ID と番号をファイルに保存する]をクリックする。

「名前を付けて保存」画面が表示されます。

22 ファイルに任意の名前を付け、[保存]をクリックする。

お客様の「My Sony ID」と「お客様サポート番号」の情報が
ファイルとして「マイ ドキュメント」フォルダの中に
保存されます。

【ご注意】

保存されたデータを他人に見られたり、紛失しないよう
ご注意ください。

23 「ご登録の完了」画面の[OK]をクリックする。

これでVAIOオンラインカスタマー登録は終了です。

【ヒント】

[OK]をクリックすると、サービス内容などをお知らせ
する画面が表示されることがあります。この場合は、[次
へ]をクリックしてください。

VAIOカスタマー登録情報を変更するには

1 [スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]にポインタをあわせ、[VAIO オンラインカスタマー登録]をクリックする。

「お客様はすでにVAIOカスタマーに登録されています。……」というメッセージが表示されます。

2 [はい]をクリックする。

「VAIO オンラインカスタマー登録」画面が表示されます。

3 [次へ]をクリックする。

「登録情報変更手順について」画面が表示されます。

4 [次へ]をクリックする。

「My Sony ID、My Sony ID用パスワードの入力」画面が
表示されます。
画面の指示に従って操作し、登録内容を変更してください。

基本設定を行う

Do VAIO の設定をする

Do VAIO は、ビデオなどの映像や音楽、デジタル写真、音楽CD、DVD ビデオなどをコンピュータで楽しむための統合プレイヤーです。

本機をはじめてお使いになるときは、次の手順に従って、Do VAIO で使用するフォルダの設定を行ってください。

！ご注意

Do VAIO の準備を行うには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限を持つユーザーとしてログオンする必要があります。

- 1 [スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]→[Do VAIO]の順にポインタをあわせ、[Do VAIO]をクリックする。

「Do VAIO の準備」画面が表示されます。

- 2 [完了]をクリックする。

「[マイ ドキュメント]フォルダに保存されたコンテンツを Do VAIO で楽しめるように設定してよろしいですか？」画面が表示されます。

- 3 [はい]または[いいえ]をクリックする。

Do VAIO の基本設定が完了します。

ヒント

[はい]をクリックすると、「マイ ドキュメント」に保存されたコンテンツを Do VAIO で楽しめるようになります。ただし、他のユーザーからも「マイ ドキュメント」に保存されたコンテンツが利用できるため、注意が必要です。また、[いいえ]をクリックすると、「マイ ドキュメント」に保存されたコンテンツを Do VAIO で利用しません。

ヒント

- Do VAIO の基本設定を後から変更する場合は、[スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[Do VAIO]の順にポインタをあわせ、[Do VAIO 設定]をクリックして表示される画面で設定してください。詳しくは、Do VAIO のヘルプをご覧ください。
- Do VAIO の操作方法について詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「楽しむ／保存する」の[Do VAIO で楽しむ]→[Do VAIO の使いかた]の順にクリックする。)

パスワードについて

本機では、パワーオン・パスワード(起動時のパスワード)とハードディスク・パスワードを設定することができます。

パワーオン・パスワードについて

パワーオン・パスワードを設定することで、パスワードを知っているユーザーだけが本機を使用することができます。

大切なデータを守りたいときなどに便利です。

パワーオン・パスワードには、以下の2種類があります。

• マシンパスワード(管理者用)

「コンピュータの管理者」など、本機の管理者用パスワードです。

マシンパスワードを入力することで本機の起動や BIOS セットアップ画面でのすべての設定が可能になります。

• ユーザーパスワード(管理者以外のユーザー用)

本機の管理者以外のユーザー用パスワードです。

ユーザーパスワードを入力することで本機の起動や BIOS セットアップ画面での一部の設定が可能になります。

マシンパスワードが設定されていないと、ユーザーパスワードを設定することはできません。

パワーオン・パスワードの設定手順について詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「機能／設定」の[電源／起動]→[起動時の設定]→[パワーオン・パスワードを設定する]の順にクリックする。)

！ご注意

- パワーオン・パスワードは必ずメモを取るなどして、忘れないようにしてください。
- パワーオン・パスワードを忘れると、本機を起動することができなくなります。
 - ー ユーザーパスワードを忘れた場合
マシンパスワードを入力することで BIOS セットアップ画面からユーザーパスワードを再設定することができます。
 - ー マシンパスワードを忘れた場合
パスワード設定を解除することはできません。修理(有償)が必要となります。
VAIO カスタマーリンクにご連絡ください。

ヒント

パワーオン・パスワードは、本機の電源を入れて VAIO のロゴマークが表示されたあとに入力します。

ハードディスク・パスワードについて

ハードディスク・パスワードを設定することで、本機以外のパソコンでハードディスクを不正使用することを防止できます。

ハードディスク・パスワードには、以下の2種類があり、ハードディスクをロックするためには、必ず両方のパスワードを設定する必要があります。

・ マスターパスワード (管理者用)

「コンピュータの管理者」など、本機の管理者用パスワードです。

ユーザーパスワードを忘れたときなどに、マスターパスワードでユーザーパスワードの設定を解除することができます。

このパスワードでは本機を起動することはできません。

・ ユーザーパスワード

ハードディスクにロックをかけるためのパスワードです。

設定を行うと、起動時にユーザーパスワードの入力が必要になります。

ハードディスク・パスワードの設定手順について詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「機能／設定」の[電源／起動]→[起動時の設定]→[ハードディスク・パスワードを設定する]の順にクリックする。)

！ご注意

- この機能は、企業内など特別にセキュリティが求められる環境での使用を想定しています。
設定をする場合は、「コンピュータの管理者」などの指示に基づいて行うなど、特にご注意ください。
- ハードディスク・パスワードは必ずメモを取るなどして、忘れないようにしてください。
- ハードディスク・パスワードを忘れると、ハードディスク内のデータが二度と使用できなくなります。
 - ユーザーパスワードを忘れた場合
マスターパスワードを入力することで、BIOSセットアップ画面からユーザーパスワードを再設定することができます。
ユーザーパスワードを再設定しない限りハードディスク内のデータを使用できなくなり、ハードディスクのデータをリカバリすることもできません。
また、本機を起動することもできなくなり、CD／DVDドライブなど、他のドライブから起動することもできません。
 - マスターパスワードを忘れた場合
パスワード設定を解除することができなくなります。
ハードディスクの交換修理(有償)が必要となり、その場合ハードディスク内のデータはすべて失われます。
VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。
 - ハードディスク・パスワードを忘れたことによる不都合については、弊社は一切の責任を負いかねます。

- ハードディスク・パスワードは本機内蔵のハードディスクのみに有効です。
外付けのハードディスクに対しては機能しません。
- ハードディスク・パスワードを設定すると、ハードディスクを本機以外のパソコンに取り付けた際に、データの読み書きができないよう保護機能が働きますが、完璧に保護できるという保証ではありません。

※ヒント

ハードディスク・パスワード(ユーザーパスワード)は、本機の電源を入れてVAIOのロゴマークが表示されたあとに入力します。パワーオン・パスワードを設定している場合は、両方を入力することで本機を使用することができます。

インターネットを始める

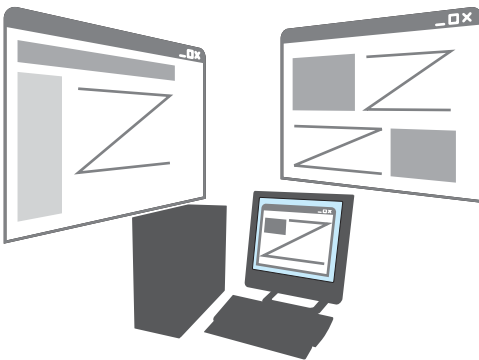
インターネットとは

インターネットとは、世界中のコンピュータがつながった、地球規模のネットワークのことです。インターネット接続サービスを提供する会社(「インターネットサービスプロバイダ(ISP)」や単に「プロバイダ」と言います。以下「プロバイダ」と記します)と契約すれば、インターネットに接続することができます。



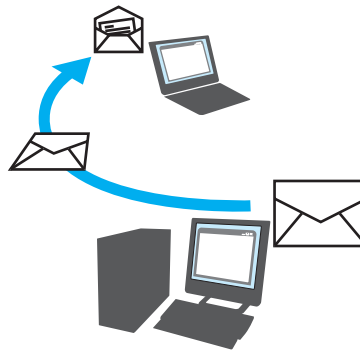
インターネットに接続すると、次のようなことができるようになります。

ホームページを見る



- 調べたい情報を検索する。
- 世界の景色を見る。
- ホテルや乗物の予約をする。
- 趣味の仲間をさがす。
- オンラインショッピングをする。

電子メールをやりとりする



電子メールで時差を気にせず世界中の人たちとコミュニケーション。

情報を発信する



- 自分の意見を発言する。
- 趣味の仲間をつのる。
- 絵や文芸作品を発表する。
- 仕事の広告を出す。

インターネット接続方法の種類について

インターネットに接続する方法には、いろいろな種類があります。接続方法によって、通信速度やプロバイダの料金、接続に必要な機器などが異なります。詳しくは、プロバイダにお問い合わせいただくか、または「インターネット接続に必要なものは」(44ページ)をご覧ください。

また、ADSLなどのブロードバンド接続については、付属の「できるインターネットプロバイダ選び&オンラインサービス編」もあわせてご覧ください。

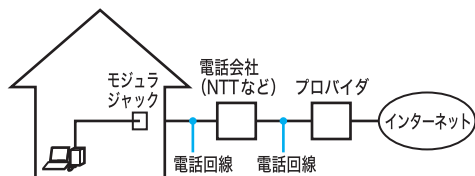
□ 各接続方法の特徴

回線の種類	接続可能エリア	高速通信	常時接続
一般電話回線	◎	△	△
ADSL	○	○	◎
ISDN	○	△	△
CATVインターネット	△	○	◎
光(FTTH)	△	◎	◎

◎:最適 ○:適している △:あまり適さない

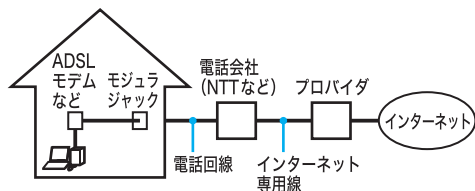
□ 一般電話回線

通常の電話回線を使ってインターネットに接続します。バيوのようなモデム内蔵タイプのコンピュータを利用する場合には、特別な機器を必要としません。



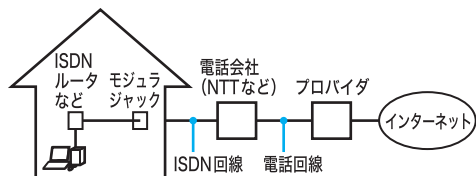
□ ADSL

通常の電話回線を使ってインターネットに接続します。高速通信・常時接続ができる接続方法です。回線の申し込みや、ADSLで接続するための機器(ADSLモデムなど)が必要です。



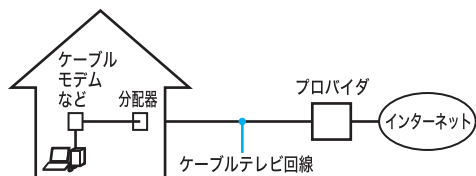
□ ISDN

NTTのデジタル回線を使ってインターネットに接続します。一般電話回線よりも高速ですが、ADSLよりは低速です。回線の申し込みや、ISDNで接続するための機器(ISDNルータなど)が必要です。なお、ISDNからADSLへ接続方法を切り替える場合は、回線変更の申し込みが必要になります。



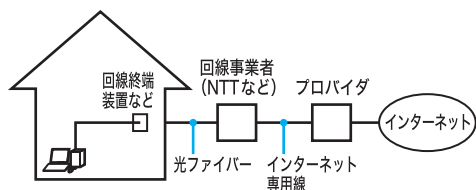
□ CATVインターネット

ケーブルテレビの回線を使ってインターネットに接続します。多くの場合、ADSLと同程度の速度で接続ができます。ケーブルテレビ局への申し込みが必要で、接続にはケーブルテレビの端末を使います。



□ 光(FTTH)

光ファイバーケーブルの回線を使ってインターネットに接続します。一般的にADSLより高速に接続できます。回線の申し込みが必要です。



その他、インターネット回線が用意されているマンションや、無線による接続など、特殊な接続方法もあります。詳しくはプロバイダにお問い合わせください。

はじめに

本機をセットアップする

インターネットを始める

困ったときは

サービス・サポート

その他

インターネット接続 に必要なものは

世界中の情報に接することのできるインターネットですが、情報を受け取ったり、発信したりするためには接続する回線や機器、専用のソフトウェアが必要になります。また、電話回線などを通してインターネットにつなぐためにプロバイダと契約する必要があります。

インターネットに接続するために必要な主なものは以下のとおりです。

□ 接続回線

インターネットに接続するための回線には、主に以下のような種類があります。

接続について詳しくは「一般電話回線／ADSL／ISDN／CATVインターネット回線につなぐ」(47ページ)をご覧ください。

回線の種類	解説	お問い合わせ先
一般電話回線	通常の電話が使っている回線です。	プロバイダ
ADSL	ADSLとは「Asymmetric Digital Subscriber Line」の略で、一般電話回線を利用してインターネットに常時接続できるサービスのことです。 ！ご注意 ISDN回線でADSLを利用することはできません。詳しくは、契約するADSL接続業者にお問い合わせください。	ADSL接続サービスを提供しているプロバイダ
ISDN	NTTのデジタル通信網を使った回線で、1回線で従来の2回線分の通話/通信ができます。	NTT (局番なし116番)
CATVインターネット	CATV事業者が提供するCATVインターネット回線を利用してインターネットに常時接続できるサービスのことです。	CATV事業者
その他	上記のほかに光ファイバーで接続する方法(FTTH)や、外出先などでも接続可能な無線での接続方法などもあります。	プロバイダ NTTなどの回線事業者

□ インターネット接続サービス(インターネットサービスプロバイダ:ISP)との契約

インターネットにつなぐためには、インターネット接続サービスを提供する会社と契約する必要があります。この会社のことを「インターネットサービスプロバイダ」(ISP)または単に「プロバイダ」と言います。

プロバイダはインターネットと本機との間を仲介する役割を持っています。プロバイダと契約すると、インターネットを使って、いろいろな情報が載ったホームページを見ることができます。また、ほとんどのプロバイダでは、「電子メールアドレス」という、あなたの住所のようなものが契約時に用意されます。電子メールアドレスは、電子メールを送受信するときの宛先になります。これらの他に、契約するプロバイダによっていろいろなサービスがあります。

プロバイダと契約すると、サービスに応じた接続料金がかかります。また、プロバイダとの契約条件によっては、接続料金とは別に電話回線の通話料がかかることがあります。

各プロバイダのお問い合わせについては「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」の「ISP サインアップ」をご覧ください。(137ページ)

！ご注意

- 本機および付属ソフトウェアの設定によっては、本機の電源を切っている間でも、自動的にインターネットに接続することがあります。自動接続すると、接続を自動的に終了しないことがあります。この場合、通話料と接続料金が多額になる可能性がありますので、ご注意ください。
- インターネットに接続している間は、電話をかけたり、受けたりできないことがあります。

□ モデム

インターネット上のホームページを見たり、電子メールをやりとりするために電話をかける装置です。回線の種類によって、以下のようなものがあります。

回線の種類	モデムの種類
一般電話回線	モデム(本機内蔵)
ADSL	ADSLモデム(別売り)
ISDN	ISDNダイヤルアップルータ(別売り) または、ターミナルアダプタ(別売り)
CATVインターネット	ケーブルモデム(別売り)

□ ソフトウェア

インターネットに接続してホームページを見るには専用のソフトウェア(「ウェブブラウザ」と言います。)が必要です。また、電子メールをやりとりするにも専用のソフトウェアが必要です。本機には両方の専用ソフトウェアが付属しています。

本機には以下のウェブブラウザおよび電子メールソフトウェアが付属しています。

ウェブブラウザ



Microsoft Internet Explorer

電子メールソフトウェア



Outlook Express

この説明書では、「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアと「Outlook Express」ソフトウェアの設定と使いかたを中心に説明していきます。

これらのソフトウェアの特長について詳しくは「パイオ電子マニュアル」をご覧ください。([ソフト紹介/問い合わせ先]→[インターネット・メール]の順にクリックする。)

□ ヒント

ワイヤレスLANでの接続について

ワイヤレスLAN機能を使えば、接続回線とコンピュータの間の接続を無線にすることができます。例えば、部屋の中で接続コードを気にせずコンピュータを移動させてインターネットを楽しんだり、接続コードの長さを気にせずコンピュータを設置することができます。

ワイヤレスLAN機能^{*1}を使ってインターネットに接続する場合は、ワイヤレスLANアクセスポイント^{*2}が必要です。

ワイヤレスLANアクセスポイントの設定については、ワイヤレスLANアクセスポイントに付属の取扱説明書をご覧ください。また、外出先などからワイヤレスLANサービスを利用してインターネットに接続することも可能です。外出先でのインターネット接続をする場合は、対応しているプロバイダや、NTTなどの回線事業者にお問い合わせください。

^{*1} ワイヤレスLAN機能搭載モデルをお使いの場合は、無線でインターネットに接続できます。(ワイヤレスLAN内蔵モデルのみ)

詳しくは「パイオ電子マニュアル」をご覧ください。([パイオの使いかた]→「インターネット/ネットワーク」の[ワイヤレスLAN]→[ワイヤレスLANを使ってできること]の順にクリックする。)

ワイヤレスLANを搭載していないモデルをお使いの場合は、ワイヤレスLANカードなどが必要です。

^{*2} ADSL モデムなどに内蔵されている場合もあります。

インターネット上のトラブルについて

現在一般に普及し、さまざまなサービスを提供しているインターネットですが、普及に伴いトラブルも発生しています。

インターネットは非常に便利なものですが、使いかたを誤ったり、安易な気持ちで使用すると思わぬトラブルにあう可能性があります。

□ インターネット上の情報について

インターネット上の情報はすべてが正しいとは限りません。

ひぼう・中傷・暴力・わいせつなど、情報を受ける側もモラルを持って情報を利用する必要があります。

また、情報を発信する場合もマナーを守って行わないと、気がつかないところで自分が加害者になる恐れもあります。

ユーザー名やパスワードなどは他人に知られないように管理してください。

□ コンピュータウイルスやチェーンメールなどの被害について

ホームページからダウンロードしたファイルや悪意を持った人たちから突然送られてくる電子メールには、コンピュータウイルス(コンピュータの動作に悪影響を与えるプログラム)が潜んでいたり、チェーンメールなどにより不快な内容の電子メールが送られてくることもあります。

不審な電子メールが送られてきた場合は、安易に開いたり、添付されているプログラムを実行せずに削除してください。

また、できるだけインターネットサービスプロバイダなどに報告して、自分が加害者にならないようにしましょう。

□ ヒント

コンピュータウイルスについて詳しくは、「セキュリティについて」(66ページ)をご覧ください。

はじめに

本機をセットアップする

インターネットを始める

困ったときは

サービス・サポート

その他

□ 情報の機密性について

ソフトウェアやOSなどの不具合により、コンピュータの情報などがインターネット上にもれ出すことがあります。悪意を持った人たちの標的になりやすいため対応することが必要です。

ウェブブラウザやOSの各ソフトウェアの情報が、開発元のホームページなどに掲載されていますので、不具合情報をこまめに確認することをおすすめします。

また、電子メールには完全な機密性はありません。送信する内容にはご注意ください。

📁 ヒット

OSとは

「オペレーティングシステム」の略称で、「オーエス」と読みます。

リソースなど、コンピュータ全体を管理し、コンピュータを操作するのに必要な基本ソフトウェアです。本機で使用しているWindowsも代表的なOSの1つです。

□ インターネットショッピングでのトラブル

インターネットショッピングをするときに、むやみにクレジットカードの番号を入力しないようにご注意ください。プライバシー情報もれる可能性があります。注文した品物と違う、代金を送金したのに品物が届かないなどのトラブルも発生しています。できるだけ信用のおけるところを利用するなどの注意が必要です。

□ その他

インターネット上で無料で公開されているソフトウェアの中には、国際電話やダイヤルQ2などに接続してしまうものもあります。

知らない間に接続し、課金されている場合がありますのでご注意ください。

- ・ インターネット上での個人情報の公開には細心の注意を払いましょう。
- ・ 社会的に犯罪とされているものはインターネット上でも犯罪です。

インターネットに 接続するまでの流れ

インターネットを利用してホームページを見たり、電子メールをやりとりするには、本機をインターネットに接続する必要があります。

以下の流れに従ってインターネットに接続します。ここでは一般電話回線を使ってインターネットに接続する流れを説明します。詳しくは、各手順の参照ページをご覧ください。

！ご注意

インターネットに接続するための設定を行うには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限を持つユーザーとしてログオンする必要があります。

1

一般電話回線／ADSL／ISDN／CATV
インターネット回線などにつなぎま
しょう。(47ページ)

本機を一般電話回線やADSL、ISDN、CATVインターネット回線などにつなぎます。

2

プロバイダと契約しましょう。

プロバイダと契約します。契約すると、インターネット接続に必要な情報が記載された資料が郵送されてきます。

3

チェックシートを作成しましょう。
(50ページ)

プロバイダから郵送されてきた資料をもとに、チェックシートを作成します。資料の内容など、インターネット接続の設定の際の不明点については、契約したプロバイダにお問い合わせください。

各プロバイダのお問い合わせ先については「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」の「ISP サインアップ」をご覧ください。(137ページ)

！ご注意

郵送されてくるまでしばらく時間がかかります。

4

接続のための設定をしましょう。(ADSL
の場合：(54ページ)、一般電話回線の場合：(55ページ))

チェックシートをもとに、本機を使ってインターネットに接続するための設定をします。

5 電子メールソフトウェアの設定をしましょう。(61ページ)

電子メールを使うときは電子メールを使うための設定をします。

6 インターネットに接続してみましょう。

契約したプロバイダに接続します。

インターネットに接続したあとは

電子メールをやりとりしてみましょう
電子メールをやりとりする練習をします。

一般電話回線／ADSL／ ISDN／CATVインター ネット回線につなぐ

インターネットに接続するには、一般の電話回線に接続する方法や、ADSLに接続する方法などがあります。ここでは、一般の電話回線での接続方法と、ADSL(49ページ)、ISDN(49ページ)、CATVインターネット(49ページ)での機器の接続について説明します。

一般の電話回線につなぐときは

別売りのテレホンコードを使って本機と一般の電話回線をつなぐと、インターネットを楽しんだり、ファックスを送受信できるようになります。
本機の内蔵モデムの通信速度は、データ受信時最大56 kbpsです。データ送信時は最大33.6 kbpsに制限されています。電話回線の状況によって通信速度は変化することがあります。

！ご注意

本機の内蔵モデムで使用可能な回線は、一般電話回線です。その他の回線に接続した場合には、故障・発火の原因となることがあります。

1 お使いの電話回線のダイヤル方法(トーン式またはパルス式)を確認する。

電話機のダイヤルボタンを押すと「ピポパ」と音がし、「カチカチ」という音がしないときはトーン式ダイヤルです。ボタンではなくダイヤルを回す電話機、またはダイヤルボタンを押すたびに「カチカチ」という音がする電話機は、パルス式ダイヤルです。

2 モデムのダイヤル方法を設定する。

- ① [スタート] ボタンをクリックして、[すべてのプログラム] → [バイオの設定] にポインタをあわせ、[バイオの設定] をクリックする。
「バイオの設定」画面が表示されます。
- ② [ネットワーク・接続] → [電話とモデムのオプション] の順にダブルクリックする。
「電話とモデムのオプション」画面が表示されます。

はじめに

本機をセットアップ
する

インターネットを
始める

困ったときは

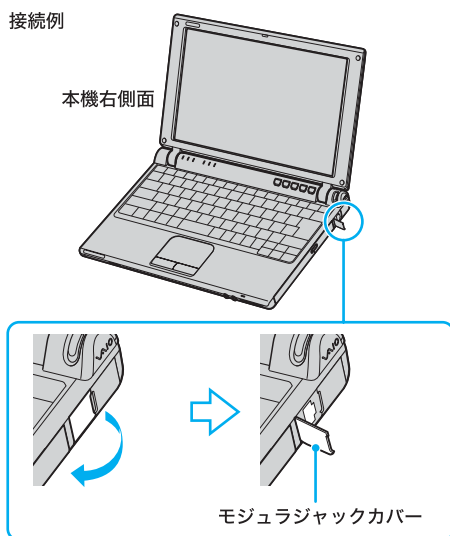
サービス・サポート

その他

- ③ 設定されている所在地をクリックして選び、
[編集]をクリックする。
「所在地の編集」画面が表示されます。
該当する所在地がないときは[新規]をクリックすると
「新しい所在地」画面が表示されます。
- ④ 手順1で確認したお使いの電話回線のダイヤル
方法に合わせて[トーン]または[パルス]を選
択する。
- ⑤ ダイヤル元の市外局番を半角の数字で入力する。
外線発信番号が必要な場合は、「市内通話の場合の外
線発信番号」と「市外電話の場合の外線発信番号」と
もに入力してください。
- ⑥ [OK]をクリックし、「所在地の編集」画面を閉
じる。
- ⑦ [OK]をクリックし、「電話とモデムのオプショ
ン」画面を閉じる。

3 本機右側面のモジュラジャックカバーを開ける。

接続例



！ご注意

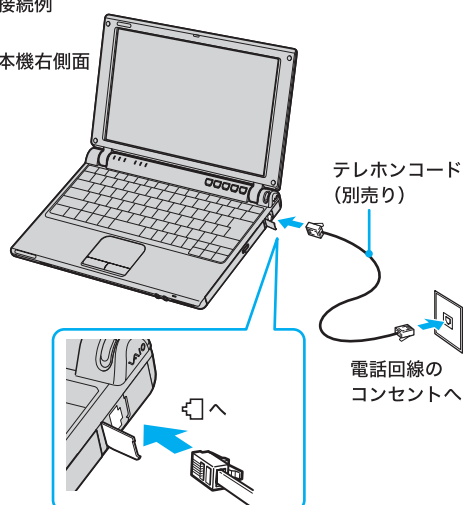
カバーを開く際は、強く引っ張りすぎないようにご注意ください。
引っ張りすぎると破損の原因となります。

4 電話回線につなぐ。

モジュラプラグのツメが「カチッ」とロックするまで
まっすぐに差し込みます。

接続例

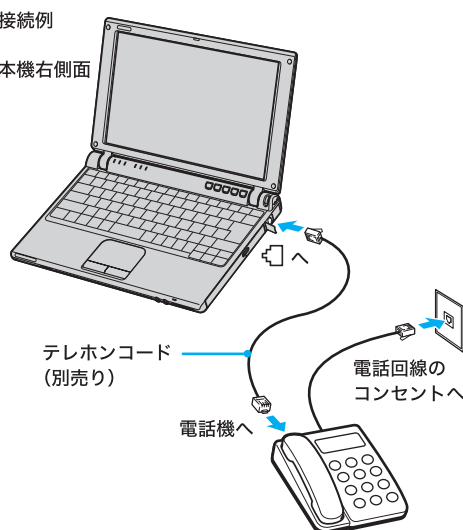
本機右側面



モジュラジャックが2つある電話機をお使いのときは、
下図のようにつなぎます。

接続例

本機右側面



！ご注意

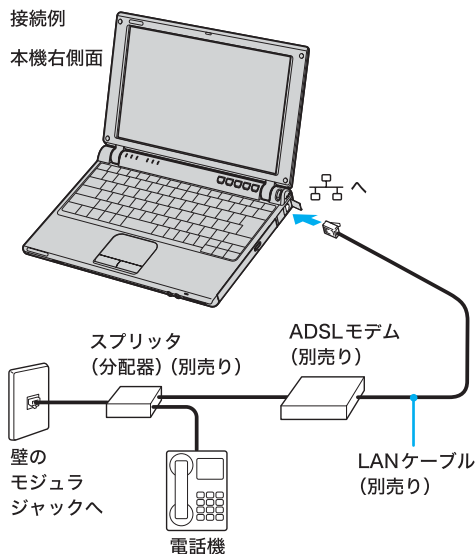
- ・ 接続後、お使いになる通信用ソフトウェアで、電話機
やファックス、通信方法などの設定をする必要があ
ります。詳しくは、それぞれのソフトウェアの取扱説
明書をご覧ください。
- ・ 接続する機器によってこの接続例とは異なる場合が
あります。
- ・ 本機右側面の  (ネットワーク/LAN) コネクタに
テレホンコードを接続しないようご注意ください。
- ・ 本機の  (モジュラジャック) にはテレホンコード以
外をつながないようご注意ください。

ADSL接続サービスを利用するときは

ADSLとは、「Asymmetric Digital Subscriber Line」の略で、一般電話回線を利用してインターネットに常時接続できるサービスです。このサービスを利用するには、ADSL接続サービスを提供している接続業者（プロバイダ）に申し込み、契約することが必要です。料金やサービスの内容をご検討のうえ、ご自分にあったプロバイダと契約することをおすすめします。

接続例

本機右側面



！ご注意

- ADSLの接続や設定に関しては、必ず各プロバイダにお問い合わせください。
各プロバイダのお問い合わせについては「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」の「ISP サインアップ」をご覧ください。(137ページ)
- プロバイダや接続する機器によってこの接続例とは異なる場合があります。

ポイント

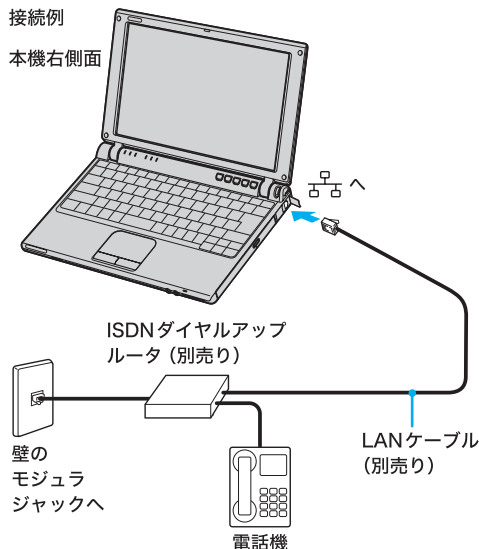
ADSL接続サービスを利用するときや、職場などのネットワーク（LAN）に接続するときは、本機右側面の （ネットワーク/LAN）コネクタにつなぎます。

ISDN回線を利用するときは

「ISDN回線」とはNTTのデジタル通信網を使った電話回線で、1回線で従来の2回線が使えます。ISDN回線を使って本機を使用するには、本機他に「ISDNダイヤルアップルータ」や「ターミナルアダプタ」が必要です。

接続例

本機右側面



！ご注意

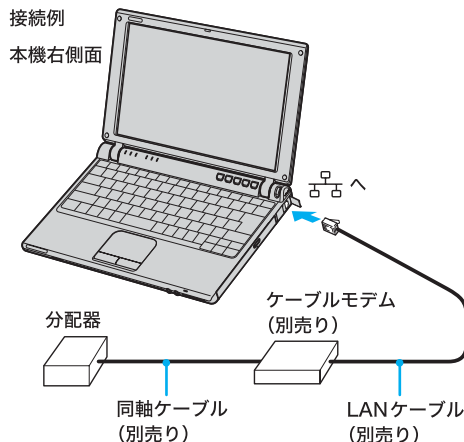
接続する機器によってこの接続例とは異なる場合があります。

CATVインターネット回線を利用するときは

CATVインターネットとは、CATV事業者が提供するCATVインターネット回線を利用してインターネットに常時接続できるサービスのことです。CATVインターネット回線を使って本機を使用するためには、本機他に「ケーブルモデム」が必要です。

接続例

本機右側面



！ご注意

CATV事業者や接続する機器によってこの接続例とは異なる場合があります。

はじめに

本機をセットアップする

インターネットを始める

困ったときは

サービス・サポート

その他

チェックシートを作成する

プロバイダと契約を結ぶと、通常、インターネットに接続するために必要な情報が記載された資料が郵送されてきます。その資料をもとにインターネットに接続するための設定をします。

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になりながら、次ページのチェックシートをコピーするなどして、あらかじめ作成しておく、「ADSLでインターネットに接続する」(54ページ)、「一般電話回線でインターネットに接続する(モデム搭載モデル)」(55ページ)および「電子メールソフトウェアの設定をする」(61ページ)の手順でインターネットに接続するための設定が簡単になります。

「設定項目について」(51ページ)からの説明に従ってチェックシートの各項目をご記入ください。

！ご注意

- ADSLの接続や設定に関しては、必ず各プロバイダにお問い合わせください。
- チェックシートに書き込む内容は、あなたの個人情報です。取り扱いには充分ご注意ください。
- チェックシートは、将来、再度設定し直さなければならないときなどにも活用できますので、チェックシートは大切に保管しておいてください。
- 他人にご自分のパスワードなどの情報がもれないようにご注意ください。パスワードは、他人に自分の名前を使われたり、電子メールを読まれたりしないようにするためのものです。できるだけ紙に書き留めず、記憶しておくことをおすすめします。
- 「(4)パスワード(PPP)」はプロバイダに電話回線を通じて接続できるようにするためのパスワードです。「(14)パスワード(POPアカウントパスワード)」は電子メールを受信できるようにするためのパスワードです。これらのパスワードは両方とも同じでも、別々でもかまいません(プロバイダによって、自由に設定できる場合と、プロバイダが規定する場合があります)。

ヒント

- チェックシートをコピーするなどしたうえで各項目を記入し、他人に見られないように、厳重に保管することをおすすめします。
- チェックシートをコピーするなどして記入しておく、「接続のための設定をする」(ADSLの場合:54ページ、一般電話回線の場合:55ページ)の手順を行うときに便利です。

□ チェックシート

設定項目	あなたの設定値	例(So-netの場合)
(1)ダイヤルアップ接続		So-net
(2)電話番号(アクセスポイント)		0570-00-1616
(3)ユーザー名(PPP)		ichiro@aa2
(4)パスワード(PPP)		
(5)市外局番		03
(6)トーン/パルス(電話回線の種類)		
(7)DNSサーバーアドレス(プライマリDNS)	.	202.238.95.24
(8)別のDNSサーバーアドレス(セカンダリDNS)	.	202.238.95.26
(9)表示名(差出人フィールドでの表示)		Ichiro Suzuki
(10)電子メールアドレス	@	Ichiro@aa2.so-net.ne.jp
(11)受信メール(POP3、IMAPまたはHTTP)サーバー		pop.aa2.so-net.ne.jp
(12)送信メール(SMTP)サーバー		mail.aa2.so-net.ne.jp
(13)POPアカウント名		ichiro
(14)パスワード(POPアカウントパスワード)		
(15)インターネットメールアカウント名		ichiro@aa2.so-net.ne.jp

記入内容がわからないときは契約したプロバイダにお問い合わせください。

ヒント

「(7)DNSサーバーアドレス(プライマリDNS)」、「(8)別のDNSサーバーアドレス(セカンダリDNS)」、「(11)受信メール(POP3、IMAPまたはHTTP)サーバー」、「(12)送信メール(SMTP)サーバー」は、プロバイダによっては設定しなくてもよいことがあります。

設定項目について

(1) ダイアルアップ接続名

デスクトップ画面左下の[スタート]ボタンをクリックして、[接続]にポインタを合わせ、[すべての接続の表示]をクリックして表示される「ネットワーク接続」画面の中の接続アイコンの名前です。

お好みの名前をご記入ください。

例: So-net

ポイント

- プロバイダによっては、オンラインサインアップソフトウェアを使って契約すると自動的に接続アイコンが作られ、名前も付けられます。
- 接続アイコンをデスクトップ画面上に作ることもできます。(56ページ)

(2) 電話番号(アクセスポイント)

プロバイダから送られてきた資料をご覧になり、プロバイダのアクセスポイントの電話番号(接続先の電話番号)をご記入ください。アクセスポイントは「V.90」に対応しているものをお選びになると、より高速な通信ができます。

例: 0570-00-1616

ポイント

アクセスポイントとは

一般加入電話からインターネットに接続するために、プロバイダが設けている接続地点のことです。インターネットの利用者は接続地点までの電話料金を負担する必要があるため、利用地点からより近いアクセスポイントで接続する方が通話料は少なくて済みます。

注意

- ここで記入する電話番号はご自分の電話番号ではありませんのでご注意ください。
- 電話番号は必ず市外局番からご記入ください。
- ISDN回線をお使いの場合やPHSを使ってインターネットに接続するときは、電話番号が異なる場合があります。詳しくは、契約したプロバイダにお問い合わせください。

(3) ユーザー名(PPP)

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になり、プロバイダにダイアルアップ接続するとき使用するユーザー名をご記入ください。

例: ichiro@aa2

ポイント

ユーザー名は「ユーザーID」、「PPPログイン名」、「ネットワークID」、「接続ログイン名」、「アカウント名」、「ログオン名」などともいいます。

ポイント

PPPとは

「Point to Point Protocol」の略で、ネットワーク(LAN)に接続する方法の1つです。

電話による接続が一般的なことからダイアルアップ接続とも呼ばれています。

(4) パスワード(PPP)

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になり、プロバイダにダイアルアップ接続するとき使用する、ユーザー名に対するパスワードを記入します。

ポイント

- このパスワードは「PPPパスワード」、「ネットワークパスワード」、「接続パスワード」などともいいます。
- パスワードの入力は、一般的に半角の英数字や記号などを使います。

ポイント

ダイアルアップ接続とは

電話回線を通じてインターネットに接続することです。

はじめに

本機をセットアップする

インターネットを始める

困ったときは

サポート
サービス・サポート

その他

(5) 市外局番

ご自分の電話番号の市外局番をご記入ください。

例:03

(6) トーン／パルス(電話回線の種類)

お使いの電話回線のダイヤル方法がトーン式かパルス式か確認してご記入ください。

トーン式:

電話機のダイヤルボタンを押すと「ピポパ」と音がし、「カチカチ」と音がしない電話機のダイヤル方法です。

パルス式:

ボタンではなくダイヤルを回す電話機、またはダイヤルボタンを押すたびに「カチカチ」と音がする電話機のダイヤル方法です。パルス式ダイヤルの場合、ダイヤルボタンを押すと受話器から電子音が聞こえるものもあります。

お使いの電話回線のダイヤル方法がわからない場合は、NTTなど電話会社から送られてくる請求内訳表をご覧ください。請求内訳表の中に「プッシュ回線使用料」と記載されている場合は「トーン式ダイヤル」です。回線(基本)使用料のみ記載されている場合は「パルス式ダイヤル」です。電話回線のダイヤル方法について詳しくは、NTT(局番なしの116番)など電話会社にお問い合わせください。

(7) DNSサーバーアドレス(プライマリDNS)

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧ください。

例:202.238.95.24

ヒント

- DNSサーバーは「ネームサーバー」、「プライマリDNSサーバー」、「プライマリネームサーバー」、「ドメインネームサーバー」ともいいます。
- この項目が必要ないプロバイダもあります。詳しくは、プロバイダから郵送されてきた資料をご覧ください。

(8) 別のDNSサーバーアドレス(セカンダリDNS)

上記の「(7)DNSサーバーアドレス」以外のアドレスがプロバイダから郵送されてきた資料に書かれている場合はご記入ください。

DNSサーバーアドレスは1つだけのプロバイダもあります。この場合は、「(8)別のDNSサーバーアドレス」は空欄のままでかまいません。

例:202.238.95.26

(9) 表示名(差出人フィールドでの表示)

あなたが送る電子メールの差出人欄に表示する名前をお好みでご記入ください。通常はご自分の名前のフルネームにします。

例:Ichiro Suzuki

ヒント

この表示名は全角の漢字でも良いですが、日本語圏以外の相手に電子メールを送ることが多いかたは半角のアルファベットにすることをおすすめします。こうすることによって電子メールを送った相手には「Ichiro Suzuki <ichiro@aa2.so-net.ne.jp>」などと表記されます。

(10) 電子メールアドレス

電子メールをやりとりするときのあなたの宛先をご記入ください。プロバイダから郵送されてきた資料には「xxxxx@xxxx.xx.xx」と記載されています。電子メールアドレスは、あなたの住所と同じ役割をします。

例:ichiro@aa2.so-net.ne.jp

ヒント

電子メールアドレスは、「E-Mailアドレス」、「Mailアドレス」、「メールアドレス」などともいいます。

(11) 受信メール(POP3、IMAPまたはHTTP)サーバー

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になり、電子メールを受け取るサーバーのアドレスをご記入ください。受信メールサーバーは、郵便局のような役割をします。受信メールサーバーからあなたの電子メールアドレスに電子メールが送られます。

例: pop.aa2.so-net.ne.jp

ポイント

- 受信メールサーバーは、「メールサーバー」、「POPサーバー」、「メール受信サーバー」、「POP3」などともいいます。
- この項目が自動的に設定されるプロバイダもあります。詳しくは、プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になるか、契約したプロバイダにお問い合わせください。

(12) 送信メール(SMTP)サーバー

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になり、電子メールを送信するサーバーのアドレスをご記入ください。送信メールサーバーも郵便局のような役割をします。あなたが送った電子メールを受け取り、送り先の電子メールアドレスに送ります。

例: mail.aa2.so-net.ne.jp

ポイント

- 送信メールサーバーは「メールサーバー」、「SMTPサーバー」、「メール送信サーバー」、「SMTP」などともいいます。
「(11) 受信メールサーバー」と同じ場合もあります。
- この項目が自動的に設定されるプロバイダもあります。詳しくは、プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になるか、契約したプロバイダにお問い合わせください。

(13) POPアカウント名

プロバイダから郵送されてきた資料をご覧になり、受信メールサーバーにアクセスするためのアカウント名をご記入ください。「(10) 電子メールアドレス」の「@」(アットマーク)より前の部分を記入します。電子メールを見るためには、このアカウント名と「(14) パスワード」の両方が必要になります。

例:「ichiro@aa2.so-net.ne.jp」が電子メールアドレスなら、POPアカウント名は「ichiro」になります。

ポイント

POPアカウント名は「メールアカウント名」、「メールサーバーログイン名」、「メールログイン名」、「POPサーバーアカウント」、「POPサーバーログイン名」ともいいます。「(3) ユーザー名」と同じ場合もあります。

(14) パスワード (POPアカウントパスワード)

受信メールサーバーにアクセスするためのアカウント名に対するパスワードを半角の英数字でご記入ください。電子メールを見るためには、「(13) POPアカウント名」とこのパスワードの両方が必要になります。

ポイント

このパスワードは、「メールパスワード」、「メールサーバーパスワード」などともいいます。

(15) インターネットメールアカウント名

お好みの名前をご記入ください。わかりやすいように電子メールアドレスを入れることをおすすめします。

例: ichiro@aa2.so-net.ne.jp

ADSLでインターネットに接続する

接続のための設定をする

「チェックシートを作成する」(50ページ)で作成したチェックシートをご覧になりながら、表示される画面に従って、各項目入力していきます。

□ ADSLモデムについて

ADSL接続に必要なADSLモデムには、一般的に下記の2タイプがあります。

①ブリッジタイプのADSLモデム

→コンピュータとADSLモデムを接続し、コンピュータ側で設定(PPPoEの設定)を行います。

②ルータータイプのADSLモデム

→コンピュータとADSLモデムを接続し、ルーターの設定を行います。

！ご注意

- ADSLでの設定に関しては、必ず各プロバイダにお問い合わせください。
各プロバイダのお問い合わせについては「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」の「ISP サインアップ」をご覧ください。(137ページ)
- ISDN回線でADSLを利用することはできません。
詳しくは、契約するADSL接続業者にお問い合わせください。

ここでは、①のブリッジタイプのADSLモデムを使った一般的な設定のしかたについて説明します。

1

[スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]→[バイオの設定]にポインタをあわせ、[バイオの設定]をクリックする。

「バイオの設定」画面が表示されます。

2

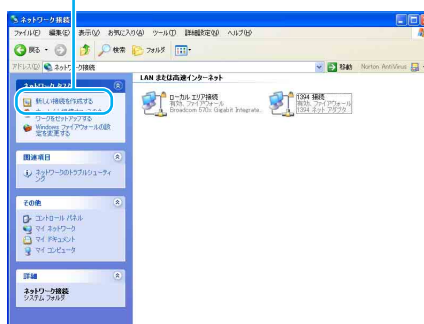
[ネットワーク・接続]→[ネットワーク接続]の順にダブルクリックする。

「ネットワーク接続」画面が表示されます。

3

「ネットワーク接続」画面の「ネットワークタスク」から[新しい接続を作成する]をクリックする。

ここをクリックする。



「新しい接続ウィザードの開始」画面が表示されます。

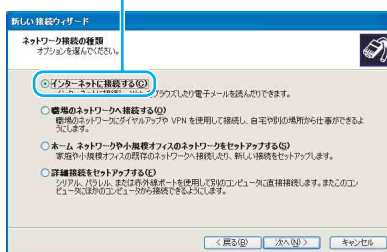
4

「新しい接続ウィザードの開始」画面で[次へ]をクリックする。

5

「ネットワーク接続の種類」画面で[インターネットに接続する]の○をクリックして●にし、[次へ]をクリックする。

ここをクリックする。



「準備」画面が表示されます。

6

「準備」画面で[接続を手動でセットアップする]の○をクリックして●にし、[次へ]をクリックする。

「インターネット接続」画面が表示されます。

7

「インターネット接続」画面で[ユーザー名とパスワードが必要な広帯域接続を使用して接続する]の○をクリックして●にし、[次へ]をクリックする。

8

「接続名」画面で「ISP名」にご契約のADSL接続業者の名前を入力し、[次へ]をクリックする。

ご契約のADSL接続の名前を入れる。

ここをクリックする。

なお、お使いの環境によっては「インターネット アカウント情報」画面が表示される前に、「接続の利用範囲」画面が表示されることがあります。その場合は、接続を利用するユーザーを選んでから[次へ]をクリックしてください。

9

「インターネット アカウント情報」画面でユーザー名、パスワードをご契約のADSL接続業者から指定されている情報で入力し、「パスワードの確認入力」に同じパスワードを再度入力してから、[次へ]をクリックする。

チェックシートの
(3) ユーザー名
(PPP) を入力する。

チェックシートの
(4) パスワード
(PPP) を入力する。

ここをクリックする。

「新しい接続ウィザードの完了」画面が表示されます。

10

[完了]をクリックする。

「新しい接続ウィザードの完了」画面が閉じます。これでADSLでPPPoEを使用してインターネットに接続するための設定は終わりです。

一般電話回線でインターネットに接続する (モデム搭載モデル)

接続のための設定をする

「チェックシートを作成する」(50ページ)で作成したチェックシートをご覧になりながら、表示される画面に従って、各項目入力していきます。以下の手順に従って操作してください。

1

[スタート]ボタンをクリックして、「インターネット」をクリックする。

「新しい接続ウィザードの開始」画面が表示されます。

ヒント

接続のための設定が終わったあとは[スタート]→[インターネット]をクリックすると、「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアが起動するようになります。もう1度「新しい接続ウィザード」を表示させたいときは、[スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[通信]の順にポインタを合わせ、[新しい接続ウィザード]をクリックします。

2

[次へ]をクリックする。

3

[インターネットに接続する]の○をクリックして●にし、[次へ]をクリックする。

ここをクリックする。

「準備」画面が表示されます。

はじめに

本機をセットアップする

インターネットを始める

困ったときは

サービス・サポート

その他

4 [接続を手動でセットアップする]の○をクリックして●にし、[次へ]をクリックする。

「インターネット接続」画面が表示されます。

ヒント

Windows XPアップグレードサービスをご利用の場合など、すでにプロバイダのインターネットサーバーに接続したことがあるときは、[インターネットサービスプロバイダ(ISP)の一覧から選択する]の○をクリックして●にし、[次へ]をクリックしてください。そのあとは、画面の指示に従って操作してください。

5 [ダイヤルアップ モデムを使用して接続する]の○をクリックして●にし、[次へ]をクリックする。

6 「ISP名」(ダイヤルアップ接続名)を入力し、[次へ]をクリックする。

チェックシートの
(1) ダイヤルアップ接続名を入力する。

ここをクリックする。

7 アクセスポイントの電話番号を入力し、[次へ]をクリックする。

チェックシートの (2) 電話番号
(アクセスポイント) を入力する。

ここをクリックする。

8 ユーザー名とパスワードを入力し、「パスワードの確認入力」に同じパスワードを再度入力してから、[次へ]をクリックする。

チェックシートの (3) ユーザー名 (PPP) を入力する。 チェックシートの (4) パスワード (PPP) を入力する。

チェックシートの (4) パスワード (PPP) を入力する。 ここをクリックする。

「新しい接続ウィザードの完了」画面が表示されます。

ヒント

「パスワード」はパスワードの文字数と同じ数の「*」で表示されます。

9 [完了]をクリックする。

「新しい接続ウィザード」が終了します。

ヒント

「新しい接続ウィザードの完了」画面の「この接続へのショートカットをデスクトップに追加する」にチェックしておく、デスクトップ画面上にダイヤルアップ接続のアイコンが作られます。

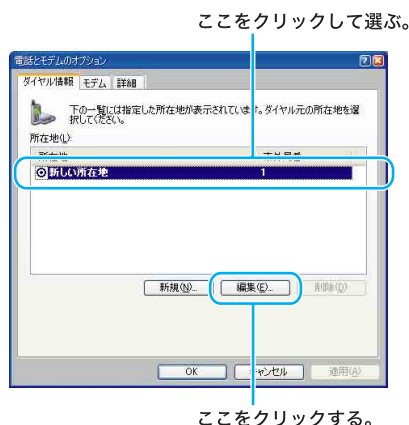
10 [スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]→[バイオの設定]にポインタをあわせ、[バイオの設定]をクリックする。

「バイオの設定」画面が表示されます。

11 [ネットワーク・接続]→[電話とモデムのオプション]の順にダブルクリックする。

「電話とモデムのオプション」画面が表示されます。

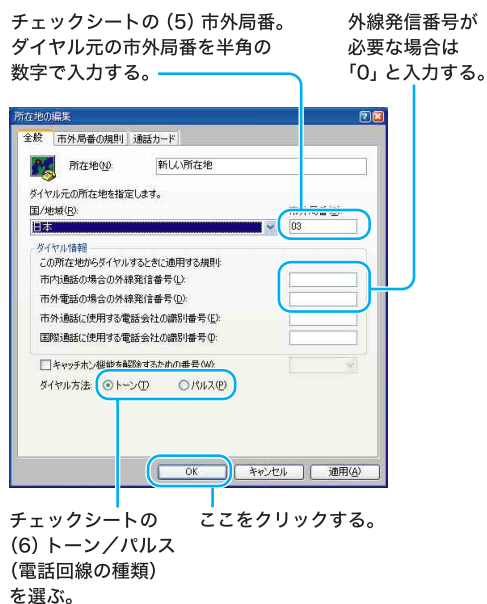
12 設定されている所在地をクリックして選び、[編集]をクリックする。



ヒント

該当する所在地がないときは[新規]をクリックしてください。「新しい所在地」画面が表示されます。

13 各項目を以下のように設定し、[OK]をクリックする。



14 「電話とモデムのオプション」画面の[OK]をクリックする。

15 [スタート]ボタンをクリックして[接続]にポインタを合わせ、[すべての接続の表示]をクリックする。

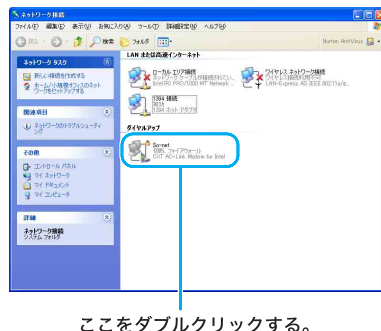
「ネットワーク接続」画面が表示されます。

ヒント

以下の方でも「ネットワーク接続」画面を表示することができます(お買い上げ時のウィンドウの設定の場合)。
[スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]→[パイオの設定]にポインタをあわせ、[パイオの設定]をクリックする。表示された「パイオの設定」画面で[ネットワーク・接続]→[ネットワーク接続]の順にダブルクリックする。

16 ダイヤルアップ接続(チェックシートの(1))のアイコンをダブルクリックする。

So-netの例では[So-net]をダブルクリックします。



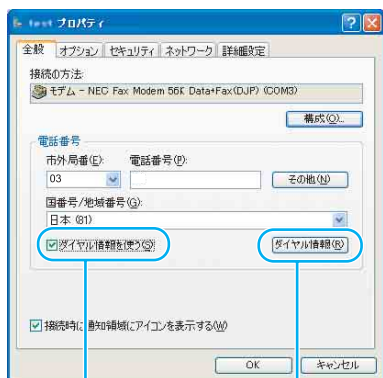
「So-netへ接続」画面が表示されます。

ヒント

手順9で、「新しい接続ウィザードの完了」画面の「この接続へのショートカットをデスクトップに追加する」にチェックしておく、デスクトップ画面上にダイヤルアップ接続のアイコンが作られている場合、これをダブルクリックして、手順18に進むこともできます。

17 [プロパティ]をクリックする。

- 18** [ダイヤル情報を使う]の ☐ をクリックして ☒ にし、[ダイヤル情報]をクリックする。



ここをクリックする。 ここをクリックする。

「電話とモデムのオプション」画面が表示されます。

- 19** 複数の所在地があるときは、「所在地」から設定されている所在地をクリックして選ぶ。

- 20** 「電話とモデムのオプション」画面の [OK] をクリックする。

手順22～25は、チェックシートに「(7) DNS サーバーアドレス (プライマリ DNS)」および「(8) 別の DNS サーバーアドレス (セカンダリ DNS)」を記入した場合 (プロバイダから郵送されてきた資料に DNS サーバーアドレスが記入されている場合) のみ操作を行ってください。

- 21** [ネットワーク] タブをクリックする。

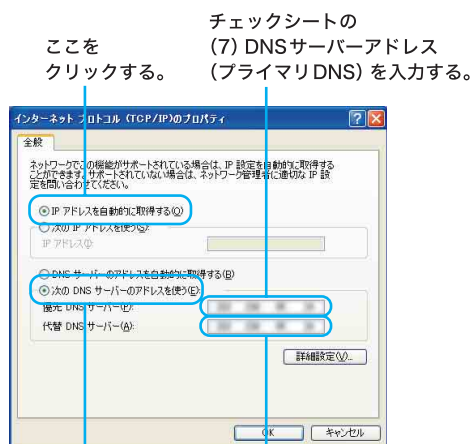
ここをクリックする。



- 22** 「この接続は次の項目を使用します」で [インターネット プロトコル (TCP/IP)] の ☐ をクリックして ☒ にし、[プロパティ] をクリックする。

- 23** 各項目を以下のように設定する。

- [IP アドレスを自動的に取得する] をクリックする。
- [次の DNS サーバーのアドレスを使う] をクリックし、DNS サーバーアドレスを入力する。



ここをクリックする。 チェックシートの (7) DNS サーバーアドレス (プライマリ DNS) を入力する。

ここをクリックする。 チェックシートの (8) DNS サーバーアドレス (セカンダリ DNS) を入力する。

メモ

「(7) DNS サーバーアドレス (プライマリ DNS)」と「(8) 別の DNS サーバーアドレス (セカンダリ DNS)」は同じ場合があります。このときは「代替 DNS サーバー」には入力する必要はありません。

- 24** [OK] をクリックする。

「インターネット プロトコル (TCP/IP) のプロパティ」画面が閉じます。

- 25** ダイヤルアップ接続名のプロパティ画面で [OK] をクリックする。

ダイヤルアップ接続名のプロパティ画面が閉じます。

- 26** 「(ダイヤルアップ接続名)へ接続」画面で [キャンセル] をクリックする。

「(ダイヤルアップ接続名)へ接続」画面が閉じます。

これでインターネット接続のための設定は終わりです。

インターネットに接続する

契約したプロバイダのインターネットサーバーに一般電話回線を使用して接続するには、以下の手順に従って操作してください。

ポイント

インターネットサーバーとは

常時インターネットに接続され、アクセス可能なコンピュータのことです。

ホームページ・サーバーやメール・サーバーなどがあります。

1

[スタート]ボタンをクリックして[接続]にポインタを合わせ、[すべての接続の表示]をクリックする。

「ネットワーク接続」画面が表示されます。

ポイント

以下の方法でも「ネットワーク接続」画面を表示することができます(お買い上げ時のウィンドウの設定の場合)。

- ① [スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]→[パイオの設定]にポインタを合わせ、[パイオの設定]をクリックする。
「パイオの設定」画面が表示されます。

- ② [ネットワーク・接続]→[ネットワーク接続]の順にダブルクリックする。

2

ダイヤルアップ接続(チェックシートの(1))のアイコンをダブルクリックする。

So-netの例では[So-net]をダブルクリックします。

ポイント

「接続のための設定をする」の手順9(56ページ)で、「新しい接続ウィザードの完了」画面の「この接続へのショートカットをデスクトップに追加する」にチェックしておくと、デスクトップ画面上にダイヤルアップ接続のアイコンが作られている場合、これをダブルクリックして、手順3に進むこともできます。

3

「So-netへ接続」画面の各項目を入力または確認する。

- ① パスワード(チェックシートの(4))を入力する。

チェックシートの(4)パスワード(PPP)を入力する。

！注意

「次のユーザーが接続するとき使用するために、このユーザー名とパスワードを保存する」の ☐ をクリックして ☒ に、「このユーザーのみ」の ☐ をクリックして ☒ にすると、次回からパスワードを入力する手間が省けます。「このコンピュータを使うすべてのユーザー」の ☐ をクリックして ☒ にすると、他人に勝手にインターネットに接続される恐れがありますのでご注意ください。

ポイント

- 「パスワード」(チェックシートの(4)パスワード(PPP))は「*」で表示されます。
- 「パスワード」入力欄は、「電子メールソフトウェアの設定をする」(61ページ)の手順5で、「パスワードを保存する」の ☐ をクリックして ☒ にすると、入力された状態で表示されます。

はじめに

本機をセットアップする

インターネットを始める

困ったときは

サービス・サポート

その他

- ② ユーザー名(チェックシートの(3))が正しいか確認する。



ここを確認する。

- ③ [ダイヤル]をクリックする。

プロバイダのインターネットサーバーに接続します。「(ダイヤルアップ接続名)は現在接続しています。」画面が表示されたときは、[OK]をクリックします。[OK]をクリックする前に[今後、このメッセージを表示しない]の ☐ をクリックして ☒ にしておけば、次回からこの画面は表示されません。

デスクトップ画面右下には  が表示されます。

これで、接続は完了です。

インターネットに接続しているときは、常にデスクトップ画面右下に  が表示されます。

- 電子メールをやりとりするには、「電子メールをやりとりする」(63ページ)をご覧ください。
- 接続できなかった場合について詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([Q&Aで調べる]→「インターネット/ネットワーク」の[インターネット接続]の順にクリックする。)

接続を切断するには

一般電話回線やISDNなどで、プロバイダと契約した内容によっては、インターネットに接続している間は、ホームページを見たり、電子メールをやりとりするなどの操作を行っていないときでも通話料やプロバイダへの接続料金がかかることがあります。また、「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアや「Outlook Express」ソフトウェアを終了しても、インターネットへの接続は解除されません。操作を行わないときや操作が終わった後などは、インターネットの接続を切断してください。接続を切断するには、以下の3つの方法があります。

- デスクトップ画面右下の  を右クリックして表示されるメニューから[切断]をクリックする。
- デスクトップ画面右下の  をダブルクリックして表示される「自動切断」画面で[今すぐ切断する]をクリックする。
- 通信用ソフトウェアで、通信を終了するコマンドを実行する。

ヒント

- 電子メールを書いているときや電子メールを受け取った後に読むときは、インターネットの接続を切断しておけば接続料金はかかりません(オフライン作業)。
- ワイヤレスLAN機能などを同時に使用していると、デスクトップ画面右下の通知領域に  が複数表示されます。アイコンにポインタを当てて接続しているアイコン名を確認してから切断してください。
- ADSLやCATVインターネットについては、基本的に常時接続となりますので、特に接続を切断しなくても問題ありません。

電子メールソフトウェアの設定をする

電子メールのやりとりを正しく行えるようにするための設定を行います。

「チェックシートを作成する」(50ページ)で作成したチェックシートをご覧になりながら、各項目に記入した内容を実際の画面の入力欄にキーボードを使って入力していきます。以下の手順に従って操作してください。ここでは、本機に付属の電子メールソフトウェア「Outlook Express」を例に電子メールのやりとりするための設定をしていきます。

ポイント

「Outlook Express」ソフトウェアの設定は1度行えば、2回目以降の起動時には不要です。

1

【スタート】ボタンをクリックして【すべてのプログラム】→【Outlook Express】をクリックする。

インターネット接続ウィザードの「名前」画面が表示されます。

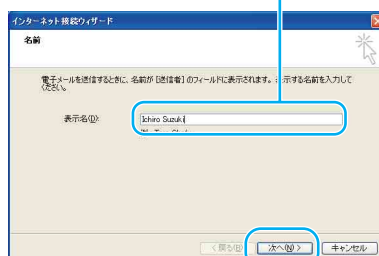
ポイント

- お使いの機種によっては、「名前」画面とは違う画面が表示されることがあります。この場合は、画面の指示に従って操作し、手順2の画面まで進んでください。
- 電子メールソフトウェアの設定が終わったあとは、手順1を行うと「Outlook Express」ソフトウェアが起動するようになります。電子メールのアカウントを追加するなど、もう一度「インターネット接続ウィザード」を表示させたいときは、「Outlook Express」ソフトウェアを起動時に、画面上部の【ツール】をクリックし、【アカウント】をクリックします。表示される「インターネットアカウント」画面で【追加】→【メール】の順にクリックします。

2

表示したい名前を入力し、【次へ】をクリックする。

チェックシートの
(9) 表示名
(差出人フィールドでの表示)を入力する。



ここをクリックする。

「インターネット電子メール アドレス」画面が表示されます。

3

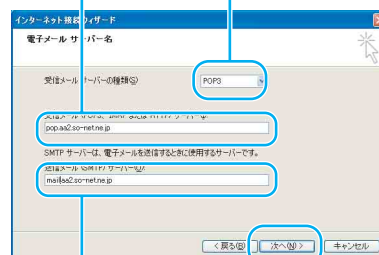
「電子メールアドレス」に電子メールアドレスを入力して、【次へ】をクリックする。

4

受信メールサーバーと送信メールサーバーの名前を入力し、【次へ】をクリックする。

チェックシートの
(11) 受信メール (POP3、IMAPまたはHTTP)
サーバーを入力する。

通常「POP3」を選ぶ。



チェックシートの
(12) 送信メール
(SMTP) サーバーを
入力する。

ポイント

「(11)受信メール (POP3、IMAPまたはHTTP) サーバー」の名前と「(12)送信メール (SMTP) サーバー」の名前は同じ場合があります。

はじめに

インターネット接続ウィザード
本機をセットアップ
する

インターネットを
始める

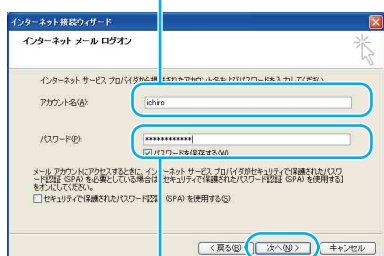
困ったときは

サービス・サポート

その他

5 アカウント名とパスワードを入力し、 [次へ]をクリックする。

チェックシートの
(13) POPアカウント名を入力する。



チェックシートの
(14) パスワード (POP
アカウントパスワード)
を入力する。

ここをクリックする。

「設定完了」画面が表示されます。

ヒント

- 「パスワード」はパスワードの文字数と同じ数の「*」で表示されます。
- 「パスワードを保存する」の ☐ をクリックして ☒ にすると、実際にインターネットに接続するときの「(ダイヤルアップ接続名)へ接続」画面でパスワードを入力する手間が省けます。しかし、他人に勝手にインターネットに接続される恐れがありますのでご注意ください。

6 [完了]をクリックする。

自動的に「Outlook Express」ソフトウェアが起動します。

！ご注意

[完了]をクリックしたあと、その他の画面が表示されることがあります。この場合は、画面の指示に従って操作してください。

ヒント

「Outlook Express」ソフトウェアで作成したメッセージは初期設定でHTML形式になります。HTML形式に対応していない電子メールソフトウェアを使っている相手にHTML形式のメッセージを送ると、相手側が正しく受け取れないことがあります。メッセージはテキスト形式で送ることをおすすめします。メッセージをテキスト形式で送るように設定するには、次の手順に従ってください。

- ① 「Outlook Express」画面上部の[ツール]をクリックし、[オプション]をクリックする。
「オプション」画面が表示されます。

- ② [送信]タブをクリックする。
「送信」画面が表示されます。

- ③ 「メール送信の形式」で[テキスト形式]の ☐ をクリックして ☒ にし、[OK]をクリックする。
送信するメッセージがテキスト形式になります。
電子メールをテキストのみで送りたいときも同様の設定でお使いください。

7 画面右上の (「閉じる」ボタン) をクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアが終了します。

電子メールの設定を変更するには

チェックシートの「(15)インターネットメールアカウント名」は、下記の方法で変更できます。

1 「Outlook Express」画面上部の[ツール]をクリックする。

「ツール」メニューが表示されます。

2 [アカウント]をクリックする。

「インターネットアカウント」画面が表示されます。

3 [メール]タブをクリックする。

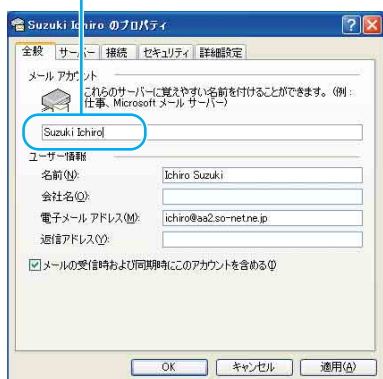
「メール」画面が表示されます。

4 [プロパティ]をクリックする。

5 「メールアカウント」(「pop.aa2.so-net.ne.jp」が反転表示されている部分)を変更する。

ここでは「Suzuki Ichiro」と入力してみます。

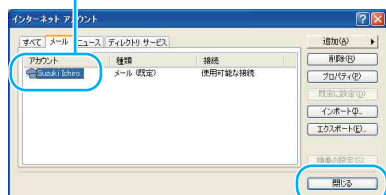
ここを変更する。



6 [OK]をクリックする。

7 名前を変更した場合は、変更されているか確認して[閉じる]をクリックする。

ここが変更されているか確認する。



ここをクリックする。

8 「Outlook Express」画面で右上の「閉じる」ボタンをクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアが終了します。

電子メールをやりとりする

インターネットを使って、電子メールをやりとりできます。電子メールをやりとりするには、電子メールソフトウェアが必要です。

ここでは、「Outlook Express」ソフトウェアを使って自分の電子メールアドレスに電子メールを送ったり、受け取ったりしてみます。

【注意】

電子メールをやりとりする手順は、インターネットへの接続やソフトウェアの設定によって変わることがあります。

[1] 「Outlook Express」ソフトウェアを起動する
まず「Outlook Express」ソフトウェアを起動します。

1 [スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[Outlook Express]をクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアが起動します。

「ダイヤルアップの接続」画面が表示されたときは、[キャンセル]をクリックして画面を閉じてください。

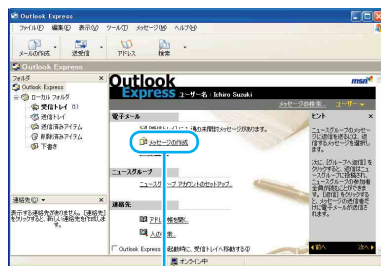
【ヒント】

「ダイヤルアップの接続」画面で[キャンセル]をクリックするとオフライン作業となります。

[2] 電子メールを送信する

ために自分のメールアドレス宛に電子メールを送信してみましょう。

1 [メッセージの作成]をクリックする。



ここをクリックする。

【ヒント】

電子メールを書くときや電子メールを受け取った後に読むときは、インターネットに接続していない状態(オフライン作業)の方が接続料金と通話料がかからなくてすみます。

はじめに

本機をセットアップする

インターネットを始める

困ったときは

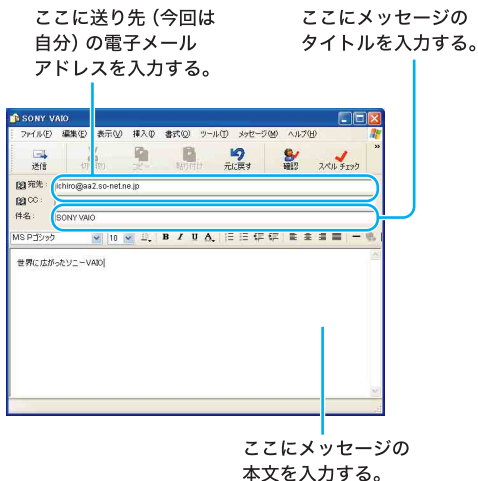
サービス・サポート

その他

2 メッセージを作成する。

ここでは、メッセージに「世界に広がったソニーVAIO」と入れてみます。

タイトル(件名)は「SONY VAIO」にしましょう。



！ご注意

オフライン(インターネットに接続していない状態)のときは、「オフライン作業しています。オンラインに切り替えますか?」というメッセージが表示されます。この場合は、[はい]をクリックしてください。

！ヒント

- 作成した電子メールが送信トレイにある場合は、同時に送り先に送られます。インターネットに接続していない場合は、「接続」画面が表示され、接続を促します。インターネットに接続したあとに電子メールが送受信されます。
- 電子メールの送受信のあと、ホームページを見たりしないときは、インターネットの接続を切断しましょう。(60ページ)

[4] 受け取った電子メールを見る

手順[3]で届いた電子メールを見てみます。

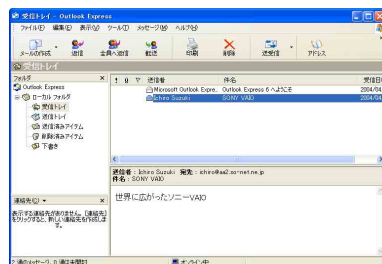
1 [受信トレイ]をクリックする。

受信トレイの中身が表示されます。

2 [SONY VAIO]をクリックする。

受け取った電子メールのメッセージが表示されます。

ここをクリックする。



3 画面左上の[送信]をクリックする。

「(ダイヤルアップ接続名)に接続中」画面が表示されたのち、[接続]をクリックすると、作成した電子メールが送り先に送られます。

！ご注意

オフライン(インターネットに接続していない状態)で[送信]をクリックした場合は、電子メールは送信トレイに保管されます。「Outlook Express」画面左上の[送受信]をクリックすると、電子メールが送り先へ送られます。

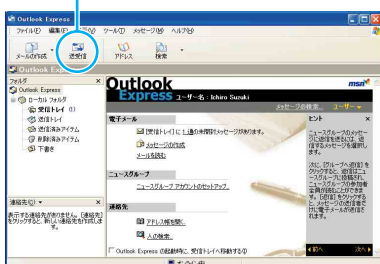
[3] 電子メールを受信する

手順[2]で送った自分のメールアドレス宛の電子メールを受信してみましょう。

1 インターネットに接続した状態で、画面左上の[送受信]をクリックする。

手順[2]で送った電子メールが届きます。

ここをクリックする。



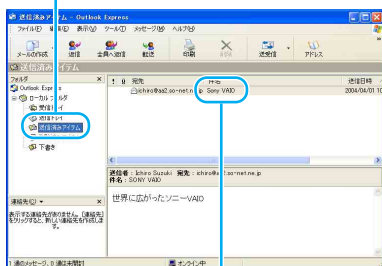
[5] 送った電子メールを見る

手順[2]で送った電子メールを見てみます。

1 画面左側の[送信済みアイテム]をクリックし、[SONY VAIO]をクリックする。

送った電子メールのメッセージが表示されます。

ここをクリックする。



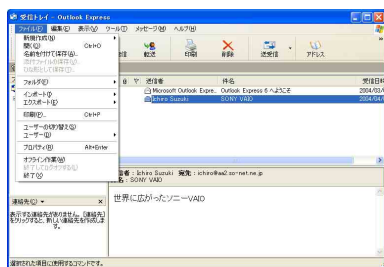
ここをクリックする。

電子メールをやりとりできなかった場合について詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([Q&Aで調べる]→「インターネット/ネットワーク」の[電子メール]の順にクリックする。)

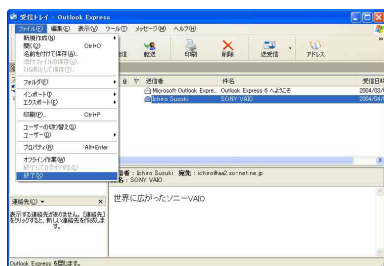
[6] 「Outlook Express」ソフトウェアを終了する

最後に「Outlook Express」ソフトウェアを終了します。

1 画面左上の[ファイル]をクリックする。



2 [終了]をクリックする。



「Outlook Express」ソフトウェアが終了します。

！ご注意

インターネットに接続している間は、ホームページを見たり、電子メールをやりとりするなどの操作を行っていないときでも、通話料やプロバイダへの接続料金がかかります。また、「Outlook Express」ソフトウェアを終了しても、インターネットへの接続は解除されません。電子メールを読んでいる間など、操作を行わないときや、操作が終わった後などは、インターネットへの接続を切断してください。(60ページ)

「Outlook Express」ソフトウェアについて詳しくは、ヘルプをご覧ください。「Outlook Express」のヘルプを見るときは、「Outlook Express」画面上部の[ヘルプ]をクリックしてください。

はじめに

本機をセットアップする

インターネットを始める

困ったときは

サービス・サポート

その他

セキュリティについて

パソコンを安心してご使用になるために、大切なデータを失わないための対策や、第三者からパソコンを守るためのセキュリティについてご紹介いたします。

□ コンピュータウイルスについて

コンピュータウイルスとは、コンピュータの中のファイルやプログラムに悪影響を与えるプログラムのことです。ほとんどがいたずら半分で作成されたものですが、下記の「コンピュータウイルスに侵入されると...」に見られるような被害が起きてしまいます。コンピュータウイルスは他のプログラムと異なり、それ自体が増殖し、データのコピーなどを通じて他のコンピュータにも悪影響を及ぼしていきます。

コンピュータウイルスに侵入されると...

- 意味不明なメッセージや、ウイルスが侵入したことを知らせるメッセージが画面上に表示される。
- ファイルが勝手に消去される。
- ハードディスク上の情報が意味のないもの書き換えられる。
- 画面上に意味のないものが表示される。
- ハードディスクの空き容量が急に少なくなる。

□ 「Norton AntiVirus」ソフトウェアについて

本機には、コンピュータウイルス検査・ウイルス除去ソフトウェアとして「Norton AntiVirus」ソフトウェアがインストールされています。コンピュータウイルスから守るため、定期的なウイルスチェックをおすすめします。「Norton AntiVirus」ソフトウェアの操作方法について詳しくは、「Norton AntiVirus」のヘルプをご覧ください。シマンテック コンシューマ テクニカルサポートセンターにお問い合わせください。

【ポイント】

ウイルス定義ファイルなどのアップデートについて

本機をウイルスから守るために、定期的に「LiveUpdate」を実行してください。

なお、「LiveUpdate」を実行するには、インターネットに接続している必要があります。

次の手順で「LiveUpdate」を行ってください。

- ① [スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]→[Norton AntiVirus]→[LiveUpdate - Norton AntiVirus]の順にクリックする。
- ② 表示される画面の指示に従って、「LiveUpdate」を実行する。

シマンテック コンシューマ テクニカルサポートセンター

ホームページ：<http://www.symantecstore.jp/oem/sony/>

【ご注意】

本センターをご利用頂くためには、ユーザー登録が必要です。また、ご利用期間は登録日から90日間となります。期間経過後のご利用は、有償サポートをご購入頂くか、またはパッケージ製品へのアップグレードをご検討ください。

- * テクニカルサポートセンターの連絡先は、ご登録された電子メールアドレス宛に通知いたします。

□ Windows Updateのご利用について

「Windowsを準備する」(31ページ)の手順に従ってWindowsをセットアップすると、自動更新機能が有効になります。この状態でインターネットに接続していると、Windows Updateにて提供されるプログラムの更新を定期的に確認し、自動的にインストールすることができます。

また、[スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]→[Windows Update]の順にクリックすると、Windows Updateのホームページが表示されます。こちらでプログラムの更新を確認することもできます。

【ご注意】

Windows Updateにて提供されるドライバの更新はおすすめしません。ドライバの更新をすることにより、本機のブレインストール状態の動作に不具合が生じる場合があります。ドライバを更新する場合は、VAIOカスタマーリンクのホームページ上で提供されるドライバを適用してください。

本機のWindows Updateに関する情報は、次のVAIOカスタマーリンクのホームページをご参照ください。

- Windows Update関連情報
<http://vcl.vaio.sony.co.jp/products/winupdate/index.html>
- Windows XPサービスパック関連情報
<http://vcl.vaio.sony.co.jp/products/winxpservice/index.html>

□ Windows ファイアウォール機能について

本機は、お買い上げ時の状態でWindows ファイアウォール機能が有効になっており、ネットワークなどを介した第三者のアクセスを阻止することができます。

【ご注意】

ファイアウォール機能を有効にすると、ソフトウェアの一部の機能が使えなくなる場合があります。詳しくは、お使いのソフトウェアのヘルプをご覧ください。

□ インターネットのセキュリティについて

インターネットに接続してご使用中は、常にセキュリティが守られなくなる可能性や、コンピュータウイルスによる被害などの危険性が潜んでいます。

セキュリティやウイルスに関する最新情報および修正プログラムを入手することにより、より安全な環境でご使用いただけます。

ソニーでは、セキュリティやウイルスに関する最新情報を下記のホームページにて提供しております。定期的に最新情報をご確認ください。

VAIOカスタマーリンク ホームページ セキュリティについて

<http://vcl.vaio.sony.co.jp/notices/security.html>

また、セキュリティに関するご質問・ご相談につきましては、下記の窓口までお問い合わせください。

VAIOカスタマーリンク セキュリティ お問い合わせ窓口

電話番号：(0466)30-3016

受付時間：平日 10:00～20:00、

土・日・祝日 10:00～17:00

はじめに

本機をセットアップ
する

インターネットを
始める

困ったときは

サービス・サポート

その他

困ったときは



困ったときは

本機を操作して困ったときや、トラブルが発生したときは、あわてずに次の流れに従ってください。
また、メッセージなどが表示されている場合は、書きとめておくことをおすすめします。

バイオ電子マニュアル → 1
取扱説明書（本書） → 2

VAIO ハードウェア診断ツール → 3

サポートのホームページを見る → 4

サポートに電話で問い合わせる → 5

各ソフトウェアやWindowsの使いかたについては、以下のヘルプもご覧ください。

□ ソフトウェアのヘルプ

お使いになるソフトウェアを起動して、ヘルプをご覧ください。（ヘルプのないソフトウェアもあります。）

□ Windowsのヘルプ

[スタート]ボタンをクリックし、[ヘルプとサポート]をクリックして、「ヘルプとサポートセンター」をご覧ください。

1 バイオ電子マニュアル

[スタート]→[すべてのプログラム]→
[バイオ電子マニュアル]の順にクリックする。



ヒント

VAIOランチャーを起動している場合は、ランチャー内のアイコンをクリックしても「バイオ電子マニュアル」を起動できます。

□ 故障かな？と思ったときは

トップ画面の[Q&Aで調べる]をクリックして表示されるメニューから見たい項目をクリックして、各項目の情報をご覧ください。

掲載しているQ&A情報は、「バイオ電子マニュアルQ&A一覧」(72ページ)をご覧ください。

□ 本機の使いかたが分からないときは

トップ画面の[バイオの使いかた]をクリックして表示されるメニューから見たい項目をクリックして、各項目の情報をご覧ください。

機能/設定

- 各部の説明(本体、デスクトップ画面、キーボード)
- 電源/起動
- バッテリー/省電力
- 画面/ディスプレイ
- 文字入力/キーボード
- タッチパッド
- DVDボタン
- メモリ
- ご注意/その他

楽しむ／保存する

- Do VAIOで楽しむ
- 映像
- 写真
- 音楽
- スピーカー／ヘッドホン／マイク
- “メモリースティック”
- フロッピーディスク
- PCカード
- データの保存

インターネット／ネットワーク

- インターネット／電子メール
- ネットワーク (LAN)
- ワイヤレス LAN
- i.LINK
- USB
- プリンタ
- ドライバ
- ポートリプリケーター

2 取扱説明書 (本書)

バイオ電子マニュアルが起動できないときは、本書の下記の項目をご覧ください。

- 電源／起動 (76ページ)
- パスワード (79ページ)
- 画面／ディスプレイ (80ページ)
- 文字入力／キーボード (82ページ)
- タッチパッド (84ページ)
- ハードディスク (86ページ)
- エラーメッセージ (87ページ)

3 VAIO ハードウェア診断ツール

「VAIO ハードウェア診断ツール」を使って、CPUやハードディスクなどのハードウェアに故障がないかチェックします。

[スタート] ボタンをクリックして、[すべてのプログラム] → [VAIO ハードウェア診断ツール] → [VAIO ハードウェア診断ツール] の順にクリックして起動できます。

4 サポートのホームページを見る

<http://vcl.vaio.sony.co.jp/>

VAIO カスタマーリンク ホームページでは、トラブルの解決方法や疑問の解消に役立つ情報やサービスを掲載しています。

詳しくは、「VAIO カスタマーリンクのホームページを確認する」(95ページ) をご覧ください。

5 サポートに電話で問い合わせる

VAIO カスタマーリンク

電話番号: (0466) 30-3000

詳しくは、「使いかたのお問い合わせ／修理の受付」(105ページ) をご覧ください。

お問い合わせには、「お客様サポート番号」または「VAIO カスタマーID」が必要です。詳しくは、「カスタマー登録する」(34ページ) をご覧ください。

はじめに

本機をセットアップ
する

インターネットを
始める

困ったときは

サービス・サポート

その他

バイオ電子マニュアルQ&A一覧

バイオ電子マニュアルに掲載されているQ&A情報は以下になります。

故障かな？と思ったときにはご参照ください。

[Q&Aで調べる]をクリックして表示されるメニューから見たい項目をクリックして、各項目の情報をご覧ください。

機能／設定

□ 電源／起動

- 電源が入らない。(⏻(パワー)ランプ(グリーン)がつかないとき)
- 電源が入らない、または電源ボタンが効かない。(□がすばやく点滅している)
- 電源を入れても、⏻(パワー)ランプ(グリーン)は点灯するが画面に何も表示されない。
- 電源が切れない。
- 電源が勝手に切れた。
- 「このリチャージャブルバッテリーパックは使用できません。」というメッセージが表示され、休止状態に移行してしまう。
- 電源を入れるとメッセージが表示され、Windowsが起動できない。
- ハードディスクから起動できない。
- 起動時の音量や起動デバイスの設定方法がわからない。

□ パスワード

- パワーオン・パスワードを忘れてしまった。
- ハードディスク・パスワードを忘れてしまった。
- Windows XPのユーザーアカウントのパスワードを忘れてしまった。
- Windows XPのインターネット接続パスワードの文字数が増えている。

□ 省電力動作モード

- 休止状態に移行できない。
- バッテリー残量がわずかなのに、休止状態にならない。
- スタンバイに移行できない。
- バッテリーで長時間使いたい。
- ディスプレイパネルを閉じると休止状態に入ってしまう。

□ 画面／ディスプレイ

- 画面が小さく表示される。
- 画面に何も表示されない。
- 画面が固まって動かない。
- 画面が暗い。

- 画面の明るさ設定が変わってしまう。
- 画面が拡大表示されない。
- デスクトップ画面上にウィンドウやアイコンの軌跡が残る。
- 画面に輝点・滅点(黒点)がある。
- Windowsの文字サイズを大きくしたい。
- 外部ディスプレイのつながりかたがわからない。
- 外部ディスプレイに何も表示されない。
- 外部ディスプレイの表示サイズ、表示位置がおかしい。
- マルチモニタの方法がわからない。
- 液晶プロジェクタのつながりかたがわからない。
- 液晶プロジェクタに何も表示されない。
- プラグアンドディスプレイ機能が動かない。
- Fnキーを押しながらF10キーを押しても、画面の解像度が切り替わらない。
- 動画再生中、Fnキーを押しながらF10キーを押して拡大できない。

□ 文字入力／キーボード

- 文字の入力方法がわからない。
- 入力できない記号や文字がある。
- キーボードを押したとおりに文字が入力できない。
- IMEの言語バーが表示されない。
- 入力した文字が表示されない。
- 文字入力中に勝手にカーソルが移動する。
- ショートカットキーの使いかたがわからない。
- キートップがはずれた。

□ タッチパッド

- タッチパッドの使いかたがわからない。
- タッチパッドが使えない。
- 指がタッチパッドの端までできてしまいポインタを動かせない。
- タッチパッドを無効にしたい。
- タッチパッドに触れただけでクリックしてしまう。
- タッチパッドをなぞっただけで、ウィンドウが閉じてしまう。
- タッチパッドのスクロール機能が使えない。
- ポインタが動かない。
- 画面上のすべてのものが動かない。

□ ハードディスク

- ハードディスクの空き容量を知りたい。
- ハードディスクの空き容量が少なくなった。
- 誤ってハードディスクを初期化してしまった。
- ハードディスクから起動できない。
- ハードディスクから異音がする。

□ プロセッサ(CPU)

- ・「システムのプロパティ」画面でCPUのクロック周波数が正しく表示されない。
- ・パフォーマンスが低下した。

□ ファン

- ・ファンが回らない。
- ・何も操作していないのにファンから音がする。

□ メモリ

- ・「システムのプロパティ」画面でメモリの容量が正しく表示されない。

楽しむ／保存する

□ CD／DVDディスク

CD／DVDの再生

- ・CD-ROMが再生されない、または音楽CDの再生時、ノイズが聞こえたり、音がとぎれる。
- ・音楽CDの再生方法がわからない。
- ・DVDビデオが再生できない、または再生時に画像や音がとぎれる。
- ・ディスクが取り出せない。
- ・イジェクトボタンを押してもディスクが取り出せない。
- ・再生音量が小さい。
- ・DVDビデオの再生時に映像と音声はずれる。
- ・他のコンピュータで作成したCD-RやCD-RWが読めない。
- ・CD-RWの読み出しに時間がかかる。
- ・CD-RWに書き込んだMPEG2データを再生すると、正常に再生できない。
- ・SonicStageでAV操作ボタンが使えない。

CD／DVDの作成

- ・CD／DVDへの書き込み方法がわからない。
- ・DVDビデオの作成方法がわからない。
- ・ディスクに書き込めない、書き込み中にエラーが発生する。
- ・CD-Rに書き込めない。
- ・CD-RWを使用して作成した音楽CDがCDプレーヤーで再生できない。
- ・DVD-R、DVD-RWに書き込めない。
- ・DVD+R、DVD+RWに書き込めない。
- ・DVDの書き込みに時間がかかる。
(VGN-T70B/L・T50B/L・T50B/Tを含むDVD±RWドライバ搭載モデル)
- ・「Click to DVD」ソフトウェアで作成したDVDビデオの動画が正常に再生できない。
(VGN-T70B/L・T50B/L・T50B/Tを含むDVD±RWドライバ搭載モデル)

□ スピーカー／ヘッドホン

- ・スピーカーやヘッドホンから音が出ない。
- ・映像や音声の再生時に音とびがする、または音が出ない。
- ・USBスピーカーを接続しても音が出ない。

□ マイク

- ・マイクが使えない。
- ・マイクの音が大きい、または、小さい。
- ・音声を扱うソフトウェアでエラーメッセージが表示された。

□ “メモリースティック”

- ・「書き込み禁止」または「書き込み保護されています」というメッセージが表示された。
- ・“メモリースティック”のフォーマットをしたい。
- ・“メモリースティック”の使いかたがわからない。
- ・“メモリースティック”にデータを保存したい。

□ フロッピーディスク

- ・フロッピーディスクが取り出せない。
- ・「ディスクがいっぱいです」というメッセージが表示され、ファイルなどをフロッピーディスクに保存できない。
- ・「書き込み禁止」というメッセージが表示された。
- ・フロッピーディスクを初期化しようとしたができない。
- ・フロッピーディスクにアクセスできない。
- ・フロッピーディスクが認識されない。
- ・フロッピーディスクにデータを保存したい。

□ PCカード

- ・PCカードが使えない。

□ ソフトウェア

- ・ソフトウェアの使いかたがわからない。
- ・ソフトウェアを終了した、または電源を切ったら、データが消えた。
- ・ソフトウェアの動作が遅い。
- ・ソフトウェアのインストール方法がわからない。
- ・「Click to DVD」ソフトウェアで作成したDVDビデオの動画が正常に再生できない。
(VGN-T70B/L・T50B/L・T50B/Tを含むDVD±RWドライバ搭載モデル)
- ・Microsoft Office(Excel／Outlook／Word他)が見つからない。
(VGN-T70B/L・T50B/L・T50B/Tを含む「Microsoft Office」ソフトウェア搭載モデル)
- ・Microsoft Officeのライセンス認証のしかたがわからない。
(VGN-T70B/L・T50B/L・T50B/Tを含む「Microsoft Office」ソフトウェア搭載モデル)
- ・映像や音声の再生時に音とびがする、または映像や音声再生されない。

インターネット／ネットワーク

□ インターネット接続

ダイヤルアップ

- モデムがダイヤルしていない。(初めてダイヤルする場合)
- モデムがダイヤルしていない。(今までできていたのにできなくなった場合)
- モデムはダイヤルしているが接続できない。(接続の動作(ネゴシエーション)が始まらない場合)
- モデムはダイヤルしているが接続できない。(接続の動作(ネゴシエーション)はするが接続できない場合)
- 「発信音がありません」と表示される。
- 「モデムが検出できませんでした」と表示される。

ADSL

- ADSLでインターネットに接続できない。
- ADSL接続のネットワーク(LAN)コネクタの接続方法がわからない。

ネットワーク(LAN)

- ネットワーク(LAN)に接続できない。

携帯電話

- 携帯電話を使ってインターネットに接続できない。

□ インターネット閲覧

- 接続するが通信速度が遅い。
- ダイヤルアップでインターネットに接続できなくなった。
- ADSL接続中に突然つながらなくなった。
- ホームページを見ることができない。
- ホームページが文字化けしている。
- ホームページの文字サイズを大きくしたい。
- ネットワークに接続すると、通知領域に「Smart Networkはネットワークの切換えを感知しました。…」というメッセージが表示される。

□ 電子メール

- 電子メールをやりとりできない。
- 電子メールが文字化けしている。
- 電子メールに添付されているファイルが開けない。

□ ワイヤレスLAN

- ワイヤレスLANが使えない。
- 本機とワイヤレスLANアクセスポイントの通信ができない(インターネットにアクセスできない)。
- ワイヤレスLAN経由で受信した映像や音声、再生できなかったり途切れたりする。また、通信速度が遅い。
- ネットワーク上の他のコンピュータが表示されない。
- コンピュータどうし(Ad hocモード)で通信できない。
- 内蔵ワイヤレスLANの物理アドレス(MACアドレス)を確認したい。
- ワイヤレスLANの通信を終了したい。

□ i.LINK／DV機器

- DV機器が使用できない。または、「DV機器が接続されていないか、電源が入っていないので、動作しません。」などのメッセージが表示される。
- 本機と接続したi.LINK対応機器が認識されない。または、「DV機器が接続されていないか、電源が入っていないので、動作しません。」などのメッセージが表示される。
- 「DVgate Plus」ソフトウェアを使ってi.LINK対応機器に映像を録画できない。
- 「DVgate Plus」ソフトウェアを使用してテープに録画中、「録画に失敗しました」などのメッセージが表示される。
- 「DVgate Plus」ソフトウェアを使用中にフレーム落ちが生じる。
- i.LINK接続したバイオどうしで通信できない。

□ プリンタ

- プリンタで印刷できない。
- プリンタで印刷できない。(今までできていたのにできなくなった場合)

□ ポートリプリケーター

- ポートリプリケーターのコネクタに接続した機器が使用できない。
-  PRINTER(プリンタ)コネクタに接続した機器が使用できない。
- プリンタで印刷できない。

その他

□ カスタマー登録

- オンラインでカスタマー登録できない。
- 「無効な日時が入力されています。」と表示され、オンラインカスタマー登録ができない。

□ エラーメッセージ

電源投入時のエラーメッセージ

- Invalid system disk. Replace the disk, and then press any key.
- No System disk or disk error. Replace and press any key when ready.
- NTLDR is missing. Press any key to restart.
- Operating system not found
- Press <F1> to resume, <F2> to Setup
- System Disable
- このリチャージャブルバッテリーパックは使用できません。

フロッピーディスクのエラーメッセージ

- アプリケーションが使用中です
- ディスクがいっぱいです
- 書き込み禁止

“メモリースティック”のエラーメッセージ

- 「書き込み禁止」または「書き込み保護されています」

その他のエラーメッセージ

- DV機器が接続されていないか、電源が入っていないので、動作しません。
- Smart Networkはネットワークの切換えを感知しました。...
- 無効な日時が入力されています。
- 「録画に失敗しました」などのメッセージが表示される。

はじめに

本機をセットアップ
する

インターネットを
始める

困ったときは

サービス・サポート

その他

よくあるトラブルと解決方法

よくあるトラブルと解決方法の一部をご紹介します。

また、ここに紹介した以外にも多くのQ&Aが記載されている「バイオ電子マニュアル」もあわせてご覧ください。([Q&Aで調べる]をクリックする。)

！ご注意

再起動または電源を入れ直す場合は、必ず「電源を切るには」(30ページ)の手順に従い、いったん電源を切ってください。

他の方法で本機の電源を切ると、作成したファイルが使えなくなることがあります。

電源／起動

状況によって対処方法が異なります。次の点を確認した上で、それぞれの操作を行ってください。

Q 電源が入らない。(⏻(パワー)ランプ(グリーン)がつかないとき)

電源が入らないときの状況によって対処方法が異なります。次の点を確認した上で、それぞれの操作を行ってください。

A バッテリーが正しく装着されているか確認してください。(28ページ)

A 本機とACアダプタ、ACアダプタと電源コード、電源コードとコンセントがそれぞれしっかりつながっているか確認してください。(28ページ)

A 通常の操作で電源を切らなかった場合、プログラムの異常で、電源を制御するコントローラが停止している可能性があります。

ACアダプタとバッテリーをはずして1分ほど待ってから取り付け直し、再度電源を入れてください。

A 寒い戸外から暖かい屋内に持ち込んだり、湿度の高い場所で使用した場合は、本機内部に結露(131ページ)が生じている可能性があります。

その場合は、1時間ほど待ってから電源を入れ直してください。

湿度の高い場所(80 %以上)でのご使用は、本機の故障の原因となりますのでおやめください。

A 上記の操作を行っても本機が起動しない場合は、VAIOカスタマーリンクにご相談ください。

Q 電源が入らない、または電源ボタンが効かない。(□がすばやく点滅している)

A 装着されているバッテリーは本機では使用できません。

バッテリーを取りはずしてください。

Q 電源を入れても、 (パワー) ランプ (グリーン) は点灯するが画面に何も表示されない。

電源が入らないときの状況によって対処方法が異なります。次の点を確認した上で、それぞれの操作を行ってください。

A 外部ディスプレイに表示が切り替えられている可能性があります。

Fnキーを押しながら、F7キーを押して表示を切り替えてください。詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「機能／設定」の[文字入力／キーボード]→[Fnキーと組み合わせたショートカットキー一覧]の順にクリックする。)

A しばらく様子を見ても画面に何も表示されないときは、次の手順で操作してください。

- ① 本機の (パワー) ボタンを4秒以上押したままにし、 (パワー) ランプが消灯するのを確認してから、再度電源を入れ直す。
- ② 上記の操作を行っても何も表示されない場合は、本機の (パワー) ボタンを4秒以上押したままにし、 (パワー) ランプが消灯するのを確認したあと、ACアダプタとバッテリーをはずして1分ほど待ってから取り付け直し、再度電源を入れ直す。

A 寒い戸外から暖かい屋内に持ち込んだり、湿度の高い場所で使用した場合は、本機内部に結露 (131ページ) が生じている可能性があります。

その場合は、1時間ほど待ってから電源を入れ直してください。
湿度の高い場所 (80 % 以上) でのご使用は、本機の故障の原因となりますのでおやめください。

Q 電源が切れない。

電源が切れないときの状況によって対処方法が異なります。次の点を確認した上で、それぞれの操作を行ってください。

A 使用中のソフトウェアは、次のいずれかの手順ですべて終了してください。

- ・ソフトウェア画面上の[×] (閉じるボタン) をクリックする。
- ・Altキーを押しながらF4キーを押し、起動中のソフトウェアを終了させる。
データが未保存の場合は、「保存しますか?」というメッセージが表示されるので、[はい] をクリックしてデータを保存してください。
「コンピュータの電源を切る」画面が表示されるまでAltキーを押しながらF4キーを押し、画面上の[電源を切る] をクリックしてください。

ヒント

- ・新しくインストールしたプログラムやデータ、その操作なども確認してください。
- ・Windows XPは、周辺機器やネットワーク通信を行っている間は、電源が切れない仕組みになっています。また、周辺機器のデバイスドライバによっては、OSの強制的なプログラムの終了に対応していないものもあります。

A USB機器やPCカードなどの周辺機器が接続されているときは、取りはずしてください。

PCカードの取り出しかたについて詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「楽しむ／保存する」の[PCカード]→[PCカードを取り付ける／取り出す]の順にクリックする。)

A 「設定を保存しています」または「Windowsをシャットダウンしています」と表示されたまま動かない場合は、次の手順で操作してください。

- ① Enterキーを押す。
- ② それでも電源が切れない場合は、本機の (パワー) ボタンを4秒以上押したままにして、 (パワー) ランプが消灯するか確認する。

「電源が切れない。」項目内のすべての操作を行っても電源が切れない場合には、以下の操作を行ってください。

ただし、以下の操作を行うと、作業中のデータが破壊されるおそれがあります。

また、ネットワークを使用している場合には、それらを使用していない状態にしてから以下の操作を行うようにしてください。

- CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押して「Windows タスク マネージャ」画面を表示させ、「シャットダウン」メニューをクリックし、[コンピュータの電源を切る]をクリックする。
- 本機の $\odot$ (パワー)ボタンを4秒以上押したままにする。
- ACアダプタとバッテリーをはずす。

Q 電源が勝手に切れた。

- A** バッテリーで本機を使用中にバッテリーの残量がわずかになると、自動的に休止状態になり、電源が自動的に切れます。

ACアダプタで使用するか、バッテリーを充電してください。詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「機能/設定」の[バッテリー/省電力]→[バッテリーの準備]→[バッテリーを充電する]の順にクリックする。)

Q 「このリチャージャブルバッテリーパックは使用できません。」というメッセージが表示され、休止状態に移行してしまう。

- A** 装着されているバッテリーは本機では使用できません。

本機の電源が切れてから、バッテリーを取りはずしてください。

Q 電源を入れるとメッセージが表示され、Windowsが起動できない。

- A** 「No System disk or disk error. Replace and press any key when ready.」や「Invalid system disk. Replace the disk, and then press any key.」、「NTLDR is missing. Press any key to restart.」というメッセージが表示される場合、フロッピーディスクがUSBフロッピーディスクドライブに入っていないか確認してください。

フロッピーディスクが入っているときは、イジェクトボタンを押してディスクを取り出し、キーボードのいずれかのキーを押してください。

- A** 「Operating system not found」と表示される場合、フロッピーディスクがUSBフロッピーディスクドライブに入っていないか確認してください。

起動ディスク以外のフロッピーディスクが入っている場合は、イジェクトボタンを押してディスクを取り出してからCtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押して本機を再起動してください。

再起動してもこのメッセージが表示され、Windowsが起動しない場合は、指定された方法以外のやりかたでパーティションサイズを変更している可能性があります。ハードディスク内のリカバリ機能や自作のリカバリディスクを使って、パーティションサイズを変更し、本機をリカバリしてください。(128ページ)

- A** パワーオンパスワードまたはハードディスク・パスワードを3回間違えて入力すると、「System Disable」と表示されWindowsが起動しません。

本機の $\odot$ (パワー)ボタンを4秒以上押したままにして、 $\odot$ (パワー)ランプが消灯するか確認してください。

その後、再度本機の電源を入れ、正しいパスワードを入力してください。

パスワードを入力する際は、 Num Lock ランプや Caps Lock ランプが点灯していないか確認してください。点灯している場合は、Num Lkキーを押すか、またはShiftキーを押しながらCaps Lockキーを押してランプを消灯させてから入力してください。

A 「Press <F1> to resume, <F2> to Setup」と表示される場合、内蔵バックアップ 배터리が消耗しています。

ACアダプタをつなぎ、本機を充電しながら、次の手順で操作してください。

- ① 電源を入れ、VAIOのロゴマークが表示されてから、F2キーを押す。
画面左下に「Entering SETUP...」と表示されたあと、BIOSセットアップ画面が表示されます。「Entering SETUP...」と表示されない場合は、F2キーを数回押してください。
- ② 日時を確認する。
「System Date」、「System Time」に正しい日時が表示されているか確認してください。間違った日時が表示されている場合は次の操作をしてください。
 - 1) 「System Date」の項目に月/日/年(西暦)を入力する。
例: 2004年1月31日と設定するには、1 + Enterキー + 31 + Enterキー + 2004 + Enterキーの順で入力します。
 - 2) ↓キーで「System Time」を選び、時刻を24時間表示で入力する。
例: 午後2時35分00秒と設定するには、14 + Enterキー + 35 + Enterキー + 00 + Enterキーの順で入力します。
- ③ Escキーを押す。
- ④ ↓キーで「Get Default Values」を選択し、Enterキーを押す。
- ⑤ 「Load default configuration now?」と表示されるので、「Yes」を選択して、Enterキーを押す。
- ⑥ 「Exit (Save Changes)」が選ばれていることを確認して、Enterキーを押す。
- ⑦ 「Save configuration changes and exit now?」と表示されるので、「Yes」を選択して、Enterキーを押す。
上記の操作を行っても本機が起動しない場合は、VAIOカスタマーリンクにご相談ください。

Q ハードディスクから起動できない。

A フロッピーディスクがUSBフロッピーディスクドライブに入っていないか確認してください。

フロッピーディスクが入っているときは、イジェクトボタンを押して取り出し、キーボードのいずれかのキーを押してください。

Q 起動時の音量や起動デバイスの設定方法がわからない。

A 起動時の音量や起動デバイスの設定について詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「機能/設定」の[電源/起動]→[起動時の設定]→[起動時の音量/起動デバイスを変更する]の順にクリックする。)

パスワード

Q パワーオン・パスワードを忘れてしまった。

A パスワードを忘れると、起動することができなくなります。

- ユーザーパスワードの場合
マシンパスワードを入力することで、BIOSセットアップ画面からユーザーパスワードを再設定することができます。
- マシンパスワードの場合
パスワード設定を解除することはできません。修理(有償)が必要となります。
VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

Q ハードディスク・パスワードを忘れてしまった。

A パスワードを忘れると、起動やハードディスク内のデータ使用ができなくなります。

- ユーザーパスワードの場合
マスターパスワードを入力することで、BIOSセットアップ画面からユーザーパスワードを再設定することができます。
ユーザーパスワードを再設定しない限り、ハードディスク内のデータを使用できなくなり、ハードディスクのデータをリカバリすることもできません。
また、本機を起動することもできなくなり、CD/DVDドライブなど、他のドライブから起動することもできません。
- マスターパスワードの場合
パスワード設定を解除することができなくなります。
ハードディスクの交換修理(有償)が必要となり、その場合ハードディスク内のデータはすべて失われます。
VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

Q Windows XPのユーザーアカウントのパスワードを忘れてしまった。

A パスワードの大文字と小文字は区別されます。

確認してから入力し直してください。

- A パスワードを忘れてしまったユーザー以外に、「コンピュータの管理者」など、管理者権限を持つユーザーが作成されている場合、別の「コンピュータの管理者」からパスワードの変更を行ってください。
- A 「コンピュータの管理者」など、管理者権限を持つユーザーが他にいない場合、「Administrator(ユーザー名)」のパスワードを設定していなければ、Windowsをセーフモードで起動して「Administrator(ユーザー名)」でログオンし、パスワードを忘れてしまったユーザーのパスワードを変更することが可能です。

画面／ディスプレイ

Q 画面に何も表示されない。

A LCD/Videoスタンバイになっている場合があります。

タッチパッドに触れるか、キーボードのいずれかのキーを押してください。

A 外部ディスプレイに表示が切り替えられている場合があります。

Fnキーを押しながら、F7キーを押して表示を切り替えてください。詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「機能／設定」の[文字入力／キーボード]→[Fnキーと組み合わせたショートカットキー一覧]の順にクリックする。)

- A** 本機はエネルギースター規格に基づいて設計されており、お買い上げ時の設定では、AC電源でご使用中に約30分操作をしないと、自動的に省電力動作モードへ移行します(スタンバイ*1)。

キーボードのいずれかのキーを押すか、**⏻** (パワー) ボタン*2 を一瞬押すと、元の状態に戻ります。

また、バッテリーでご使用中に約30分操作をしないと、自動的に本機の電源を切ります(休止状態*1)。

元の状態に復帰させるには、**⏻** (パワー) ボタンを一瞬押してください。

ご使用中に省電力動作モードへ移行しないように設定*3することもできます。

- *1 詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「機能/設定」の[バッテリー/省電力]→[バッテリーを使いこなす(省電力)]→[省電力動作モードの設定をする]の順にクリックする。)
- *2 **⏻** (パワー) ボタンを4秒以上押しつづけると保存された状態が破棄されますのでご注意ください。
- *3 詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「機能/設定」の[バッテリー/省電力]→[バッテリーを使いこなす(省電力)]→[消費電力を節約する]の順にクリックする。)

Q 画面が固まって動かない。

- A** 次の手順で本機を再起動させてください。

- ① CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押す。

「Windows タスク マネージャ」画面が表示されます。

「Windows タスク マネージャ」画面に、「応答なし」と表示されているソフトウェアがあれば、そのソフトウェアを選択し、「[タスクの終了]」をクリックしてソフトウェアを終了させてください。



- ② 「Windows タスク マネージャ」画面の[シャットダウン]メニューから[コンピュータの電源を切る]をクリックする。

本機の電源が切れたあと、約30秒後に本機の**⏻** (パワー) ボタンを押して、再び電源を入れてください。

上記の操作を行っても本機を再起動できない場合は、本機の**⏻** (パワー) ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。電源が切れると**⏻** (パワー) ランプが消灯します。**⏻** (パワー) ランプ(グリーン)が点灯した場合は、いったん手を離し、再度**⏻** (パワー) ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。

！ご注意

上記の操作を行うと、作成中のファイルや編集中のファイルが使えなくなることがあります。

Q 画面が暗い。

- A** Fnキーを押しながらF5キーやF6キーを長押しすると、液晶ディスプレイの明るさを調節できます。

詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「機能/設定」の[文字入力/キーボード]→[Fnキーと組み合わせたショートカットキー一覧]の順にクリックする。)

Q 画面に輝点・減点(黒点)がある。

A 液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。

画面上に常時点灯している輝点(赤、青、緑など)や減点がある場合があります。液晶パネルは非常に精密な技術で作られておりますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素があります。また、見る角度によってすじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。

Q 外部ディスプレイに何も表示されない。

A 表示するディスプレイの設定を確認してください。

詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「機能/設定」の[画面/ディスプレイ]→[設定]→[表示するディスプレイを選ぶ]の順にクリックする。)

文字入力/キーボード

Q 文字の入力方法がわからない。

A 詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([できる Windows for VAIO]をクリックする。)

Q キーボードを押したとおりに文字が入力できない。

A 入力モードを確認してください。

日本語入力モードと英字入力モードがあります。

言語バーのアイコンが日本語入力モードのときは「あ」に、英字入力

モードのときは「A」になっています。

日本語入力モードと英字入力モードは、半角/全角キーで切り替えられます。

A (Caps Lock) ランプが点灯していないか確認してください。

 (Caps Lock) ランプが点灯していると、Shift キーを押さなくても大文字が入力されます。Shift キーを押しながら Caps Lock キーを押してランプを消灯させてから入力してください。(26 ページ)

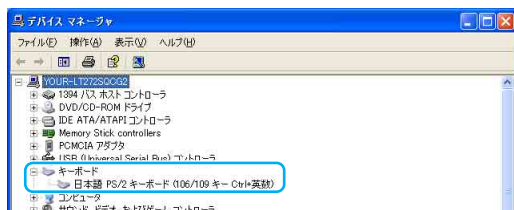
A (Num Lock) ランプが点灯していないか確認してください。

U、I、O、J、K、L、M、@ などの文字が入力できない場合は、Num Lock (ナムロック) が有効になっている場合があります。点灯している場合は、Num Lk キーを押してランプを消灯させてから入力してください。(26 ページ)

A キーボードのドライバが正しく設定されているか確認してください。

異なるキーボードタイプに設定していると、入力したい文字と違う文字が表示されることがあります。
次の手順で操作してください。

- ① [スタート]ボタンをクリックして、[コントロール パネル]をクリックする。
- ② [パフォーマンスとメンテナンス]アイコンをクリックする。
- ③ [システム]アイコンをクリックする。
- ④ [ハードウェア]タブの[デバイス マネージャ]をクリックする。
- ⑤ キーボードの項目が「日本語 PS/2 キーボード (106/109キー Ctrl+英数)」に設定されているか確認する。



ヒント

キーボードの項目が「日本語 PS/2 キーボード (106/109キー Ctrl+英数)」に設定されていない場合は、次の手順で変更してください。(VGN-T70B/L・T50B/L・T50B/Tを含む日本語配列キーボードモデル)

- 1) キーボードの項目に表示されているキーボード名を右クリックし、[ドライバの更新]をクリックする。
「ハードウェアの更新ウィザード」画面が表示されます。
- 2) [いいえ、今回は接続しません]をクリックしてチェックし、[次へ]をクリックする。
- 3) [一覧または特定の場所からインストールする]をクリックしてチェックし、[次へ]をクリックする。
- 4) [検索しないで、インストールするドライバを選択する]をクリックしてチェックし、[次へ]をクリックする。
- 5) [互換性のあるハードウェアを表示]をクリックしてチェックをはずし、同じ画面の「製造元」で[(標準キーボード)]が選択されているか確認したあと、「モデル」から[日本語 PS/2 キーボード (106/109キー Ctrl+英数)]を選択し、[次へ]をクリックする。
- 6) ここで「ドライバの更新警告」画面が表示されますが、[はい]をクリックする。
- 7) 「ハードウェアの更新ウィザードの完了」画面が表示されるので、[完了]をクリックする。
- 8) 「システム設定の変更」画面で再起動を促すメッセージが表示されるので、[はい]をクリックして再起動を行う。

タッチパッド

Q タッチパッドの使いかたがわからない。

- A** タッチパッドの使いかたについて詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「機能／設定」の[タッチパッド]→[タッチパッドを使う]の順にクリックする。)

Q タッチパッドが使えない。

- A** タッチパッドが無効になっています。

タッチパッドの設定を変更し、タッチパッドを有効にしてください。

詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「機能／設定」の[タッチパッド]→[設定]→[タッチパッドを有効／無効にする]の順にクリックする。)

- A** タッチパッドの設定を確認してください。

次の手順で操作してください。

- ① [スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]→[バイオの設定]にポインタをあわせ、[バイオの設定]をクリックする。
「バイオの設定」画面が表示されます。
- ② [マウス]→[マウス]の順にダブルクリックする。
「マウスのプロパティ」画面が表示されます。
- ③ [タッピング]タブをクリックする。
- ④ 「コーナーでタップしない」がチェックされていないことを確認する。
チェックされているときは、クリックしてチェックをはずします。

Q 指がタッチパッドの端まできてしまいポインタを動かせない。

- A** 指をいったんタッチパッドから離し、中央に戻してください。

Q タッチパッドを無効にしたい。

- A** タッチパッドの設定を変更し、タッチパッドを無効にしてください。

詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「機能／設定」の[タッチパッド]→[設定]→[タッチパッドを有効／無効にする]の順にクリックする。)

それでもタッチパッドが無効にならないときは、本機を再起動してください。

Q タッチパッドに触れただけでクリックしてしまう。

- A** タッチパッドの設定を変更し、タッピング機能を無効にしてください。

詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「機能／設定」の[タッチパッド]→[設定]→[タッピング機能を無効にする]の順にクリックする。)

Q タッチパッドをなぞっただけで、ウィンドウが閉じてしまう。

A スマートアクションの機能を無効にしてください。

次の手順に従ってタッチパッドの設定を確認してください。

- ① [スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]→[バイオの設定]にポインタをあわせ、[バイオの設定]をクリックする。
「バイオの設定」画面が表示されます。
- ② [マウス]→[マウス]の順にダブルクリックする。
「マウスのプロパティ」画面が表示されます。
- ③ [機能]タブをクリックする。
- ④ 「左コーナーの設定」を「なし」にする。
- ⑤ [OK]をクリックする。

Q タッチパッドのスクロール機能が使えない。

A ソフトウェアによっては、タッチパッドのスクロール機能が使えないことがあります。

その場合は、タッチパッドの左右ボタンを同時に押して、オートスクロール機能を可能にしてからスクロールしてください。

Q ポインタが動かない。

A 使用しているアプリケーションによっては、一時的にポインタが動きにくくなる場合があります。

しばらく待ってから、もう1度ポインタを動かしてください。

それでもポインタが動かない場合は、次の手順で本機の電源を切る、または再起動させてください。

- ① CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押して「Windows タスク マネージャ」を表示させる。
- ② Altキーを押しながらUキーを押してから↑キーまたは↓キーを押して[コンピュータの電源を切る]または[再起動]を選び、Enterキーを押す。

上記の操作でも何も起こらないときは、本機の $\odot$ (パワー)ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。

Q 画面上のすべてのものが動かない。

A 次の手順で本機を再起動してください。

- ① CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押して「Windows タスク マネージャ」を表示させる。
- ② Altキーを押しながらUキーを押してから↑キーまたは↓キーを押して[再起動]を選び、Enterキーを押す。

上記の操作でも何も起こらないときは、本機の $\odot$ (パワー)ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。

ハードディスク

Q ハードディスクの空き容量を知りたい。

A 次の手順で確認してください。

- ① [スタート]ボタンをクリックして、[マイ コンピュータ]をクリックする。
- ② 空き容量を知りたいハードディスクのアイコンを右クリックする。
- ③ [プロパティ]をクリックする。



ハードディスクのプロパティ画面が表示され、空き容量が確認できます。

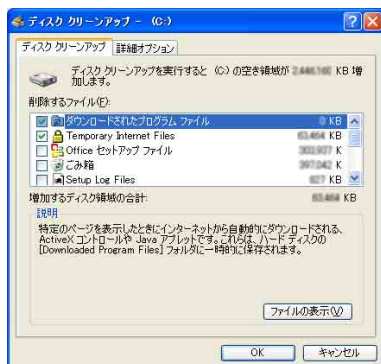
Q ハードディスクの空き容量が少なくなった。

A ディスククリーンアップを行ってください。

Windowsでは、処理を速くするために一時ファイルやバックアップファイルが自動的に作成されるため、ハードディスクの空き容量が減少します。ディスククリーンアップを行うと、一時ファイルなどが削除され、空き容量を増やすことができます。

次の手順でディスククリーンアップを行ってください。

- ① [スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[システム ツール]の順にポインタをあわせ、[ディスク クリーンアップ]をクリックする。
「ドライブの選択」画面が表示されます。
- ② [(C:)]または[(D:)]を選択して、[OK]をクリックする。
- ③ ファイルの説明をよく読み、削除するファイルにチェックをつける。



- ④ [OK]をクリックする。
「これらの操作を実行しますか?」というメッセージが表示されます。
- ⑤ [はい]をクリックする。
ディスクのクリーンアップが実行されます。

Q 誤ってハードディスクを初期化してしまった。

A ハードディスクにあったファイルは復元できません。

ハードディスク内のリカバリ機能や自作のリカバリディスクを使って、本機をリカバリする必要があります。(124ページ)

Q ハードディスクから起動できない。

A フロッピーディスクがUSBフロッピーディスクドライブに入っていないか確認してください。

フロッピーディスクが入っているときは、イジェクトボタンを押して取り出し、キーボードのいずれかのキーを押してください。

Q ハードディスクから異音がある。

A OSの処理などにより、何も操作していない場合でもハードディスクの読み書きが行われ、動作音がすることがあります。

これは正常な処理であり、故障ではありません。

ただし、ハードディスクの空き領域が少ないときや、ハードディスク上のデータの断片化が激しいときは、ハードディスクに負担がかかり、ハードディスクの動作音がしばらく続くことがあります。このようなときはディスクデフラグやディスククリーンアップ(86ページ)を行ってください。

ディスクデフラグは次の手順で行ってください。

- ① [スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[システムツール]の順にポインタをあわせ、[ディスク デフラグ]をクリックする。
「ディスク デフラグ ツール」画面が表示されます。
- ② [最適化]をクリックする。
最適化(デフラグ)が開始されます。

A ハードディスクからまれに「カチャン」という音がする場合があります。

これはハードディスク内にあるヘッドが動作するときに発する音であり、異常ではありません。

エラーメッセージ

表示されたメッセージの回避方法をご案内します。

Q Invalid system disk. Replace the disk, and then press any key.

A 「電源/起動」(78ページ)をご覧ください。

Q No System disk or disk error. Replace and press any key when ready.

A 「電源/起動」(78ページ)をご覧ください。

Q NTLDR is missing. Press any key to restart.

A 「電源/起動」(78ページ)をご覧ください。

はじめに

本機をセットアップ
する

インターネットを
始める

困ったときは

サービス・サポート

その他

Q Operating system not found

A 「電源／起動」(78ページ)をご覧ください。

Q Press <F1> to resume, <F2> to Setup

A 「電源／起動」(79ページ)をご覧ください。

Q System Disable

A 「電源／起動」(78ページ)をご覧ください。

Q このリチャージャブルバッテリーパックは使用できません。

A 「電源／起動」(78ページ)をご覧ください。

Q 無効な日時が入力されています。

A 日時が正しく設定されているか確認してください。

次の手順で操作してください。

- ① [スタート]ボタンをクリックして、[コントロール パネル]→[日付、時刻、地域と言語のオプション]→[日付と時刻]の順にクリックする。
「日付と時刻のプロパティ」画面が表示されます。
- ② [日付と時刻]タブをクリックして、「日付」と「時刻」を現在の日時に合わせる。
- ③ [OK]をクリックする。
変更した日時の設定が有効になります。

サービス・サポート

VAIOカスタマー登録について

パイオをご購入いただきましたお客様へは、「VAIOカスタマー登録」をおすすめしております。

登録の手続きについて詳しくは、「カスタマー登録する」(34ページ)をご覧ください。

なお、登録に際してのお客様の個人情報のお取扱いについては「お客様の個人情報のお取扱いについて」(107ページ)をご覧ください。

VAIOカスタマー登録を行っていただくと…

VAIOカスタマー登録を行っていただきますと以下をご提供します。

- 保証書(有効期間1年間)をお送りします。
パイオ本体のお買い上げ時に付属する保証書が提供する製品の保証期間は、ご購入日から3か月間有効となっており、登録いただくことで、有効期限1年間の保証書をお送りします。
なお、この保証書のお届けまでに数週間を要する場合がありますのであらかじめご了承ください。
- 「My Sony ID」(オンラインで登録の場合)または「VAIOカスタマーID」(郵送で登録の場合)を保証書に記してお送りします。
- 電子メールアドレスを登録されたお客様のみを対象として、電子メールによるパイオに関するさまざまな情報をご提供します。
- ご所有の機種に対応したサポート情報をご提供する「マイサポーター」(97ページ)をご利用いただけます。
 - お客様からの個別のご質問をインターネット経由で受け付け、VAIOカスタマーリンクから返信する「テクニカルWebサポート」(<https://mysupporter.vaio.sony.co.jp/>)をご利用いただけます。
- VAIOカスタマーリンクホームページにて各種サポート(VAIO e-Support)をご利用できます。
 - VAIOカスタマイズサービス(104ページ)などをホームページ上からお申込みできます。

- パイオの使いかたのご質問や技術的お問い合わせを、VAIOカスタマーリンクがお電話で承ります。なお、お問い合わせには「お客様サポート番号」または「VAIOカスタマーID」が必要です。
- お客様のサポート履歴を記録し、素早い対応ができます。
お電話でのお問い合わせの際、自動音声のご案内時に「お客様サポート番号」または「VAIOカスタマーID」をお伝えいただくと、ソニーの担当者が過去のサポート履歴をお調べし、それまでのご対応内容を踏まえたサポートをご提供します。

各種IDについて

カスタマー登録を行っていただくと、さまざまなサービスやサポートをご利用いただくためのIDやパスワードを発行いたします。下記の種類があります。

これらのIDは後日郵送でお送りする保証書に記載されています。

なお、オンラインで登録いただいた場合も、郵送で登録いただいた場合も、サービス・サポート内容に違いはありません。

オンラインで登録いただいた場合に発行されるもの

□ My Sony ID

「ソニー共通体系のお客様ID」です。

ひとつのIDとパスワードで、ソニーグループが提供するさまざまなWebサイトやサービスでのお客様ご本人の認証(ログイン=ご本人様であることの確認)に利用でき、またすでに他のIDをご所有の場合もそれらのIDと「IDリンク(ひも付け)」設定を行うことでマスターキーのように使えます。

My Sony IDとMy Sony ID用パスワードの文字列はお客様が設定された任意の文字列で取得できます。

このMy Sony IDは、VAIOホームページやソニーグループの各種ホームページなどでご提供するさまざまなサービスをご利用いただくために大切なものです。My Sony IDについて詳しくはMy Sonyホームページ(<http://www.sony.co.jp/mysony/>)をご覧ください。

□ お客様サポート番号

お客様が電話で技術的な質問をVAIOカスタマーリンクにお問い合わせいただく際に必要なもので、お客様固有の番号(16桁)となっています。

郵送で登録いただいた場合に発行されるもの

□ VAIOカスタマーID

お客様固有の番号(数字13桁)です。

このVAIOカスタマーIDは郵送で登録を行われたお客様向けに発行され、VAIOホームページなどでご提供するさまざまなサービスをご利用いただいたり、お客様が電話で技術的な質問をVAIOカスタマーリンクにお問い合わせいただくために必要です。このVAIOカスタマーIDを、後日、MySonyホームページで取得いただいたMy Sony IDとIDリンク(ひも付け)することも可能です。

！ご注意

- ご所有の方が変更になった場合は、新たにご所有者となられる方が、新規VAIOカスタマー登録いただければIDやパスワードを記載した用紙をお送りします。なお、その場合は保証書(1年保証書)の発行は行われません。
- 「My Sony ID」「お客様サポート番号」「VAIOカスタマーID」はお客様個人を対象とするものですので、他の方へは譲渡をしないようにお願いします。

VAIOカスタマー登録に関するお問い合わせ先

VAIOカスタマー登録や登録内容の変更、送付物についてのお問い合わせは、カスタマー専用デスクにお問い合わせください。

お問い合わせ先については、「VAIOカスタマー登録に関するお問い合わせ」(105ページ)をご覧ください。

「VAIO Update」を利用するには

「VAIO Update」は、ソニーがご提供のお客様への「重要なお知らせ」や「アップデートプログラム」の情報を、定期的にお知らせするソフトウェアです。

ソニーがご提供する情報が更新されると、「VAIO Update」はタスクバーの通知領域からアイコンとバルーンでお知らせします。

！ご注意

- VAIO Updateを利用するには、あらかじめインターネットに接続している必要があります。インターネット接続について詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「インターネット/ネットワーク」の[インターネット/電子メール]の順にクリックする。)
- VAIO Updateを利用するには、事前に動作設定をする必要があります。設定は「VAIO Updateへようこそ」バルーンが表示された時に当バルーンをクリックする、もしくはVAIO Updateを最初に起動した時に設定できます。

はじめに

本機をセットアップする

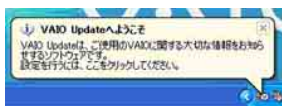
インターネットを始める

困ったときは

サービス・サポート

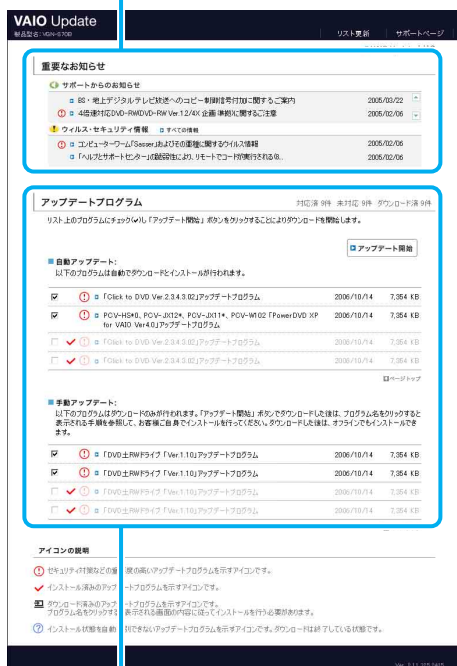
その他

□ VAIO Updateバルーン表示画面



□ VAIO Update画面(上記のバルーン表示をクリックすると表示されます)

① 重要なお知らせ



② アップデートプログラム

① 重要なお知らせ

セキュリティ関連情報などソニーがお客様へご提供する「重要なお知らせ」を確認することができます。件名をクリックすることにより、詳細な内容の確認ができます。

② アップデートプログラム

お客様がご使用のバイオを最新の状態にできるアップデートプログラムを確認できます。アップデートプログラムには自動でアップデートできるプログラムと手動でアップデートするプログラムがあります。それぞれ、プログラムの左にあるチェックボックスにチェック(複数選択可)を入れ、「アップデート開始」ボタンをクリックすることで、アップデートを開始します。自動アップデートの場合には、ダウンロードとインストールを行います。

手動アップデートの場合には、ダウンロードまで行いますので、ダウンロード後はプログラムの件名をクリックすると表示される内容に従ってインストールしてください。

* アップデートを行うには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限を持つユーザーとしてログオンする必要があります。

バイオ内の情報を調べる

本機には、本機の使いかたを簡単に検索できる「バイオ電子マニュアル」が付属しています。「バイオ電子マニュアル」を使って、解決方法を検索したり、自分のやりたいことの操作方法を調べることができます。困ったときはまず「バイオ電子マニュアル」を起動してみましょう。「ヘルプとサポートセンター」では、Windowsのヘルプの検索、サポートツールの実行、最新情報の入手など、おもにWindowsのサポートに関する機能をご利用になれます。また、Windowsのヘルプ、ソフトウェアに付属しているヘルプを使って解決方法を閲覧することもできます。

さらに、「困ったときは」(70ページ)や関連する項目(目次や索引をご利用ください)をご覧ください。

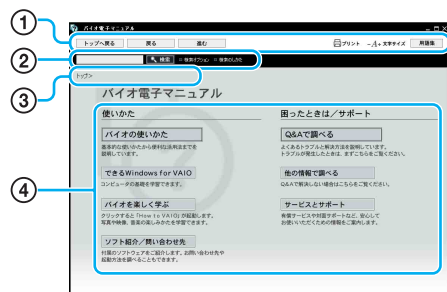
「バイオ電子マニュアル」を見る

「バイオ電子マニュアル」はバイオの使いかた、楽しみかた、困ったときの解決方法をディスプレイ画面上で説明するソフトウェアです。

[スタート]→[すべてのプログラム]→
[バイオ電子マニュアル]の順にクリックする。



□ 画面の見かた



①

• トップへ戻る

「バイオ電子マニュアル」を開いたときに、最初に表示される画面に戻ります。

• 戻る

進む

前に見ていた画面に戻ったり、進んだりできます。

• 印刷

「バイオ電子マニュアル」の情報を印刷することができます。

• -A+ 文字サイズ

「バイオ電子マニュアル」に表示する文字の大きさを変えることができます。

• 用語集

コンピュータ用語の説明を見ることができます。

②

• 検索

質問文を入力して情報を探することができます。

• 検索オプション

検索条件を設定したり、あらかじめ用意された質問文例などから質問文を選んで情報を探することができます。

• 検索のしかた

検索のしかたを見ることができます。

③

トップ>バイオの使いかた>各部の説明

「バイオ電子マニュアル」内での現在位置を知ることができます。また青色の文字をクリックすると該当画面に戻ることもできます。

④

ご覧になりたい内容に応じて下記のボタンをクリックしてください。

• バイオの使いかた

基本的な使いかたから便利な活用法までを説明しています。

• できるWindows for VAIO

コンピュータの基礎を学習できます。

• バイオを楽しく学ぶ

クリックすると「How to VAIO」が起動します。写真や映像、音楽の楽しみかたを学習できます。

• ソフト紹介／問い合わせ先

付属のソフトウェアをご紹介します。お問い合わせ先や起動方法を調べることもできます。

• Q&Aで調べる

よくあるトラブルと解決方法を説明しています。トラブルが発生したときは、まずこちらをご覧ください。

• 他の情報で調べる

Q&Aで解決しない場合はこちらをご覧ください。

• サービスとサポート

有償サービスや対面サポートなど、安心してお使いいただくための情報をご案内します。

はじめに

本機をセットアップする

インターネットを始める

困ったときは

サービス・サポート

その他

ヘルプとサポートセンターを見る

□ ヘルプとサポートセンターを見るには

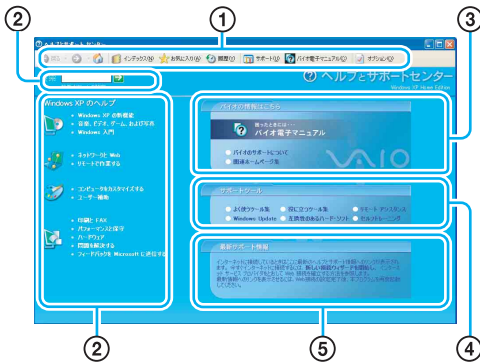
1 [スタート]ボタンをクリックして[ヘルプとサポート]を選ぶ。

ヘルプとサポートセンターの初期画面が表示されます。

ヘルプとサポートセンターの初期画面と、各エリアの機能は以下になっています。

この初期画面および各機能は、バイオ用にカスタマイズされたものです。

店頭でパッケージ販売される Windows XP Home Edition/Professional に標準で搭載されているヘルプとサポートセンターとは異なります。下記はバイオ用にカスタマイズされた Windows XP Home Edition の画面例です。



① ナビゲーションバー

参照ページの戻り、お気に入りへの追加、履歴の参照、バイオ電子マニュアルの起動などこちらから操作できます。

② ヘルプ検索

Windows に関するヘルプの参照や検索が行えます。

- 分類分けによる参照
- キーワード検索

③ バイオに関する情報

バイオに関する情報は、こちらからすべて参照できます。

- バイオ電子マニュアルの起動
- バイオ関連ホームページへのリンク
- VAIO カスタマーリンクへのお問い合わせについて

④ サポートツール

困ったときに有効なさまざまなサポートツールをこちらから実行できます。

- よく使われるツール(コントロール パネルやマイコンピュータなど)
- システムの復元ツール
- Windows Update
- ディスクツール
- リモートアシスタンスなど…

⑤ 最新サポート情報

ネットワークに接続すると、こちらからバイオに関するおすすめ情報などの最新情報を見ることができます。いつもチェックするようにしましょう。

各ソフトウェアのヘルプを見る

本機に付属しているソフトウェアにもヘルプが添付されています。

また、「バイオ電子マニュアル」の[ソフト紹介／問い合わせ先]をクリックして表示される内容には、ソフトウェアの使いかたがわからなくなったときのために、各ソフトウェアごとに「操作がわからなくなったときは」の項目があります。あわせてご覧ください。

ヒント

ヘルプとは

ソフトウェアの操作についてわからなくなったときに、デスクトップ画面上でその解決方法についての情報を検索して、表示する機能のことです。

VAIOカスタマーリンクのホームページを確認する

本機をインターネットに接続し、VAIOカスタマーリンクホームページをご覧ください。

VAIOカスタマーリンクホームページではお客様の疑問や質問を解決するための各種サービスと、バイオに関するサービスやサポート体制についての最新情報を提供しておりますので定期的にご覧ください。

VAIOカスタマーリンクホームページ

<http://vcl.vaio.sony.co.jp/>

ポイント

VAIOカスタマーリンクホームページを見るには、あらかじめインターネットに接続している必要があります。インターネット接続について詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([バイオの使いかた]→「インターネット/ネットワーク」の[インターネット/電子メール]→[インターネットの基礎知識]の順にクリックする。)

VAIOカスタマーリンクホームページを見るには

1 「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアを起動する。

2 [お気に入り]をクリックして[1.VAIO ホームページ]にポインタをあわせ、[2. サポート (サービス・サポート情報)]をクリックする。

VAIOカスタマーリンクホームページが表示されます。

④ サポートからの
お知らせ

① 製品から
調べる



② メニュー
から調べる

⑤ サポート
ページ検索

③ ウイルス・
セキュリティ情報

① 製品から調べる

製品別にお知らせやダウンロードなどのサポート情報をまとめた「製品別サポート情報ページ」が用意されています。製品ごとのアップデートプログラムや他社製品の接続情報が掲載されています。お使いの製品のページをウェブブラウザの「お気に入り」などに追加することをおすすめします。

② メニューから調べる

メニューごとにインデックスページが用意されています。各メニューにある項目をクリックする事により、ご覧になりたい項目のページへダイレクトに移動ができます(一覧をクリックすることで、すべての項目をご覧になれます)。

③ ウイルス・セキュリティ情報

バイオをご使用の際におけるセキュリティ関連の最新のお知らせを掲載しています。インターネットの普及に伴い、ソフトウェアの脆弱性を狙った悪意のある第三者の攻撃や、ウイルスによる被害が増えてきています。バイオを安全にお使いになるために、常にセキュリティ関連の情報をチェックしていただいて必要な対策をとられることを強くおすすめします(専用ページをクリックすることでウイルス・セキュリティ情報をご覧になれます)。

④ サポートからののお知らせ

お客様への重要なお知らせおよびVAIOカスタマーリンクからの最新のお知らせを掲載しています(すべてのお知らせをクリックすることでその他のお知らせをご覧になれます)。

⑤ サポートページ検索

キーワードによるVAIOカスタマーリンクホームページのサイト内検索ができます(お客様からいただいたお問い合わせとその回答などについては「Q&A検索」からご利用いただけます)。

はじめに

本機をセットアップする

インターネットを始める

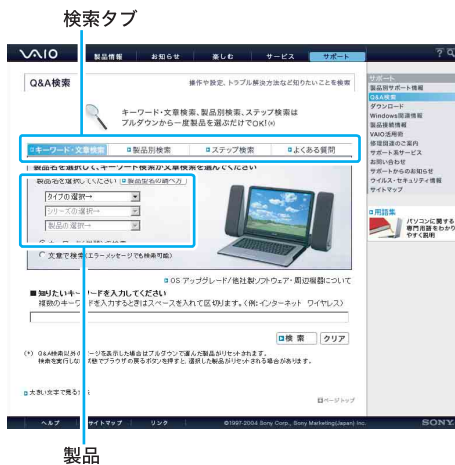
困ったときは

サービス・サポート

その他

Q&A 検索

Q&A 検索では5つの検索機能(キーワード検索・文章検索・製品別検索・ステップ検索・よくある質問)を使い、VAIO カスタマーリンクに寄せられた質問に対する回答を検索することができます。



製品

検索タブと製品を選んで検索します。
キーワード検索・文章検索・製品別検索・ステップ検索は製品名を引き継いで検索結果を表示させますので、再度製品名を選択する必要はありません。

製品別サポート情報

製品別サポート情報ページでは、ご所有の製品に関連した「お知らせ」「アップデートプログラム」「他社製品接続情報」などの最新情報をご紹介します。

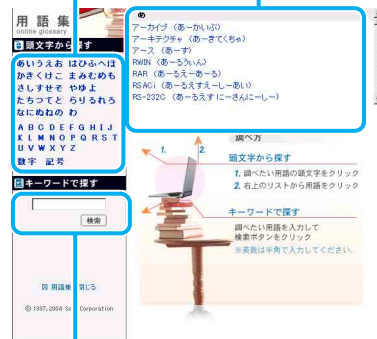


用語集

基礎的な用語や最新のキーワードを、初心者の方にもわかりやすく解説しています。

① 頭文字をクリック

② リストをクリック



キーワードで探す

□ 調べかた

頭文字から探す

- ① 調べたい用語の頭文字をクリックする。
- ② 右上のリストから用語をクリックする。

キーワードで探す

調べたい用語を入力して検索します。

VAIO カスタマーリンク モバイル

VAIO カスタマーリンクが提供するケータイコンテンツです。下記 URL へ携帯電話からアクセスしてください。

<http://vcl.vaio.sony.co.jp/mobile/>

対応端末:i-mode・EZWeb・Vodafone live!

□ バーコード (QR コード) からアクセスする

バーコード (QR コード) の読み取りに対応した端末の場合、以下の [QR コード] を読み取ることで、簡単に本サイトへアクセスできます。



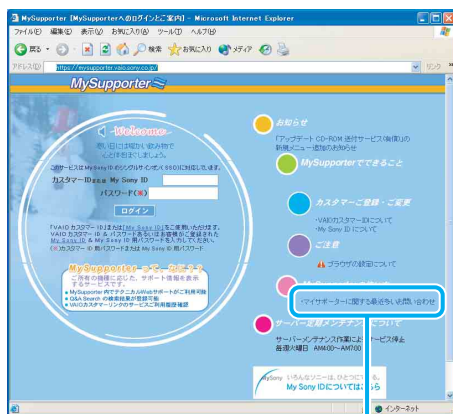
* QR コードは、(株)デンソーウェーブの登録商標です。

マイサポーターで確認する

「マイサポーター」は、パイオをご所有のお客様ひとりひとりに合わせて、ご所有の機種に対応したサポート情報やご案内を自動的に表示したり、VAIO カスタマーリンクへのコンタクト履歴をご確認いただけるサポートサービスです。

マイサポーター

<https://mysupporter.vaio.sony.co.jp/>



マイサポーターに関する
最近多いお問い合わせ

- * マイサポーターの内容は予告なしに変更する場合があります。

ポイント

- マイサポーターは My Sony ID に対応しています。
- マイサポーターにログインできない場合は「マイサポーターに関する最近多いお問い合わせ」をご覧ください。

マイサポーターでできること

機種の選択

複数の機種をお持ちの場合は、表示させる機種を選択し、対象機種のサービス・サポートをご確認いただけます。

情報コーナーでチェック

情報コーナーでは、お客様ひとりひとりのご所有機種に対応したおすすめのサービス・サポートなどをご案内します。

ご利用履歴の確認

お客様の VAIO カスタマーリンクのご利用履歴 (テクニカル Web サポート、修理情報) を確認できます。

• テクニカル Web サポート履歴

お客様が Web からお問い合わせされた内容と VAIO カスタマーリンクからの回答文の履歴を確認できます (2001 年 2 月以降の履歴を対象とさせていただきます)。

• 修理履歴

VAIO カスタマーリンクに直接修理をご依頼いただいたパイオ本体の修理履歴を確認できます。

ポイント

マイサポーターをご利用いただくには、お客様が VAIO カスタマー登録を行われていることが必要です (VAIO カスタマー ID と VAIO カスタマーパスワード、または My Sony ID と My Sony ID パスワードを入力してマイサポーターへログインし、ご利用いただくしくみです)。VAIO カスタマー登録については <http://www.vaio.sony.co.jp/Misc/Customer/> をご覧ください。

はじめに

本機をセットアップ
する

インターネットを
始める

困ったときは

サービス・サポート

その他

VAIO Hot Street(バイオホットストリート)

VAIO Hot Street(バイオホットストリート)

<https://hotstreet.vaio.sony.co.jp/>

「VAIO Hot Street」は、VAIOをご所有のお客様どうしの情報投稿サイトです。

VAIOをもっと活用していただくために役立つテーマを順次拡大中です。ぜひアクセスしてみてください。



投稿には「画像」と「おすすめサイトのURL」を添付できます。お客様のVAIOでお試しになった活用情報をお気軽に投稿ください。

- * 上記画像はVAIO Hot Streetの詳しい説明ページでログイン画面とは異なります。

【テーマ】

周辺機器接続情報

アプリケーションソフト情報

Windows アップグレード情報

その他(順次追加)

【投稿する】

ご所有のVAIOでお試しになった活用情報をぜひご投稿ください。

【検索する】

VAIOの製品型名やキーワードなどで投稿を検索することができます。

【評価する】

閲覧した投稿内容が「役に立った」と思われたら、ぜひその投稿をVメータで評価してください。

(評価の高い投稿はVメータランキング欄に掲載されることがあります。)

【ランキング】

投稿数の多いお客様の順がランキング一覧で表示されます。

【ご注意】

- 最新の詳しい説明ページは、下記URLからご確認ください。
<https://hotstreet.vaio.sony.co.jp/index.php>
- VAIO Hot Streetのご利用には、My Sony IDまたはVAIOカスタマーIDが必要です。

VAIOカスタマーリンクに電話で問い合わせる

電話でのサポートをご利用の前に

「バイオ内の情報を調べる」(92ページ)や「VAIOカスタマーリンクのホームページを確認する」(95ページ)を行ってもトラブルが解決しなかったときは、VAIOカスタマーリンクに電話でお問い合わせください。

VAIOカスタマーリンクでは、バイオに関する技術的な質問や修理の受付を電話で承っております。

【ヒント】

VAIOカスタマー登録をされると、VAIOカスタマーリンクへの電話での技術的なお問い合わせが行えます。

【ご注意】

- 通話料はお客様のご負担となります。あらかじめご了承ください。
- 他社製品との接続、ソニーが提供していないOS、ソフトウェア、ソニーで再現できないご使用上の問題点など、お答えいたしかねる場合があります。あらかじめご了承ください。

Windows XP Home EditionとWindows XP Professionalではサポート体制が異なります。

お使いのバイオがWindows XP Home Edition搭載モデルかWindows XP Professional搭載モデルのどちら

なのかわからない場合は、「システムのプロパティ」をご覧ください。「システムのプロパティ」を表示するには、[スタート]ボタンをクリックし、[マイコンピュータ]を右クリックして表示されるメニューから「プロパティ」を選びます。

技術的なお問い合わせは (Windows XP Home Edition 搭載モデルをお使いの場合)

パイオの使いかたのご相談や技術的な質問については、VAIO カスタマーリンクにお問い合わせください。本機をお手元に準備し、電源を入れた状態でお電話ください。担当オペレーターが対応いたします。

VAIO カスタマーリンク

電話番号: (0466) 30-3000

詳しくは、「使いかたのお問い合わせ/修理の受付」(105 ページ)をご覧ください。

ポイント

「VAIO カスタマーリンク電話受付混雑状況」について

VAIO カスタマーリンクでの電話受付の混雑状況を、VAIO カスタマーリンクホームページで公開しています。一般的に午前中は電話が混雑しており、午後の方がお電話がつながりやすくなっております。VAIO カスタマーリンク電話受付混雑状況を見るには、VAIO カスタマーリンクホームページ (<http://vcl.vaio.sony.co.jp/>) にある「お問い合わせ」の中の「電話による技術的なお問い合わせ」を選択し、本文中央にある「VAIO カスタマーリンク電話受付混雑状況表」をクリックします。

技術的なお問い合わせは (Windows XP Professional 搭載モデルをお使いの場合)

電子マニュアルおよびインターネットを使ったお問い合わせについて

パイオには、お客様のご都合のよい時間にいつでも無料でご利用になれる豊富なサポート用ソフトウェアとインターネットを通じたサポートサービスがございます。パイオに関する技術的なお問い合わせをインターネット経由で受け付ける「テクニカル Web サポート」(<https://mysupporter.vaio.sony.co.jp/>) を、ぜひご利用ください。

□ お電話でのお問い合わせについて

パイオの使いかたのご相談や技術的な質問については、VAIO カスタマーリンクにお問い合わせください。本機をお手元に準備し、電源を入れた状態でお電話ください。担当オペレーターが対応いたします。

VAIO カスタマーリンク

電話番号: (0466) 30-3000

詳しくは、「使いかたのお問い合わせ/修理の受付」(105 ページ)をご覧ください。

購入日から 90 日間は・・・

パイオのご購入日から 90 日間は、お問い合わせ回数にかかわらず無料でご利用いただける電話サポートをご用意しています。パイオの使いかたなど、ご購入直後のお客様の疑問にお答えします。

購入日から 90 日以降は・・・

パイオご購入日から 90 日を過ぎた後も電話サポートをご利用になれるように、「アドバンスサポート」という有料の電話サポートのメニューをご用意しています。お客様のお電話を Windows XP Professional 搭載モデル専用のオペレーターにおつなぎして、迅速なサポートをご提供いたします。

ご購入日から 90 日を過ぎた場合のお電話でのお問い合わせは、次ページの「アドバンスサポートチケット」をご購入の上、ご利用ください。

□ インターネット経由でのお問い合わせについて

パイオに関する技術的なお問い合わせをインターネット経由で受け付ける「テクニカル Web サポート」(<https://mysupporter.vaio.sony.co.jp/>) において、原則 24 時間以内にご回答を返信し迅速な対応をいたします(午前 10 時までにお受けしたご質問につきましては、原則としてその日のうちに返信させていただきます)。

- * 本サポートは、特に期限はなく無料でご利用いただけます。
- * メールでのお問い合わせは承っておりません。
- * 24 時間以内での返信は Windows XP Professional 搭載モデルのみのサービスとなっております。

□ 「アドバンスサポートチケット」をご購入いただくと

ご購入日から 90 日以降の電話サポートがご利用いただけます。

「アドバンスサポートチケット」とは

ご購入日から 90 日を過ぎてからお電話でパイオに関する技術的なお問い合わせ(使いかたのご説明など)をされる場合のメニューです。

下記のチケットをご購入いただくと、チケット 1 枚でお客様のご質問内容 1 件について、担当のオペレーターが対応いたします。

ポイント

- 本チケットは電子チケットです。お客様のお手元に紙のチケットなどをお届けすることはありません。
- ご質問内容 1 件とはお電話の回数ではなく、一つの独立した質問で複数の分割できない内容と弊社が判断したものとし、回答完了の判断は弊社の裁量によるものとし、回答完了前に派生した問題は別の問題として数えます。

■ チケットの種類と価格 (2004 年 7 月現在)

- チケット 1 枚 (単品): 2,100 円 (税抜価格 2,000 円)
- チケット 3 枚: 5,250 円 (税抜価格 5,000 円)
- 1 年間有効 (回数フリー): 10,500 円 (税抜価格 10,000 円)

■ 有効期間

ご購入の当日より 1 年間

はじめに

本機をセットアップする

インターネットを始める

困ったときは

サービス・サポート

その他

ご購入について

「アドバンストサポートチケット」のご購入には「お客様サポート番号」または「VAIOカスタマーID」が必要になります。「お客様サポート番号」または「VAIOカスタマーID」について詳しくは、「VAIOカスタマー登録について」(90ページ)をご覧ください。

購入方法

VAIOカスタマーリンク「アドバンストサポート」ご案内窓口(106ページ)でお電話でお申込みいただけます。

支払方法

クレジットカード(VISA・MASTER・JCB、1回払いのみ可能)をご利用ください。

【ポイント】

ご利用者本人のクレジットカード番号、有効期限をご購入時にお伺いいたします。

代金のお支払いは各クレジットカード会社の会員規約に従い、ご指定の口座から自動引き落としとなります。

返品・キャンセル・交換について

商品の性質上、お客様のご都合によるご返品、キャンセル、および交換は受け付けておりません。

その他

本サービスは、サービス購入者が行うすべてのお問い合わせに完全な回答を差し上げることが保証するものではありません。他社製品との接続、弊社にて再現できない使用上の問題点など、お答えいたしかねる場合があります。あらかじめご了承ください。

「アドバンストサポートチケット」についてのお問い合わせ

VAIOカスタマーリンク「アドバンストサポート」ご案内窓口(106ページ)にお問い合わせください。

【ポイント】

「VAIOカスタマーリンク電話受付混雑状況」について

VAIOカスタマーリンクでの電話受付の混雑状況を、VAIOカスタマーリンクホームページで公開しています。一般的に午前中は電話が混雑しており、午後の方がお電話がつながりやすくなっております。

VAIOカスタマーリンク電話受付混雑状況を見るには、VAIOカスタマーリンクホームページ(<http://vcl.vaio.sony.co.jp/>)にある「お問い合わせ」の中の「電話による技術的なお問い合わせ」を選択し、本文中央にある「VAIOカスタマーリンク電話受付混雑状況表」をクリックします。

修理を依頼されるときは

修理依頼の手順

修理を依頼される前に、「パイオ電子マニュアル」の画面上部のキーワード検索で調べたり、「VAIOカスタマーリンクのホームページを確認する」(95ページ)の操作を行い、お使いのパイオの症状に合うものがないか確認してください。ハードウェアの故障と思われて修理に出されたものの多くが、仕様の範囲内であったり、ソフトウェアの設定を変更するなどの操作を行うことで直ることがあります。それでも解決できない場合は、以下の手順に従ってお電話ください。

【ポイント】

点検サービスも行っております

パイオの各機能(キーボード、ハードディスクドライブなど)が正常に動作しているか点検するサービスも行っております(有料)。

詳しくは、VAIOカスタマーリンクホームページ(<http://vcl.vaio.sony.co.jp/>)をご覧ください。

【ご注意】

修理時の代替機は用意しておりません。あらかじめご了承ください。

1 データのバックアップをおとりください。

データのコピーが可能な場合は、修理に出す前に、ハードディスクなどの記録媒体のプログラムおよびデータは、お客様ご自身でバックアップをおとりくださるようお願いいたします。弊社の修理により、万一ハードディスクなどのプログラムおよびデータが消去あるいは変更された場合でも、弊社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

データのバックアップをとるには以下のような方法があります。

- フロッピーディスクにコピーする。
 - DVD-RW/CD-RW/CD-Rなどにコピーする。
- それぞれの操作方法について詳しくは「パイオ電子マニュアル」をご覧ください。([パイオの使いかた]をクリックする。)

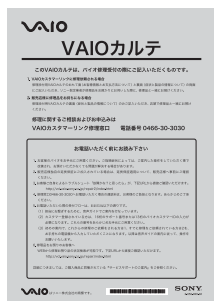
！ご注意

- お使いの機種により、フロッピーディスクドライブやDVD-RW／CD-RWドライブが搭載されておらず、別売りの場合があります。バックアップなどで別売りのドライブが必要な場合、お客様にてご用意をお願いします。
- OSが起動しないなど、バックアップを行うことができない状態の場合でも、弊社にてバックアップを行うサービスは行っておりません。

2

VAIOカルテと筆記用具をご用意ください。

VAIOカルテは本機に付属しています。紛失された場合は、VAIOカスタマーリンクホームページ(<http://vcl.vaio.sony.co.jp/repair2/karte.html>)またはFAX情報サービス(105ページ)より入手してください。筆記用具は、修理をお受けする際にお伝えする修理受付番号をひかえるのに必要です。



ポイント

弊社の保証以外に、販売店などの独自の保証にご加入されている場合は、そちらの保証内容もご確認されることをおすすめいたします。

3

VAIOカスタマーリンク修理窓口にお電話ください。

VAIOカスタマーリンク修理窓口

電話番号：(0466) 30-3030

詳しくは、「使いかたのお問い合わせ／修理の受付」(105ページ)をご覧ください。

不具合症状などの確認のため操作をお願いする場合がありますので、ご使用のパソコンをできるだけお手元にご用意の上、お電話ください。お電話は音声認識を用いた自動音声応答で受け付けます。自動音声のアナウンスに従って、ご希望のメニューをお選びください。各メニューの担当オペレーターが対応いたします。

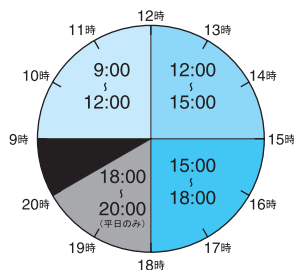
ポイント

自動音声応答において機種情報などが正確に認識できると、担当のオペレーターにつながります。

4

修理が必要と判断させていただいた場合は修理の受付をさせていただきます。

修理受付の際に修理受付番号を申し上げますので、お手持ちのVAIOカルテにご記入ください。また、修理品のお引き取り時間を以下の時間帯よりお選びください(一部地域を除く)。



- 9:00～12:00
- 12:00～15:00
- 15:00～18:00
- 18:00～20:00(平日のみ)

！ご注意

上記は2004年7月現在での選択可能な時間帯です。一部地域ではご利用いただけない時間帯があります。

5

ご連絡いただいた翌日以降に、ソニー指定の配送業者が修理品をお客様宅へお引取りにうかがいます。

以下をあらかじめご用意ください。

- 修理品本体
- VAIOカルテ(本機に付属しています。あらかじめご記入ください。)
- 保証書
- 必要な付属品類

ポイント

- 受付時に修理品の引き取り日時、場所などを調整させていただきますのであらかじめご了承ください。
- 引取修理は、VAIOカスタマーリンク修理窓口で修理を受け付け、ソニー指定の配送業者が修理品をお客様宅より集中修理拠点へ直送するサービスです。(送料はソニー負担です。)

はじめに

本機をセッティングする

インターネットを始める

困ったときは

サービス・サポート

その他

6 修理完了後、ソニー指定の配送業者が修理品をお客様宅へお届けいたします。

！ご注意

- 保証期間中でも有償になる場合がございます。詳しくは、保証書に記載されている「無料修理規定」をご覧ください。
- 修理料金のお支払いは、現金一括払いのほかに、カードによる分割払いがご利用いただけます。詳しくは付属の「VAIOカルテ」内『修理代金のお支払い方法について』の欄をご覧ください。(なお、このカードによる分割払いは、VAIOカスタマーリンクで修理受付させていただいた場合の適用となります)

「修理／お預かり品状況確認」について

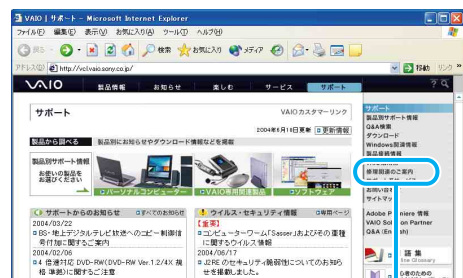
VAIOカスタマーリンクホームページの「修理／お預かり品状況確認」では、VAIOカスタマーリンクへ直接修理のご依頼をいただいた方に、修理の進み具合に応じて「修理品お預かり予定日」、「修理完了予定日」、「修理完了日」の日程をご案内しております。

修理／お預かり品状況確認を見るには、以下の手順に従って操作します。

！ご注意

一部の機種では提供されません。

1 VAIOカスタマーリンクホームページ (<http://vcl.vaio.sony.co.jp/>)にある[修理関連のご案内]をクリックする。



ここをクリックする

2 「修理／お預かり品状況確認」をクリックする。

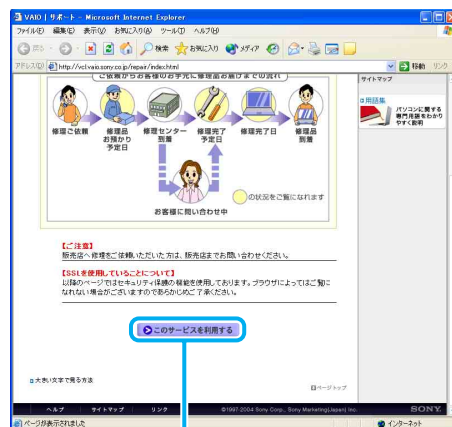
「サービスのご案内」画面が表示されます。

！ご注意

販売店経由で点検や修理依頼をされた場合の修理完了日は、販売店にご確認ください。

3 画面下の[このサービスを利用する]をクリックする。

「修理／お預かり品状況確認」画面が表示されます。



ここをクリックする

4 修理受付番号と電話番号を入力し、[検索]をクリックする。

修理完了の予定日が表示されます。

□ 修理対応について

ご購入後1か月以降のお申し出によるハードウェアに関する不具合の場合には、修理のみの対応になりますのでご了承ください。

□ 修理用補修部品について

ソニーでは、長期にわたる修理部品のご提供、ならびに環境保護などのため、修理サービスご提供の際に、再生部品を使用することがあります。

また交換した部品は、上記の理由によりソニーの所有物として回収させていただいておりますので、あらかじめご了承ください。

□ 海外でのご使用時の修理対応について

お買い求めいただいたパイオは、製品に必要な各種の安全規格の認証を日本で取得した日本国内専用モデルです。

また、製品に付属する保証規定は日本国内のみ有効です。

海外において国内保証規定以外のご使用が起因となり、製品に不具合が発生した場合は、保証（無償修理）の対象外となる場合がありますのであらかじめご了承ください。

なお、VAIO Overseas Service(海外サポート修理サービス)の用意もございます。詳しくは「有償サービスの種類」(103ページ)をご覧ください。

その他のサービスとサポート

有償サービスの種類

パイオをより快適に安心してお使いいただくためのサービス、パイオのクリエイティブな世界を体験していただくためのサービスなど各種サービスをご用意しております。

！ご注意

一部の機種では提供されません。

□ VAIO 延長保証サービス

ご所有のパイオが故障した場合（破損、水漏れなど事故の場合を除く）、パイオご購入から3年間の無料修理をご提供する、VAIOご登録カスタマー専用の特別サービスをご用意しております。

詳しくは下記ホームページ「VAIO 延長保証サービス」をご覧ください。

<http://www.vaio.sony.co.jp/Service/Guarantee/>

□ 訪問サポートサービス（有償）

スタッフが直接お客様のご自宅へお伺いし有償で行なうサポートサービスをご用意しております。

詳しくは「自宅」「訪問サポートサービス（有償）」を受ける」（103ページ）または下記ホームページ「デジホームサポート」をご覧ください。

<http://www.sony.jp/support/service/Support/index.html>

□ VAIO カスタマイズサービス

パイオをより快適にお使いいただくために、ソニー純正のカスタマイズサービスをご用意しております。

詳しくは「VAIO カスタマイズサービスを利用する」（104ページ）をご覧ください。

<http://www.vaio.sony.co.jp/Service/Customize/>

□ アップデート CD-ROM 送付サービス（有償）

ご所有機種に応じた各種サポート CD-ROM を有償で送付させていただくサービスをご用意しております。

詳しくは下記ホームページ「アップデート CD-ROM 送付サービス（有償）」をご覧ください。

<http://vcl.vaio.sony.co.jp/cdromss/index.html>

□ 「アドバンスドサポート」

Windows XP Professional、Windows 2000 搭載モデル用のサポートプログラムをご用意しております。

詳しくは「技術的なお問い合わせは（Windows XP Professional 搭載モデルをお使いの場合）」（99ページ）をご覧ください。

□ 訪問修理サービス（有償）

ソニーのサービスエンジニアが直接お客様のご自宅へお伺いし修理を行うサポートサービスをご用意しております。なお、対象機種はパーソナルコンピューター VGC シリーズのみとなります。

詳しくは「自宅で「訪問サポートサービス（有償）」を受ける」（103ページ）をご覧ください。

□ VAIO Overseas Service（海外サポート修理サービス）

日本国内でご購入されたパーソナルコンピューター VGN シリーズが、海外の対象地域にご滞在中に故障した場合、1年間お電話でサポートいたします。

詳しくは下記ホームページ「VAIO Overseas Service（海外サポート修理サービス）」をご覧ください。

<http://www.vaio.sony.co.jp/Service/Overseas/>

自宅「訪問サポートサービス（有償）」を受ける

スタッフがお客様のご自宅へ直接お伺いして、各種アップグレード作業やインターネットの接続などを有償で行う「訪問サポートサービス」をご提供しています。以下のようなサービスがあります。（2004年7月現在）

- パソコンはじめてパック：
パイオをお買い上げいただいたときの開梱、接続、動作確認など。
- インターネット設定パック：
モデム、ウェブブラウザ、電子メールソフトウェアの設定と簡単な操作説明。
- 個人レッスン：
パイオの使いかたや、楽しみかたをご自宅で学べる。
- VAIO カスタマイズサービス（104ページ）
- パーソナルコンピューター VGC シリーズの訪問修理サービス：
パーソナルコンピューター VGC シリーズのみ、お客様のご使用環境などによる訪問修理のご要望にお答えするサービスです。パーソナルコンピューター VGN シリーズは対象外とさせていただきます。

ヒント

サービスメニュー、料金、訪問可能な地域などは随時更新されますので、お申し込み前に VAIO カスタマーリンク ホームページでご確認ください。

訪問サポートサービスの詳細を見るには、次のように操作します。

はじめに

本機をセットアップする

インターネットを始める

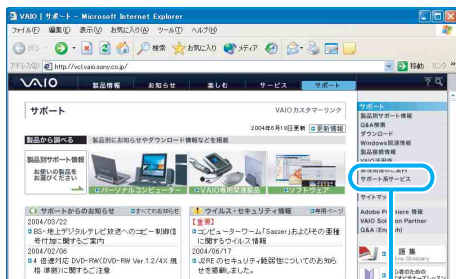
困ったときは

サービス・サポート

その他

1

VAIOカスタマーリンク ホームページ
(<http://vcl.vaio.sony.co.jp/>)にある[サ
ポート系サービス]をクリックする。



ここをクリックする

2

[訪問サポートサービス]をクリックする。

「訪問サポートご案内」画面が表示されます。

ホームページでのお申し込み

VAIOカスタマーリンクホームページ

(<http://vcl.vaio.sony.co.jp/>)にある「パソコン訪問サポ
ート」よりお申し込みください。お申し込み手順は、ホーム
ページ上の記載に従ってください。

VAIOカスタマイズサービスを利用する

ソニーではお買い上げいただいたバイオをより快適に
お使いいただくために、以下のようなソニー純正の各種
カスタマイズサービスをご提供しております。
各サービスの対象機種やサービス期間、料金については
VAIOカスタマイズサービス ホームページでご確認くだ
さい。

<http://www.vaio.sony.co.jp/Service/Customize/>

□ ハードディスクアップグレードサービス

動画ファイルの記憶領域やユーザーデータの保存領域
が拡張できます。

一部のパーソナルコンピュータVGNシリーズのみの
サービスとなります。

・ データ移行サービス

現在お使いのハードディスク上の内容をそのまま交
換後のハードディスクに移行するサービスです。

・ ポータブルi.LINKハードディスクケース 移設サービス

ハードディスク交換後、元のハードディスクをポー
タブルi.LINKハードディスクケースに移設してお返
しするサービスです。

□ メモリーアップグレードサービス

データの処理速度や複数のアプリケーションソフト
ウェアを同時に起動したときの処理速度が向上します。

□ キーボード交換サービス

標準キーボードから英語配列キーボードに交換いたし
ます。

英語配列キーボードでプレインストールのOSが使用可
能になります。なお、サービスは英語のみになっており
ます。

パーソナルコンピュータVGNシリーズ(一部対象外)
のみのサービスとなります。

□ VAIOぴかぴかサービス

ご使用により汚れたり傷ついてしまった外装部品を交
換するサービスです。

一部のパーソナルコンピュータVGNシリーズのみの
サービスとなります。

ホームページでのお申し込み

VAIOホームページ内「サービス」にある「VAIOカスタ
マイズサービス」(<http://www.vaio.sony.co.jp/Service/Customize/>)
よりお申し込みください。お申し込み手順は、ホーム
ページ上の記載に従ってください。

電話でのお申し込み

VAIOカスタマーリンク修理窓口にお電話ください。

お問い合わせ先については、「使いかたのお問い合わせ
／修理の受付」(105ページ)をご覧ください。

！ご注意

お申し込みに関するご注意

カスタマイズサービスは、バイオ本体にソニー純正の製
品をお取り付けするサービスです。

他社製のコンピュータに対してのアップグレードおよ
び他社製の製品を使用してのアップグレードサービス
はお受けいたしません。

カスタマイズサービスご依頼の前に、ハードディスクなど
の記録媒体のプログラムおよびデータは、お客様自身にて
バックアップされますようお願いいたします。弊社の作業
により、万一ハードディスクなどのプログラムおよびデー
タが消去あるいは変更された場合でも、弊社は一切責任を
負いかねますのであらかじめご了承ください。

なお、アップグレードに使用する増設メモリや増設ハー
ドディスクなどの在庫が無くなり次第、サービスは終了
させていただきます。

「アップグレード完了予定日インフォメーション」 サービス

VAIOカスタマーリンク ホームページの「修理／お預か
り品状況確認」を使って「本体お預かり予定日」、「アップ
グレード完了予定日」、「アップグレード完了日」の日程
を検索できますのでご利用ください。

アップグレード完了予定日インフォメーションを見る
には、「修理／お預かり品状況確認」について」(102ペー
ジ)の手順に従って操作します。

！ヒント

ホームページの画面中で「修理品」と記載されている箇
所は「アップグレード品」と読みかえてください。

対面サポートスポット「テクノスクエア」を利用する

テクノスクエアでは、バイオを中心としたソニー製関連製品の使いかたや接続のご相談を行っております。有料サポートをご希望のお客様は直接テクノスクエアにお越しください。

詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

<http://www.sony.jp/support/service/TS/index.html>

！ご注意

- テクノスクエアはお電話での相談は承っておりません。
- 修理の受付は修理窓口(105ページ)で承ります。

FAXで情報を取り寄せる

「FAX情報サービス」では、バイオに関する各種情報や修理の際に必要な「VAIOカルテ」などをFAXで入手できます。以下のFAX番号におかけになり、応答する音声ガイダンスに従って操作してください。なお、各情報の資料番号については、資料番号「0001」で入手できます。

！ご注意

一部の機種では提供されません。

FAX情報サービス

FAX番号：(0466)30-3040

お問い合わせ先について

付属ソフトウェアに関するお問い合わせ

付属のソフトウェアについてはソフトウェアごとにお問い合わせ先が異なります。

「バイオ電子マニュアル」の[ソフト紹介／問い合わせ先]をクリックして表示される内容および「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」(136ページ)をご覧ください。

VAIOカスタマー登録に関するお問い合わせ

□ VAIOカスタマー登録(90ページ)に関するお問い合わせは

カスタマー専用デスク

電話番号：(0466)38-1410

受付時間：平日 10:00～18:00(年末年始を除く)

通話料はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。

なお、バイオの使いかたについてのお問合せ、修理の受付については下記「VAIOカスタマーリンク」までご連絡ください。

使いかたのお問い合わせ／修理の受付

お電話は音声ガイドでご案内しています。お問い合わせの内容に応じたご希望の番号をお選びください。担当オペレーターが対応いたします。

使いかたのお問い合わせは

VAIOカスタマーリンク

電話番号：(0466)30-3000

「インターネットやメール、ネットワーク接続に関するお問い合わせ」や「映像や音楽のソフトウェアに関するお問い合わせ」など、専門のオペレーターをご用意しております。(2004年7月 現在)

修理の受付は

VAIOカスタマーリンク修理窓口

電話番号：(0466)30-3030

お問い合わせの際は、お手元にバイオ本体をご用意ください。ご指摘の症状によっては、ご案内した操作で問題が解決する場合があります。

はじめに

本機をセットアップする

インターネットを始める

困ったときは

サービス・サポート

その他

- 通話料はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。
- Windows XP Professional搭載モデルをお使いの場合、技術的なお問い合わせに対しては、本機のご購入日から90日間無料で対応いたします。ご購入日から91日以降は、「アドバンストサポート」による有償でのサポートメニューをご用意しております。(99ページ)
- 付属のソフトウェアについては、「バイオ電子マニュアル」の[ソフト紹介／問い合わせ先]をクリックして表示される内容および「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」(136ページ)をご覧ください。
- お問い合わせには、あらかじめ「VAIOカスタマー登録」しておく必要があります(34ページ)。なお、登録時にご提供いただく個人情報のお取り扱いについては、「お客様の個人情報のお取り扱いについて」(107ページ)をご覧ください。

受付時間

平日 10:00～20:00
土、日、祝日 10:00～17:00
(365日年中無休)

お電話は午前11時以降、または午後の方がつながりやすくなっております。

VAIOカスタマーリンクホームページ

(<http://vcl.vaio.sony.co.jp/>)にある「お問い合わせ」の中の[電話による技術的なお問い合わせ]を選択して、本文中央に表示される[VAIOカスタマーリンク電話受付混雑状況表]もあわせてご確認ください。

お電話の前に以下の内容をご用意ください。

- ① お客様のお客サポート番号、またはVAIOカスタマーID(90ページ)
- ② 本機の型名(保証書などに記載されているものです)
- ③ 本機の製造番号(保証書などに記載されている7桁の番号です)
- ④ カスタマー登録いただいたときの電話番号、または登録予定の電話番号

ポイント

発信者番号通知でお電話していただくとよりスムーズに担当者につながります。

- ⑤ 本機に接続している**周辺機器名**(メーカー名と型名)

⑥ 表示されたエラーメッセージ

- ⑦ 本機に付属していないソフトウェアを追加した場合は、その**ソフトウェアの名前**とバージョン

⑧ トラブルが発生する前または直前に行った操作

⑨ トラブルがどのくらいの頻度で再現するか

⑩ その他お気づきの点

修理の場合は

- ⑪ VAIOカルテ(修理をお申し込みになるとき)
- ⑫ 筆記用具(修理を受付する際にお伝えする修理受付番号を控えるのに必要です)

その他のお問い合わせ

通話料および通信料はお客様のご負担となりますので、あらかじめご了承ください。

！ご注意

バイオの使いかたに関するお問い合わせや、修理の受付については「使いかたのお問い合わせ／修理の受付」(105ページ)をご覧ください。

下記のお問い合わせ先では技術的なお問い合わせなどはお受けできません。あらかじめご了承ください。

□ VAIOカスタマーリンク「アドバンストサポート」ご案内窓口(99ページ)は

電話番号: (0466) 30-3099

受付時間: 平日 10:00～20:00

土・日・祝 10:00～17:00(365日年中無休)

□ FAXでの情報提供(105ページ)は

VAIOカスタマーリンクFAX情報サービス

FAX番号: 0466-30-3040

□ VAIOカスタマーリンク セキュリティお問い合わせ窓口は

電話番号: (0466) 30-3016

受付時間: 平日 10:00～20:00

土・日・祝 10:00～17:00

保証書とアフターサービス

保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より3か月間です。カスタマー登録していただいたお客様は1年間になります。

アフターサービスについて

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。ただし、保証期間内であっても、有償修理とさせていただきます場合がございます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理について

当社ではパーソナルコンピュータの修理は引取修理を行っています。当社指定業者がお客様宅に修理機器をお引き取りにうかがい、修理完了後にお届けします。詳しくは、「修理を依頼されるときは」(100ページ)をご覧ください。

部品の保有期間について

当社ではパーソナルコンピュータの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、VAIOカスタマーリンク修理窓口にご相談ください。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

ソニーマーケティング(株)およびソニー(株)(以下「ソニー」)は、ご登録いただいたお客様の個人情報ならびにお客様がVAIOでご登録カスタマー向けのサービス等を利用した際にソニーが記録した履歴について、以下の定めに従い取扱いをいたします。(以下、個人情報と履歴を総称して「お客様の情報」とします)

1. お客様の情報の使用目的について

お客様の情報は、下記の目的で使用させていただきます。お客様の事前のご了承なく下記目的以外の使用はいたしません。

- (1)VAIOカスタマーサポートのご提供(製品の保証、修理など)
- (2)製品やサービス・キャンペーン情報(含む広告)のご案内
- (3)お客様のご意見やご感想の回答のお願い
- (4)その他の特典サービスの提供
- (5)統計資料の作成

2. お客様の情報の保管・消去

不当に第三者が触れないよう、合理的な範囲内で、厳重に保管します。

なお、ソニーは、使用目的の達成により継続保管の必要がなくなったと判断した場合、お客様の情報を消去する場合がございます。

3. お客様の情報の開示

下記の場合を除き、お客様のご了承なく第三者に開示いたしません。

但し、お客様個人を特定できない統計情報はこの限りではありません。

- (1)お客様にお知らせした使用目的のために、業務を委託する協力会社が開示が必要な場合。(ソニーは、当該協力会社に対して、お客様の情報の厳重な管理と使用目的の遵守を徹底します。)
- (2)司法機関または行政機関から法的義務を伴う要請を受けた場合。

4. 他人の情報の提供について

お客様が、ご自分以外の方の個人情報を登録する場合には、お客様が必ずその方から、ソニーに対して個人情報を提供することについてご了解をいただいでください。

はじめに

本機をセットアップする

インターネットを始める

困ったときは

サービス・サポート

その他

5. お問い合わせ及びその他のご連絡

(1) 個人情報の照会・修正、またはソニーからの情報配信を終了する場合、VAIOホームページ (<http://www.vaio.sony.co.jp/>) 上からお客様ご自身で必要な手続きを行ってください。

(2) 個人情報の削除をご希望の場合、またはVAIOホームページがご利用できない場合、前述のカスタマー専用デスクまでお問い合わせください。

6. ソニーは、必要に応じて、本内容を変更・修正・追加・削除できるものとします。

ソニーマーケティング株式会社
パーソナル・インフォメーション・マネージメント委員長
発行日:2002年5月1日

その他

メモリモジュールを取り付ける／はずす

本機には拡張メモリスロットが1つあり、VGN-T70B/L・T50B/L・T50B/Tは最大768 Mバイトまでメモリを増設できます。*

メモリ容量が大きいと、データの処理速度や、複数のソフトウェアを同時に起動したときの処理が速くなります。

* お買い上げ時は拡張メモリスロットは未使用です。

メモリモジュールを取り付けるには

！ご注意

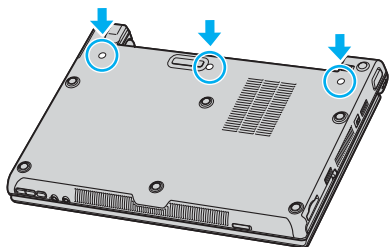
- メモリモジュールを取り付ける前に、本機の電源を切り、約1時間ほどおいてから作業を行ってください。電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをするおそれがあります。
- コンピュータ内部はとても精密にできています。そのため、メモリモジュールの取り付けや取りはずしは注意深く行う必要があります。取り付けかたや取りはずしかたを誤ると、本機の故障の原因になります。破損した場合は有償修理となります。
メモリモジュールの取り付けや取りはずしに関するご相談や質問は、VAIOカスタマーリンクまでご連絡ください。
- 別売りのソニー製メモリーモジュールVGP-MM512I以外では、正常に認識されなかったり、Windowsの動作が不安定になるものがあります。他社のメモリモジュールをお使いになる場合には、販売店またはメモリモジュールの製造メーカーにご相談ください。
- 水などの液体や、ネジなどの異物が入ると故障の原因となりますので、ご注意ください。
- 本機内部の部品や基板などの角で手や指をけがしないよう注意深く作業してください。
- 本機内部のケーブルに指などを引っかけてはささないよう注意してください。

メモリモジュールの取り扱いについて

- 静電気でメモリモジュールを破壊しないように、メモリモジュールを取り扱うときは、次のことをお守りください。
 - － メモリモジュールを取り付けるときは、静電気の起こりやすい場所（カーペットの上など）では作業しないでください。
 - － 静電気を体から逃がすため、本機の金属部やプラスドライバーなどに触れてから作業を始めてください。
ただし、本機内部の金属部には触らないようご注意ください。
 - － メモリモジュールは静電気防止袋に入っています。取り付け直前まで袋から出さないでください。
- メモリモジュールを保管するときは、静電気防止袋またはアルミホイルで覆ってください。

1 本機と周辺機器の電源を切り、電源コードやバッテリー、およびすべての接続ケーブルを取りはずす。

2 本機を裏返し、底面のネジ(3か所)をプラスドライバーで取りはずす。

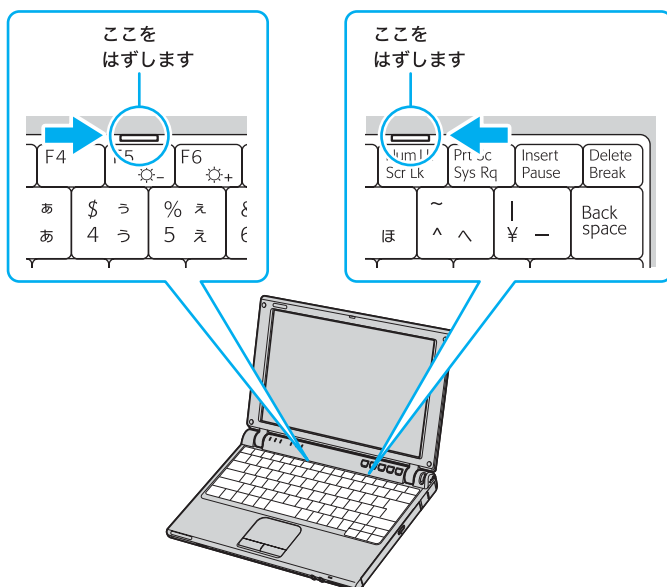


！ご注意

- ドライバーはネジのサイズにあったもの(精密ドライバーなど)をお使いください。
- 指定以外のネジをはずしたり、ゆるめたりしないでください。本機の故障の原因となるおそれがあります。
- はずしたネジが、周囲のすき間から機器内に落ちないようにご注意ください。

3 本機のキーボードを裏返す。

① ディスプレイパネルを開き、マイナスドライバーや先の細いピンセットなどを差し込んでF5キーとNum Lkキーの上にある2か所のツメをはずす。



！ご注意

ドライバーなどを強く差し込みすぎないようにしてください。キーボードの破損の原因となります。また、誤ってキートップをはずさないようご注意ください。

はじめに

本機をセットアップ
する

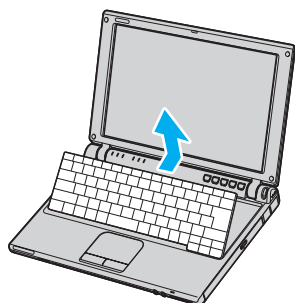
インターネットを
始める

困ったときは

サービス・サポート

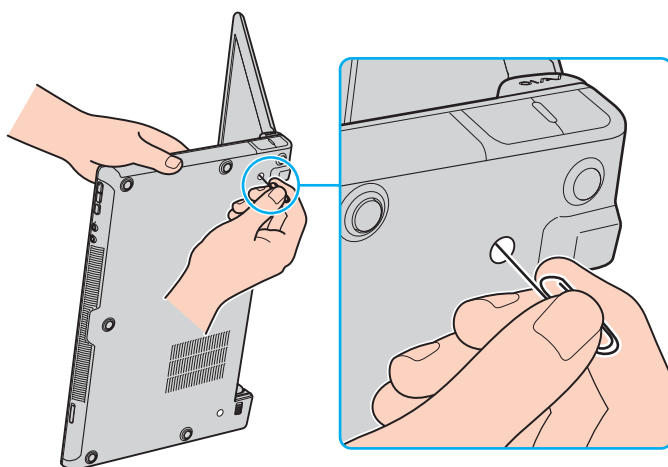
その他

② キーボードを持ち上げる。

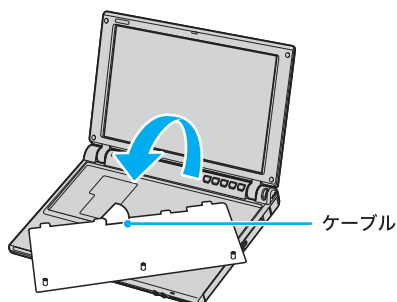


ヒント

キーボードが持ち上げにくい場合は、クリップなどの細い棒で本機底面のネジ穴を押してください。
(シャープペンシルの芯など折れやすいものは、本機の故障の原因となりますので使用しないでください。)
その際、ネジ穴を押したときにキーボードが飛び出さないようキーボードに手を添えるようにしてください。



③ キーボード全体を裏返し、タッチパッドのある手前のスペースにゆっくりのせる。



！ご注意

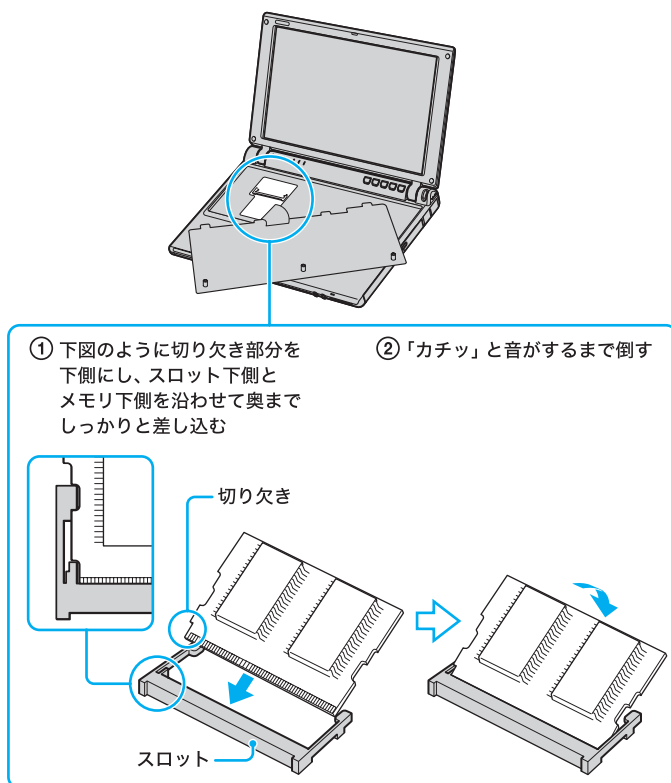
キーボードを裏返すときに、キーボードのケーブルは無理に引っ張りすぎないようにしてください。ケーブルが断線してしまうおそれがあります。

4 本機の金属部に触れて体の静電気を逃がしてから、メモリモジュールを静電気防止袋から取り出す。

ただし、本機内部の金属部には触らないようご注意ください。

5 メモリモジュールを取り付ける。

- ① メモリモジュールのエッジコネクタ部分を下に向け、切り欠き部分をスロットの溝にあわせて、奥までしっかりと差し込む。
- ② 「カチッ」と音がするまで、矢印の方向にメモリモジュールを倒す。
倒れにくいときは、再度スロットに奥までしっかりと差し込んでから倒してください。
メモリモジュールの両端が固定されます。



！ご注意

- メモリモジュール以外の基板には触れないようご注意ください。
- メモリモジュールの切り欠き部分をよく確認し、差し込み向きを間違えないようご注意ください。

6 キーボードを取り付ける。

- ① キーボード手前にある4か所のツメをあわせながらキーボードをゆっくり元の位置に戻す。

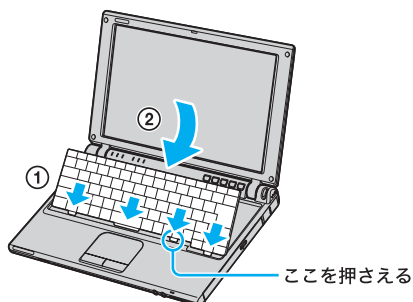
ヒント

右側のAltキーあたりを軽く押さえながらキーボードを元の位置に戻すと、キーボードを取り付けやすくなります。

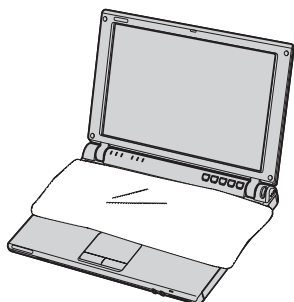
- ② F5キーとNum Lkキーの上にある2か所のツメが引っかかるように、本機に押し込む。

注意

キーボードを元の位置に戻すときに、ケーブルが断線しないようご注意ください。



7 キーボードの上にハンカチなどのやわらかい布を置いて、ディスプレイパネルを閉じる。

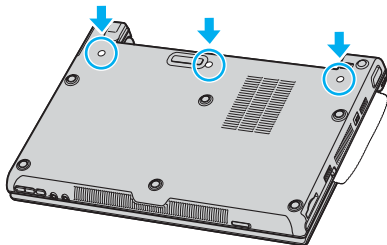


注意

液晶ディスプレイとキーボードの間にハンカチなどのやわらかい布を置かないと、本機底面のネジがきちんと締まらず、キーボードがしっかりと取り付けられない場合があります。

8 本機を裏返し、本機底面のネジを締める。

プラスドライバーで本機底面のネジ(3か所)をしっかりと締めてください。



9 手順1でとりはずした電源コードやバッテリーなどを取り付ける。

10 メモリの容量を確認する。

- ① 本機の電源を入れる。
- ② [スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]→[バイオの設定]にポインタをあわせ、[バイオの設定]をクリックする。
「バイオの設定」画面が表示されます。
- ③ [システム情報]→[システム情報]の順にダブルクリックする。
「システム情報」画面が表示されます。
- ④ 「システム メモリ」の項目を確認する。
メモリ容量が正しくないときは、本機の電源を切って、もう1度正しく取り付けの手順を繰り返してください。

メモリモジュールを取りはずすには

！ご注意

- メモリモジュールを取りはずす前に、本機の電源を切り、約1時間ほどおいてから作業を行ってください。電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをするおそれがあります。
- 本機内部の部品や基板などの角で手や指をけがしないよう注意深く作業してください。
- 本機内部のケーブルに指などを引っかけてははずさないよう注意してください。

メモリモジュールの取り扱いについて

- 静電気でメモリモジュールを破壊しないように、メモリモジュールを取り扱うときは、次のことをお守りください。
 - ー メモリモジュールを取りはずすときは、静電気の起こりやすい場所(カーペットの上など)では作業しないでください。
 - ー 静電気を体から逃がすため、本機の金属部に触れてから作業を始めてください。
ただし、本機内部の金属部には触らないようご注意ください。
- メモリモジュールを保管するときは、静電気防止袋またはアルミホイルで覆ってください。

- 1 本機と周辺機器の電源を切り、電源コードやバッテリー、およびすべての接続ケーブルを取りはずす。

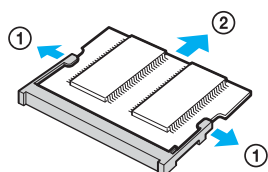
- 2 「メモリモジュールを取り付けるには」の手順2と3を行う。

3 本機の金属部に触れて体の静電気を逃がしてから、メモリモジュールを取りはずす。

ただし、本機内部の金属部には触らないようご注意ください。

① メモリモジュールを固定しているタブを、注意しながら同時に押し広げる。

② メモリモジュールを矢印の方向に引き抜く。



4 「メモリモジュールを取り付けるには」の手順6～8を行う。

5 手順1で取りはずした電源コードやバッテリーなどを取り付ける。

リカバリについて

リカバリとは

本機のハードディスクの内容をお買い上げ時の状態に戻すことを「リカバリ」といいます。
次のような場合などにリカバリを行います。

- コンピュータウイルスに感染し、本機が起動できなくなったとき
- 何らかの原因で本機の動作が不安定になったとき
- 誤ってC:ドライブを初期化してしまったとき

本機は、リカバリディスクを使用しなくても、ハードディスクのリカバリ領域からリカバリすることができます。
また、リカバリディスクを作成することもできます。

ポイント

リカバリ領域とは

リカバリ領域とは、リカバリを行うための「システムリカバリ」と「アプリケーションリカバリ」に必要なデータがおさまられているハードディスク内の領域のことです。

通常のご使用ではリカバリ領域のデータが失われることはありません。しかし、ハードディスクの領域を操作するような特殊な市販のソフトウェアをご使用になり、リカバリ領域のパーティション情報を変更されますと、ハードディスクのリカバリ領域からリカバリできなくなる場合があります。

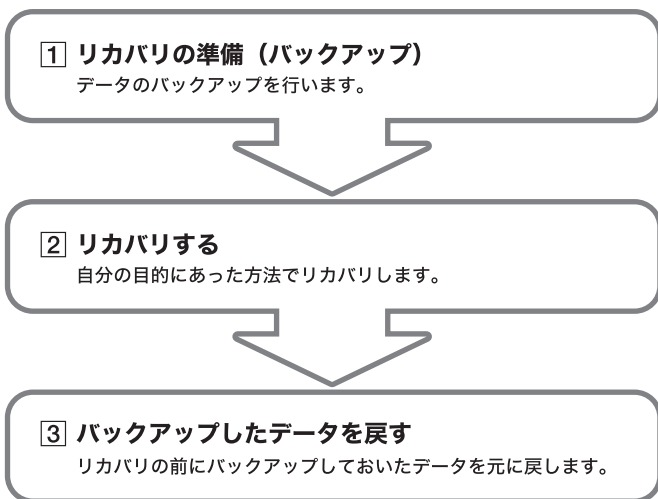
！ご注意

- リカバリで復元できるのは、本機に標準で付属されているソフトウェアのみです（一部のソフトウェアを除く）。ご自分でインストールしたソフトウェアや作成したデータを復元することはできません。また、Windowsだけを復元することもできません。
付属ソフトウェアの一部においては、アプリケーション単独でアンインストールやインストールが行えるものもあります。
ただし、このような操作を行った場合の動作確認は行っておりません。
- パーティションを操作する一部のプログラムをインストールすると、ハードディスクのリカバリ領域を使ってリカバリしたり、リカバリディスクの作成が行えなくなることがあります。
そのような場合に備えて、本機を使用する準備ができたらずぐにリカバリディスクを作成してください。（122ページ）

リカバリの種類／方法

リカバリの流れ

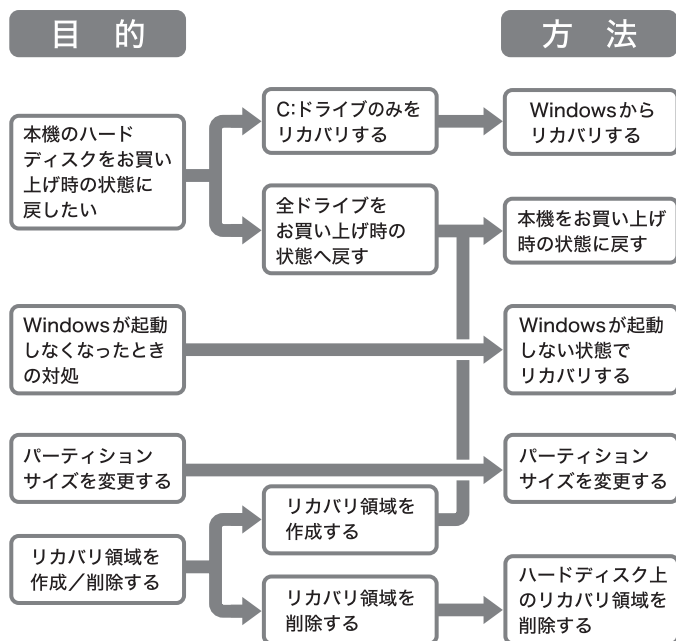
リカバリは、以下の流れに従って行います。



ヒント

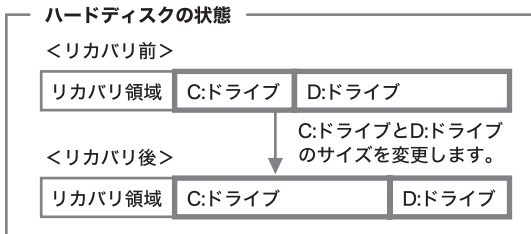
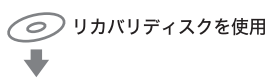
どの方法でリカバリすればいいの？

下記を参照して、ご自分にあった方法でリカバリしてください。

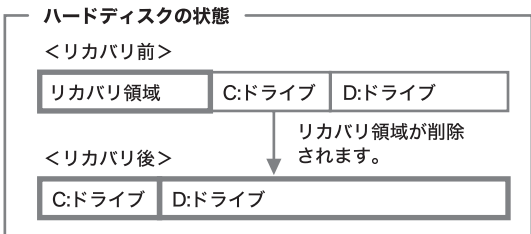


リカバリの種類

リカバリ方法を次の4種類から選択することができます。通常は、「C:ドライブをリカバリする」を行うことをおすすめします。

リカバリの種類	方法	説明
C:ドライブをリカバリする	Windowsからリカバリ Windowsが起動しない状態でリカバリ	C:ドライブにあるすべてのファイルを削除した上で、お買い上げ時の設定を復元します。  ※ C:ドライブのデータは削除されますが、D:ドライブのデータは削除されません。
パーティションサイズを変更してリカバリする	パーティションサイズを変更する	現在あるC:ドライブとD:ドライブのパーティションを削除して、サイズを変更します。その後、ハードディスクをフォーマットした上でお買い上げ時の設定を復元します。  ※ C:ドライブ、D:ドライブ両方のデータが削除されます。
お買い上げ時の状態にリカバリする	本機をお買い上げ時状態に戻す	現在あるC:ドライブとD:ドライブのパーティションを削除し、パーティションの構成をリカバリ領域も含めてお買い上げ時状態に戻します。その後、ハードディスクをフォーマットした上でお買い上げ時の設定を復元します。  ハードディスクの状態 <ハードディスクはすべてお買い上げ時の状態に戻ります> リカバリ領域 C:ドライブ D:ドライブ ※ C:ドライブ、D:ドライブ両方のデータが削除されます。

また、リカバリディスクを使用して、ハードディスクのリカバリ領域を削除することができます。

リカバリの種類	方法	説明
ハードディスク上のリカバリ領域を削除する	ハードディスク上のリカバリ領域を削除する	リカバリ領域を削除して、リカバリ領域が使用していた容量をデータの保存用などに使用できるようにします。  ※ C:ドライブ、D:ドライブ両方のデータが削除されます。

はじめに

本機をセットアップする

インターネットを始める

困ったときは

サービス・サポート

その他

リカバリの準備(バックアップ)

リカバリする前に、データのバックアップを行ってください。

データのバックアップを作成する

本機をリカバリした場合、それ以前にハードディスク上にあったファイルはすべて消えてしまいます。リカバリする前に、大切なデータは必ずバックアップをとってください。バックアップをとるには、次の方法があります。

- フロッピーディスクにコピーする。
- CDなどのディスクにコピーする。
- D:ドライブにデータを残して、リカバリを行う。

本機のハードディスクは、C:ドライブとD:ドライブの2つのパーティションに分かれています。「Windowsからリカバリする」(124ページ)の手順5で「C:ドライブをリカバリする」を選んだ場合、C:ドライブのファイルはすべて消えてしまいますが、D:ドライブにあるファイルは残ります。

ここでは、例として「Outlook Express」ソフトウェアの電子メールのバックアップ方法を紹介します。

- 1 「[スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]にポインタをあわせ[Outlook Express]をクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアが起動します。
「(ダイヤルアップ接続名)へ接続」画面が表示されたときは、[キャンセル]をクリックして画面を閉じてください。

- 2 「[ツール]メニューから[オプション]をクリックする。

「オプション」画面が表示されます。

- 3 「[メンテナンス]タブをクリックして[保存フォルダ]をクリックする。

「保存場所」画面が表示されます。

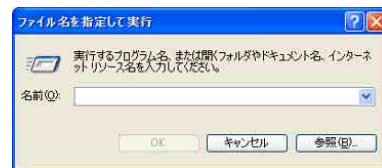


- 4 「個人メッセージストアは下のフォルダに保存されています」に表示されているアドレスにポインタをあわせ、右クリックして表示されるリストから[すべて選択]をクリックする。

- 5 再度、「個人メッセージストアは下のフォルダに保存されています」に表示されているアドレスにポインタをあわせ、右クリックして表示されるリストから[コピー]をクリックする。

- 6 「[スタート]ボタンをクリックして、[ファイル名を指定して実行]をクリックする。

「ファイル名を指定して実行」画面が表示されます。



- 7 「名前」のテキストボックスにポインタをあわせ、右クリックして[貼り付け]をクリックし、[OK]をクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアの電子メールのデータが保存されているフォルダの画面が表示されます。



表示されているファイルの中から、拡張子が「*.dbx」になっているファイルを、すべて外部記憶メディアに保存する。

以上で「Outlook Express」ソフトウェアの電子メールのバックアップ作成は完了です。

ポイント

「SonicStage」ソフトウェアに取り込んだ曲や管理データは、「SonicStage」のバックアップツールを使って必ずバックアップをとってください。バックアップツールについて詳しくは、「SonicStage」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

「SonicStage」ソフトウェアを起動するには、[スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]→[SonicStage]の順にポインタをあわせ、[SonicStage]をクリックします。

注意

ハードディスクのパーティションサイズを変更すると、それ以前にハードディスク上にあったファイルは、C:ドライブだけでなくD:ドライブのものも含めてすべて消えてしまいます。パーティションサイズを変更する前に、大切なデータはCDなどのディスクまたはフロッピーディスクなどに保存するなどして、必ずバックアップをとってください。

リカバリ前に確認してください

- 本機に接続しているすべての周辺機器をはずし、ACアダプタのみを接続してから、作業を行ってください。周辺機器は、リカバリが終わったあとに再び接続してください。
- ご自分で変更された設定は、リカバリ後はすべてお買い上げ時の設定に戻ります。リカバリ後に、もう1度設定し直してください。
- リカバリする際は、必ず「システムリカバリ」と「アプリケーションリカバリ」の両方のリカバリを行ってください。「アプリケーションリカバリ」を行わずにリカバリを完了すると、本機の動作が不安定になる場合があります。
- パスワードを登録している場合、パスワードを忘れるとリカバリができなくなります。パスワードは必ずメモを取るなどして、忘れないようにしてください。万一パスワードを忘れてしまったときは、修理(有償)が必要となります。VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。
詳しくは「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。
([バイオの使いかた]→「機能/設定」の[電源/起動]→[起動時の設定]→[パワーオン・パスワードを設定する]の順にクリックする。)

バックアップしたデータを戻す

リカバリが完了したら、リカバリを行う前にバックアップを取っておいたデータを元に戻し、変更していた設定などがあれば、それもリカバリ前の状態に戻します。

ここでは、例として「Outlook Express」ソフトウェアの電子メールデータの戻しかたを紹介します。

1

[スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]にポインタをあわせ [Outlook Express]をクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアが起動します。
「(ダイヤルアップ接続名)へ接続」画面が表示されたときは、[キャンセル]をクリックして画面を閉じてください。

2

[ファイル]メニューから[インポート]→[メッセージ]の順にクリックする。

「Outlook Express インポート」画面が表示されます。

3

「インポート元の電子メールプログラムを選択してください」から、[Microsoft Outlook Express 6]をクリックして[次へ]をクリックする。



「場所の指定」画面が表示されます。

4

[Outlook Express 6ストアディレクトリからメールをインポートする]を選んでクリックし、[OK]をクリックする。

「メッセージの場所」画面が表示されます。

- 5** [参照]をクリックすると「フォルダの参照」画面が表示されるので、電子メールのデータが保存されているフォルダを選択して[OK]をクリックし、[次へ]をクリックする。

「フォルダの選択」画面が表示されます。

- 6** [すべてのフォルダ]を選んでクリックし、[次へ]をクリックする。

「インポートの完了」画面が表示されます。

- 7** [完了]をクリックする。

以上で、電子メールのデータが元の状態に戻ります。

リカバリディスクを作成する

リカバリに使用するディスクについて

リカバリでは、リカバリディスクを使用する場合があります。リカバリディスクは本機に付属していないため、お買い上げ後すぐに作成してください。

入手方法	使用目的
ご自分で作成	- ハードディスクのリカバリ領域を使用しないでリカバリする。 - ハードディスクのリカバリ領域を作成／削除する。
ご購入(下記参照)	

リカバリディスクのご提供について(有償)

VAIOカスタマーリンクでは、リカバリディスクを有償にてご提供するサービスを行っています。
VAIOカスタマーリンクが別途指定する Web ページ「マイサポーター」からお申し込みいただけます。詳しくは下記のホームページをご覧ください。
<http://vcl.vaio.sony.co.jp/cdromss/rdisc.html>
* ご購入には VAIO カスタマー登録(34 ページ)が必要です。

！ご注意

本機で作成したリカバリディスクは本機でのみ使用できます。他の製品には使用できません。

リカバリディスクを作成するには

リカバリディスクとは、本機をリカバリするための情報をDVD-RやCD-Rなどのディスクに書き出したものです。「VAIO リカバリユーティリティ」を使うと、リカバリディスクが作成できます。リカバリディスクを用意しておくと、本機のハードディスク上のリカバリ領域を使わなくても、リカバリすることができます。ハードディスクが破損したときや、リカバリ領域を削除してより大きなハードディスク容量を確保したいときに使用します。万一の場合に備えて、本機を使用する準備ができたなら、はじめに、以下の手順に従ってリカバリディスクを作成してください。

！ご注意

下記のような操作を行った場合などに、ハードディスクのリカバリ領域の情報を書き換えてしまい、ハードディスクのリカバリ領域からリカバリができなくなることがあります。

- パーティションを操作するソフトウェアを使用する
- お買い上げ時以外のOSをインストールする
- VAIO リカバリユーティリティを使用しないでハードディスクをフォーマットする

このような場合は、お客様が作成したリカバリディスクによるリカバリが必要となりますが、リカバリディスクを作成していないと、リカバリディスクを購入したり、有償による修理が必要となりますので、事前にリカバリディスクを作成することをお勧めします。本機を使用する準備ができましたら、はじめに、以下の手順に従ってリカバリディスクを作成してください。

リカバリディスクとは

ハードディスクリカバリに対応した「バイオ」をリカバリする機能をもったディスクです。

！ご注意

リカバリディスクを作成するときには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限を持つユーザーとしてログインする必要があります。

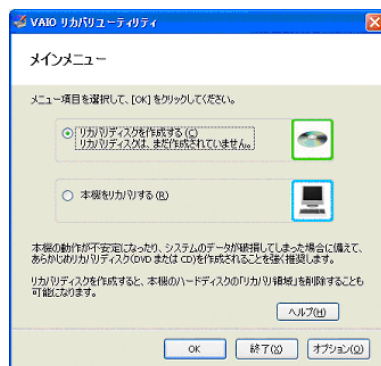
1

[スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[VAIO リカバリツール]の順にポインタをあわせ、[VAIO リカバリユーティリティ]をクリックする。

「メインメニュー」画面が表示されます。

2

[リカバリディスクを作成する]を選択でクリックし、[OK]をクリックする。



3

「リカバリディスク作成ウィザード」画面が表示されるので、内容をよく読んでから[次へ]をクリックする。

「ディスクの確認」画面が表示されます。CD-RW/DVDドライブ搭載モデルをお使いの場合は、手順5へ進んでください。

4

使用するディスクを選択する。

リカバリディスク作成用にDVD+R、DVD-RまたはCD-Rのいずれかが必要となります。必要なディスクの枚数は、「ディスクの確認」画面で確認できます。

！ご注意

DVD+RW、DVD-RWまたはCD-RWはリカバリディスク作成用のディスクとしてお使いになれませんのでご注意ください。

5

[次へ]をクリックする。

「リカバリディスクの作成」画面が表示されます。

6

[作成開始]をクリックする。

未使用ディスクの挿入を促すメッセージが表示され、リカバリディスクの作成が始まります。

ヒント

リカバリディスクの作成が2回目以降の場合は、ここでリカバリディスクを選択し、希望するリカバリディスクのみ作成することができます。

7 指示されたディスクをドライブに挿入し[OK]をクリックする。

「リカバリディスクの作成」画面に現在の作成状況が表示されます。

画面の指示に従って操作してください。

ディスクへの書き込みが完了すると、ドライブからトレイが自動的に引き出されます。

8 ディスク作成完了のメッセージが表示されるので、画面の指示に従って、ディスク名を油性のフェルトペンなどでディスクのレーベル面(データが記録されていない面)に書き込み、[OK]をクリックする。

はじめてリカバリディスクを作成しているときは、すべてのリカバリディスクを作成するまで手順7、8を繰り返します。

リカバリディスクの作成がすべて完了すると、リカバリディスク作成が終了したメッセージが表示されます。

！ご注意

ディスク名を書き込むときに、ボールペンを使用しないでください。

9 [OK]をクリックする。

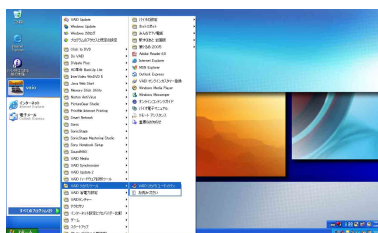
これでリカバリディスクの作成は終了です。

リカバリする

Windowsからリカバリする

Windowsからリカバリするには、以下の手順で操作します。Windowsが起動しない場合には「Windowsが起動しない状態でリカバリする」(127ページ)をご覧ください。

1 [スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]→[VAIO リカバリツール]の順にポインタを合わせ、[VAIO リカバリユーティリティ]をクリックする。

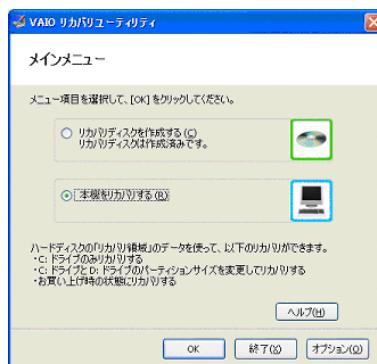


「メインメニュー」画面が表示されます。

ヒント

「リカバリ領域が削除されています」画面が表示された場合は、「本機をお買い上げ時状態に戻す」(127ページ)をご覧ください。

2 [本機をリカバリする]を選んでクリックし、[OK]をクリックする。



「リカバリウィザード」画面が表示されます。

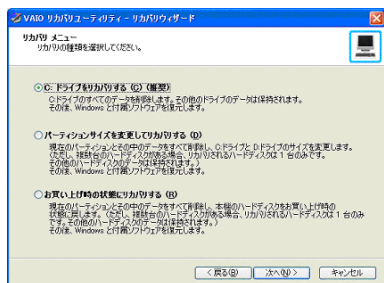
3 内容をよく読んでから、[次へ]をクリックする。

「リカバリについてのご注意」画面が表示されます。

4 引き続き内容をよく読んでから、[次へ]をクリックする。

「リカバリ メニュー」画面が表示されます。

5 [C: ドライブをリカバリする]を選んでクリックし、[次へ]をクリックする。



「リカバリ設定の確認」画面が表示されます。

6 表示された内容をよく読んでから、[リカバリ開始]をクリックする。

リカバリ開始確認画面が表示されます。

7 [はい]をクリックする。

「リカバリ実行中」画面が表示され、リカバリ作業が自動的に開始されます。

リカバリを中止するときは、リカバリ開始確認画面で[いいえ]をクリックし、続いて「リカバリ設定の確認」画面で[キャンセル]をクリックします。

ポイント

リカバリ作業には、数十分かかる場合があります。

8 「「システムリカバリ」が完了しました。」と表示されたら[OK]をクリックする。

「リカバリ実行中」画面が表示されます。

9 [再起動]をクリックする。

本機が再起動します。

！ご注意

- Windowsのロゴの画面が表示されてから、「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されるまでにしばらく時間がかかります。そのままお待ちください。途中で電源を切るなどの操作を行うと、本機の故障の原因となります。
- 必ず画面の指示に従って操作してください。

10 「Windowsを準備する」(31ページ)の手順に従って、Windowsのセットアップを行う。

11 「「アプリケーションリカバリ」を行います」画面が表示されたら、[OK]をクリックする。

自動的にアプリケーションソフトウェアのリカバリが始まります。

リカバリ実行中、ディスクを入れ替えるメッセージが表示された場合は、指示に従って操作してください。

Office Personal 2003またはOffice Professional Enterprise 2003がブレインストールされていないモデルをお使いの場合は、アプリケーションソフトウェアのリカバリが終わるとメッセージが表示されるので、[OK]をクリックして本機を再起動してください。

Office Personal 2003またはOffice Professional Enterprise 2003ブレインストールモデルをお使いの場合は引き続き、次の手順を行ってください。

12 インストール開始画面が表示されるので、Office Personal 2003 または Office Professional Enterprise 2003をインストールする。

次の手順で、画面の指示に従ってインストールしてください。詳しくは、パッケージに付属の「スタート ガイド」をご覧ください。

- ① Office Personal 2003 CDまたはOffice Professional Enterprise 2003 CDをドライブに入れ、画面の指示に従って操作する。
- ② 「インストールの種類」画面が表示されたら、「完全インストール」の○をクリックして●にし、[次へ]をクリックする。

③「ファイルの概要」画面が表示されたら、[完了]をクリックする。
インストールが始まります。

④「セットアップの完了」画面が表示されたら、[完了]をクリックする。
Office Personal 2003またはOffice Professional Enterprise 2003のインストールが完了しました。

Webサイトでの更新および追加ダウンロードについて

[Web サイトで更新および追加ダウンロードをチェックする]のチェックボックスをオフにした場合でも、インストール完了後に次の操作を行うと、追加コンポーネントまたはセキュリティ問題の修正プログラムをオンラインで利用できます。オンラインで利用する場合は、インターネットに接続している必要があります。

① Office Personal 2003またはOffice Professional Enterprise 2003のいずれかのソフトウェアを起動し、「ヘルプ」メニューの[更新のチェック]をクリックする。

② Webサイトが表示されたら、ページの左側にある[ダウンロード]が選択されていることを確認する。

③ 必要なOffice Personal 2003またはOffice Professional Enterprise 2003のアップデートを行う。

Office Professional Enterprise 2003プレインストールモデルをお使いの場合は、手順14に進んでください。

13 「Office Personal 2003 プレインストールパッケージ」でMicrosoft (R) Office Home Style+をインストールする。

次の手順で、画面の指示に従ってインストールしてください。詳しくは、パッケージに付属の「スタート ガイド」をご覧ください。

① Office Home Style+ CDをドライブに入れ、画面の指示に従って操作する。

②「セットアップ先のフォルダ」画面が表示されたら、[次へ]をクリックする。

③「インストール タイプ選択」画面が表示されたら、[標準]の○をクリックして●にし、[次へ]をクリックする。

④「インストールの開始」画面が表示されたら、[次へ]をクリックする。
インストールが始まります。

⑤「Microsoft Office Home Style+ のインストールが正常に終了しました。」というメッセージが表示されたら、[OK]をクリックする。

⑥「Microsoft .NET Framework 1.1 パッケージをインストールしますか？」画面が表示されたら、[いいえ]をクリックする。
Office Home Style+のインストールが完了しました。

14 インストール開始画面の[OK]をクリックする。

引き続き、自動的に残りのアプリケーションソフトウェアのセットアップが始まります。

15 アプリケーションソフトウェアのリカバリが終わるとメッセージが表示されるので、[OK]をクリックして本機を再起動する。

16 Office Personal 2003またはOffice Professional Enterprise 2003のライセンス認証を行う。

次のいずれかの方法で「ライセンス認証ウィザード」を起動して、ライセンス認証を行ってください。
また、手続きの方法はインターネット経由と電話の2種類が用意されています。詳しくは、パッケージに付属の「スタート ガイド」をご覧ください。

- Office Personal 2003またはOffice Professional Enterprise 2003のいずれかのソフトウェアを起動する。

- Office Personal 2003またはOffice Professional Enterprise 2003のいずれかのソフトウェアの「ヘルプ」メニューの[ライセンス認証]をクリックする。

なお、ライセンス認証については、次の専用窓口にお問い合わせください。

ライセンス認証専用窓口

電話番号：(0120)801-734 受付時間：24時間受付

インターネット経由で手続きを行う場合は、この手順を行う前にインターネットに接続するための準備を済ませておく必要があります。
インターネット接続について詳しくは、「インターネットを始める」(42ページ)をご覧ください。

Windowsが起動しない状態でリカバリする

Windowsが完全に起動しないときは、以下の手順に従って本機をリカバリします。

また、リカバリディスクを作成している場合には、リカバリディスクを使用してリカバリを開始できます。(122ページ)

1 〇(パワー)ボタンを押して本機の電源を入れる。

2 VAIOのロゴマークが表示されたらF10キーを押す。

「リカバリウィザード」画面が表示されます。

ポイント

リカバリディスクでも「リカバリウィザード」を起動させることができます。本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリディスクを入れて電源を切り(30ページ)、再び電源を入れてください。

！ご注意

「リカバリウィザード」画面が表示されない場合は、再び手順1からやり直してください。

何度やり直しても「リカバリウィザード」画面が表示されない場合は、「本機をお買い上げ時状態に戻す」をご覧ください。

3 内容をよく読んでから、[次へ]をクリックする。

4 「Windowsからリカバリする」(124ページ)の手順4以降の操作を行う。

本機をお買い上げ時状態に戻す

本機のすべてのハードディスクの内容をお買い上げ時の状態に戻すには、以下の手順に従って操作します。リカバリ領域を復元したい場合や、パーティションの構成をもとに戻したい場合も、この手順を行ってください。

！ご注意

この操作を行うと、それ以前にハードディスク上にあったデータは、C:ドライブだけでなくD:ドライブのものも含めてすべて消えてしまいます。お買い上げ時状態に戻す前に、大切なデータはCDなどのディスクまたはフロッピーディスクなどに保存するなどして、必ずバックアップをとってください。

1 本機の電源が入っている状態で、リカバリディスクをドライブに入れる。

2 [スタート]ボタン→[終了オプション]の順にクリックして「コンピュータの電源を切る」画面を表示し、[電源を切る]をクリックして本機の電源を切る。

3 30秒ほど待ってから 〇(パワー)ボタンを押して本機の電源を入れる。

VAIOのロゴマークが表示されたあと、リカバリディスクから本機が起動し、「リカバリウィザード」画面が表示されます(起動には数分かかる場合があります)。

！ご注意

「リカバリウィザード」画面が表示されない場合は再び手順2からやり直してください。

4 内容をよく読んでから、[次へ]をクリックする。

「リカバリについてのご注意」画面が表示されます。

5 引き続き内容をよく読んでから、[次へ]をクリックする。

「リカバリ メニュー」画面が表示されます。

6 [お買い上げ時の状態にリカバリする]を選んでクリックし、[次へ]をクリックする。

「リカバリ設定の確認」画面が表示されます。

はじめに

本機をセッティングする

インターネットを始める

困ったときは

サービス・サポート

その他

7 [はい]をクリックする。

「リカバリ実行中」画面が表示され、リカバリ作業が自動的に開始されます。

リカバリを中止するときは、リカバリ開始確認画面で[いいえ]をクリックし、続いて「リカバリ設定の確認」画面で[キャンセル]をクリックします。

8 表示された画面の指示に従ってリカバリディスクを取り出し、[OK]をクリックする。

本機が自動的に再起動します。

9 表示された画面の指示に従ってリカバリディスクをドライブに入れ、[OK]をクリックする。

引き続きリカバリ作業が行われます。

リカバリ実行中に、ディスクを取り出す、または入れ替えるメッセージが表示された場合は、指示に従って操作してください。

ヒント

リカバリ作業には、数十分かかる場合があります。

10 「システムリカバリ」が完了しました。」と表示されたら画面の指示に従ってディスクを取り出し、[OK]をクリックする。

「リカバリ実行中」画面が表示されます。

11 「Windowsからリカバリする」(124ページ)の手順9以降の操作を行う。

パーティションサイズを変更する

パーティションとは

ハードディスクの領域を分割することです。分割することで、1台のハードディスクが複数台のハードディスクと同じように使えるため、ファイルや、ソフトウェアの格納場所を分けるといったような使い分けができます。本機のハードディスクはC:ドライブとD:ドライブの2つのパーティションに分かれており、D:ドライブは、動画などの容量が大きいデータを保存したり、操作したりするための領域(データスペース)として使えるように設定されています(お買い上げ時)。

本機はリカバリ機能を使ってC:ドライブとD:ドライブのパーティションサイズを変更できます。

より多くのハードディスク容量が必要な場合は、リカバリ領域を削除することができます。(129ページ)

動画の取り込みや書き出しを行う場合は大容量のデータを高速で読み書きするため、ハードディスクの断片化が起こることがあります。ハードディスクの断片化はフレーム落ちの原因となるため、データスペースとしてお使いになるパーティションは、ハードディスクの空き容量が常に連続になるよう、最適化(デフラグ)またはフォーマットを行ってください。

パーティションを区切ると、WindowsはC:ドライブにインストールされます。C:ドライブを最適化するには非常に時間がかかる場合がありますので、D:ドライブをデータスペースとしてお使いになることをおすすめします。

ヒント

断片化とは

「フラグメンテーション」とも言います。ディスクに記録するファイルが連続した領域に収まらずに、あちこちに散らばって記録された状態のことです。通常は大きな問題になりませんが、データの記録や読み出しに時間がかかるなどの症状があらわれます。長期間にわたって断片化を放置すると、断片化した場所が大きくなり、エラーが頻発する原因になることもあります。

デフラグ(最適化)とは

ディスク中の断片化したデータをきれいにまとめることです。デフラグ(最適化)により、データの読み出しや書き込みが速くなったり、エラーが起きる可能性が低くなったりします。

パーティションサイズを変更するには

以下の手順に従ってパーティションサイズを変更します。

！ご注意

この操作を行うと、それ以前にハードディスク上にあったファイルはC:ドライブだけでなくD:ドライブのものも含めてすべて消えてしまいます。パーティションサイズを変更する前に、大切なデータはCDなどのディスクまたはフロッピーディスクなどに保存するなどして、必ずバックアップをとってください。

ポイント

「SonicStage」ソフトウェアに取り込んだ曲や管理データは、「SonicStage」のバックアップツールを使って必ずバックアップをとってください。バックアップツールについて詳しくは、「SonicStage」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

「SonicStage」ソフトウェアを起動するには、[スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]→[SonicStage]の順にポインタをあわせ、[SonicStage]をクリックします。

1 「Windowsからリカバリする」(124ページ)の手順1～4を行う。

「リカバリ メニュー」画面が表示されます。

2 [パーティションサイズを変更してリカバリする]を選んでクリックし、[次へ]をクリックする。

「パーティションサイズの設定」画面が表示されます。ここで現在のパーティションサイズを確認できます。

3 C:ドライブのパーティションサイズをドロップダウンリストから指定し、[次へ]をクリックする。



「リカバリ設定の確認」画面が表示されます。

4 表示された内容をよく読んでから、[リカバリ開始]をクリックする。

リカバリ開始確認画面が表示されます。

5 「Windowsからリカバリする」(124ページ)の手順7以降の操作を行う。

ハードディスク上のリカバリ領域を削除する

以下の手順でリカバリディスクを使ってハードディスク上のリカバリ領域を削除できます。

！ご注意

- リカバリディスクを作成していない場合は、「リカバリディスクを作成する」(122ページ)の手順に従ってリカバリディスクを作成してください。
- リカバリ領域を削除した場合、ハードディスクからリカバリできなくなります。リカバリ領域を削除した後、リカバリするためには、リカバリディスクでリカバリするか、「本機をお買い上げ時状態に戻す」(127ページ)の手順に従いリカバリ領域を作成してから行ってください。
- この操作を行うと、それ以前にハードディスク上にあったファイルは、C:ドライブだけではなくD:ドライブのものも含めてすべて消えてしまいます。リカバリ領域を削除する前に、大切なデータはCDなどのディスクまたはフロッピーディスクなどに保存するなどして、必ずバックアップをとってください。

1 本機の電源が入っている状態で、リカバリディスクをドライブに入れる。

2 [スタート]ボタン→[終了オプション]の順にクリックして「コンピュータの電源を切る」画面を表示し、[電源を切る]をクリックして本機の電源を切る。

3 30秒ほど待ってから⏻(パワー)ボタンを押して本機の電源を入れる。

「リカバリウィザード」画面が表示されます。

！ご注意

「リカバリウィザード」画面が表示されない場合は再び手順2からやり直してください。

はじめに

本機をセットアップする

インターネットを始める

困ったときは

サービス・サポート

その他

4 内容をよく読んでから、[次へ]をクリックする。

「リカバリについてのご注意」画面が表示されます。

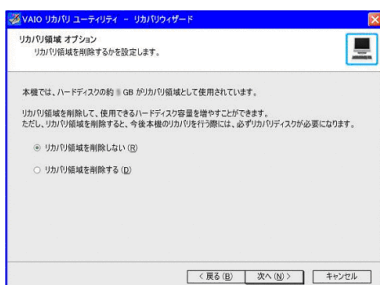
5 引き続き内容をよく読んでから、[次へ]をクリックする。

「リカバリ メニュー」画面が表示されます。

6 [パーティションサイズを変更してリカバリする]を選んでクリックし、[次へ]をクリックする。

「リカバリ領域 オプション」画面が表示されます。

7 [リカバリ領域を削除する]を選んでクリックし、[次へ]をクリックする。



「実行確認」画面が表示されます。

8 [はい]をクリックする。

「パーティションサイズの設定」画面が表示されます。

9 引き続き内容をよく読んでから、[次へ]をクリックする。

リカバリ開始確認画面が表示されます。

10 「Windowsからリカバリする」(124ページ)の手順7以降の操作を行う。

使用上の ご注意

本機の取り扱いについて

- 本機に手やひじをつくなどして力を加えないでください。
- 衝撃を加えたり、落としたりしないでください。記録したデータが消失したり、本機の故障の原因となります。
- 炎天下や窓をしめきった自動車内など、異常な高温になる場所には置かないでください。本機が変形し、故障の原因となることがあります。
- クリップなどの金属物を本機の中に入れないでください。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- キーボードの上に物を置いたり落としたりしないでください。また、キーボードを故意にはずさないでください。キーボードの故障の原因となります。
- 本機は精密機器であるため、ほこりの多い場所では使用しないでください。故障の原因となることがあります。
- 湿気が多い場所では使用しないでください。

液晶ディスプレイについて

- 画面上に常時点灯している輝点（赤、青、緑など）や滅点がある場合があります。液晶パネルは非常に精密な技術で作られておりますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素があります。また、見る角度によってすじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。
- キーボードの上にボールペンなどを置いたまま、液晶ディスプレイを閉じないでください。

結露について

結露とは空気中の水分が金属の板などに付着し、水滴となる現象です。本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が生じることがあります。

そのままご使用になると故障の原因となります。

結露が生じたときは、水滴をよく拭き取ってください。水滴を拭き取るときは、ティッシュペーパーをお使いになることをおすすめします。管面または液晶面が冷えているときは、水滴を拭き取っても、また結露が生じてしまいます。全体が室温に温まって結露が生じなくなるまで、電源を入れずに約1時間放置してください。

ハードディスクの取り扱いについて

本機には、ハードディスク（アプリケーションやデータなどを保存するための記憶装置）が内蔵されています。

何らかの原因でハードディスクが故障した場合、データの修復はできませんので、記憶したデータを失ってしまうことのないよう、次の点に特にご注意ください。

- 衝撃を与えないでください。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- 電源を入れたまま、本機を動かさないでください。
- データの書き込み中や読み込み中は、電源を切ったり再起動したりしないでください。
- 急激な温度変化（毎時10℃以上の変化）のある場所では使用しないでください。
- テレビやスピーカー、磁石、磁気プレスレットなどの磁気を帯びたものを本機に近づけないでください。
- ハードディスクドライブを取りはずさないでください。

ハードディスクのバックアップについて

ハードディスクは非常に多くのデータを保存することができますが、その反面、ひとたび事故で故障すると多量のデータが失われ、取り返しのつかないことになります。万一のためにも、ハードディスクの内容は定期的にバックアップを取ることをおすすめします。

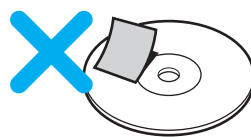
ハードディスクのバックアップ、バックアップの内容の戻しかたについて詳しくは、Windowsのヘルプをお読みください。

データの損失については、一切責任を負いかねます。

CDやDVDなどのディスクの取り扱いについて

ディスクに記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- 紙などを貼ったり、傷つけたりしないでください。



- ラベルを貼付したディスクをお使いの場合、ラベルの端が浮いていたり、粘着力が弱いと、本体内部にラベルが貼り付いて、本機の故障の原因となることがあります。ラベルが正しく貼られていることを確認してからディスクをお使いください。ラベルの貼付に起因する不具合やメディアの損失については、弊社では責任を負いかねます。ご使用になるラベル作成ソフトウェアやラベル用紙の注意書きをよくお読みになり、お客様の責任においてご使用ください。

はじめに

本機をセットアップ
する

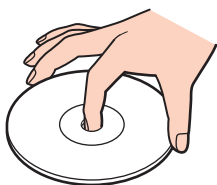
インターネットを
始める

困ったときは

サービス・サポート

その他

- 外縁を支えるようにして持ち、記録面(再生面)に触れないようにしてください。記録面が汚れると、データの読み込み、書き込みができなくなります。

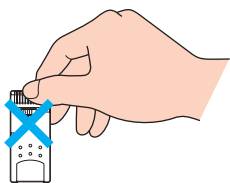


- ほこりやちりの多いところ、直射日光の当たるところ、暖房器具の近く、湿気の多いところには保管しないでください。
- 直射日光が当たって高温になった自動車の中に長時間放置しないでください。
- 液体をこぼさないでください。
- 大切なデータを守るため、ディスクは必ずケースなどに入れて保管してください。
- ディスクのレーベル面に文字などを書くときは、油性のフェルトペンをお使いください。ボールペンなどで文字を書くと、記録面を傷つけ、データの読み込みや書き込みができなくなることがあります。
- ドライブの動作中は本機を移動しないでください。移動時に衝撃を与えると、ディスクを傷つけるおそれがあります。
- ディスクを出し入れするときは、トレイに無理に力を加えないようご注意ください。

“メモリスティック”の取り扱いについて

“メモリスティック”に記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- 端子部には手や金属で触れないでください。



- ラベル貼り付け部には専用ラベル以外は貼らないでください。
- ラベルを貼るときは、所定のラベル貼り付け部からはみ出さないように貼ってください。
- 持ち運びや保管の際は、“メモリスティック”を付属の収納ケースに入れてください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 次のような場所でのご使用や保管は避けてください。
 - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
 - 直射日光のあたる場所
 - 湿気の多い場所や腐食性のある場所

“メモリスティック デュオ” 使用上のご注意

- メモリスティック デュオ アダプターに“メモリスティック デュオ”が装着されていない状態で、本機に挿入しないでください。このような使いかたをすると、機器に不具合が生じることがあります。
- “メモリスティック デュオ”のメモエリアに書き込むときは、あまり強い圧力をかけないでください。

“マジックゲートメモリスティック” 使用上のご注意

本機のメモリスティックスロット(24ページ)は、“マジックゲートメモリスティック”に記録した音楽ファイルなど、著作権保護されたファイルの取り扱いには対応していません。

エキスプローラなどでそれらのファイルやディレクトリを操作した場合、ファイルが無効となり、使えなくなる場合があります。

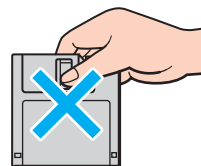
著作権保護されているファイルの操作を行う場合は、メモリスティックウォークマンなどの“マジックゲートメモリスティック”に対応した機器と、「SonicStage」ソフトウェアなどの著作権保護されたファイルに対応したソフトウェアをご使用ください。

著作権保護されているファイルの操作を行う場合は、本機のメモリスティックスロットは使用しないでください。

フロッピーディスクの 取り扱いについて

フロッピーディスクに記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- テレビやスピーカー、磁石などの磁気を帯びたものに近づけないでください。記録されているデータが消えてしまうことがあります。
- 直射日光のあたる場所や、暖房器具の近くに放置しないでください。フロッピーディスクが変形し、使用できなくなります。
- 手でシャッターを開けてディスクの表面に触れないでください。表面の汚れや傷により、データの読み書きができなくなることがあります。



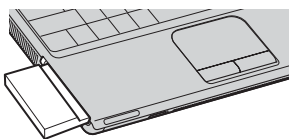
- 液体をこぼさないでください。
- 大切なデータを守るため、フロッピーディスクドライブから取り出して、必ずケースなどに入れて保管してください。
- ラベルが正しく貼られているか確認してください。ラベルがめくれている、浮いていると、本体内部にラベルが貼り付いて本機の故障の原因となったり、大切なディスクにダメージを与えることがあります。

ワイヤレス機能の取り扱いについて

- 本機のワイヤレスLAN機能は、日本国内のみでお使いください。海外でご使用になると罰せられることがあります。
- ワイヤレスLAN対応機器が使用する2.4 GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。そのためワイヤレスLAN対応機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 通信速度は、通信機器間の距離や障害物、機器構成、電波状況、使用するソフトウェアなどにより変化します。また、電波環境により通信が切断される場合があります。
- 通信機器間の距離は、実際の通信機器間の障害物や電波状況、壁の有無・素材など周囲の環境、使用するソフトウェアなどにより変化します。
- IEEE802.11gは、IEEE802.11b製品との混在環境において、干渉を受けることにより通信速度が低下することがあります。また、自動的に通信速度を落としてIEEE802.11b製品との互換性を保つしくみになっています。アクセスポイントのチャンネル設定を変更することにより通信速度が改善する場合があります。
- 14チャンネルに対する規制が他チャンネルと異なるため、14チャンネルは、IEEE802.11bモードで動作します。14チャンネルは送信時最大2 Mbpsまでの仕様になっています。
- 緊急でワイヤレス機能を停止させる必要がある場合には、WIRELESSスイッチを「OFF」にあらせてください。

PCカードの取り扱いについて

- じゅうたんの上など、静電気の発生しやすいところに放置しないでください。静電気の影響でカードの部品が壊れてしまうことがあります。
- コネクタ部には手や金属で触れないでください。
- カード内部には精密な電子部品があります。落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- カードを水でぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
 - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
 - 直射日光のあたる場所
 - 湿気の多い場所や腐食性のある場所
 - ほこりの多い場所
- PCカードスロットからはみ出すPCカード（PHSカードなど）を挿入してお使いの場合は、次の点にご注意ください。



- PCカードを挿入した状態で、本機を移動しないでください。移動時にPCカードに強い衝撃を与えると、本機が破損するおそれがあります。
- PCカード部分を持って本機を持ち上げるなど、PCカードに力を加えると、本機が破損するおそれがあります。
- PCカードを挿入した状態で、本機をカバンやキャリングケースなどの中へ入れないでください。PCカードに予期せぬ力が加わり、本機が破損するおそれがあります。

ACアダプタについてのご注意

- AC電源をつながない状態で本機の電源を入れたまま、または本機がスタンバイのときにバッテリーを取りはずすと、作業中の状態や保存されていないデータは失われます。
- 安全のために、本機に付属または指定された別売りのACアダプタをご使用ください。
- ACアダプタを海外旅行者用の「電子式変圧器」などに接続しないでください。発熱や故障の原因となります。
- ケーブルが断線したアダプタは危険ですので、そのまま使用しないでください。

バッテリーについてのご注意

バッテリーについて

- 付属のバッテリーは本機専用です。
- 安全のために、本機に付属または指定された別売りのバッテリーをご使用ください。
- AC電源につないでいるときは、バッテリーを装着しているときでも、AC電源から電源が供給されます。
- AC電源をつながない状態で本機の電源を入れたまま、または本機がスタンバイのときにバッテリーを取りはずすと、作業中の状態や保存されていないデータは失われます。必ず、本機の電源を切ってから取りはずしてください。

はじめてバッテリーをお使いになるときは

付属のバッテリーは完全には充電されていないため、はじめてお使いになるときからバッテリーが消耗している状態になっていることがあります。

はじめに

本機をセットアップする

インターネットを始める

困ったときは

サービス・サポート

その他

バッテリーの充電について

バッテリーは充電後、使用していない場合でも、少量ずつ自然に放電するため、長時間放置した場合、使用可能時間が短くなる場合があります。

使用前には、再度、充電することをおすすめします。

また、充電回数、使用時間、保存期間に伴い少しずつ性能が劣化していきます。

このため、十分に充電を行っても使用可能時間が短くなったり、寿命で使えなくなることがあります。

この場合には、新しいバッテリーをお買い求めください。

省電力動作モードでお使いのときは

スタンバイ時にバッテリーが消耗すると、スタンバイに移行する前の作業状態や保存していないデータが失われてしまい、元の状態に復帰できなくなります。スタンバイに移行させる前には、必ず作業中のデータを保存してください。

なお休止状態では、作業状態や作業中のデータをハードディスクに保存しますので、バッテリーが消耗してもデータがなくなることはありません。長時間ACアダプタを使わない場合は、休止状態へ移行させるようにしてください。

バッテリーの残量が少ないときは

本機は、通常モード時にバッテリーの残量がわずかになると、自動的に休止状態になるようお買い上げ時に設定されていますが、ご使用中のソフトウェアや接続している周辺機器によっては、Windowsからの指示で作業を一時中断することができないため、この機能が正しく働かないことがあります。

長時間席をはずすときなどにバッテリーが消耗した場合、自動的に休止状態にならないと、本機の電源が切れて作業中のデータが失われてしまうおそれがあります。

バッテリーでご使用のときは、こまめにデータを保存したり、手動で休止状態にしてください。

ソフトウェアと周辺機器の動作について

一般的にWindows XP用、DOS/V用などと表記している市販ソフトウェアや周辺機器の中には、本機で使用できないものがあります。ご購入に際しては、販売店または各ソフトウェアおよび周辺機器の販売元にご確認ください。

市販ソフトウェアおよび周辺機器を使用された場合の不具合や、その結果生じた損失については、一切責任を負いかねます。また、本機に付属のOS以外をインストールした場合の動作保証はいたしかねます。

ソフトウェアの不正コピー禁止について

本機に付属のソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティ契約のもとに供給されています。これらのソフトウェアを不正にコピーすることは法律で禁止されています。

また、店頭で購入したソフトウェアを人に貸したり、人からソフトウェアを借りてコピーして使うことは禁じられています。ソフトウェアの使用許諾書をよくお読みのうえ、お使いください。

ドライブの地域番号書き替えについて

お買い上げ時は、本機のドライブの地域番号(リージョンコード)は「2」(日本)に設定されています。

一部のソフトウェアには地域番号を書き替える機能がありますが、ご使用にならないでください。これらの機能を使用した結果生じた不具合につきましては、保証期間内であっても、有償修理とさせていただきます。

CD再生／録音についてのご注意

本機は、コンパクトディスク(CD)規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本機で再生・録音できない場合があります。

録画／録音についてのご注意

- 録画内容の補償はできません。必ず、事前に試し撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。
- 万が一、機器やソフトウェアなどの不具合により録画・録音がされなかった場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

お手入れ

本機のお手入れ

- ゴミやほこりなどは、乾いた布で軽く拭き取ってください。
- 液晶ディスプレイは、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。汚れてきたと思ったら、こまめに拭くように心がけてください。
- キーボード(キートップ)の隙間に落ちたゴミやほこりなどは、精密機器専用のブロワーなどを使って吹き飛ばしてください。キートップは、故意にはずさないでください。また、家庭用掃除機などで吸引すると、故障の原因となります。

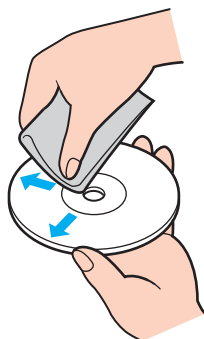
!!ご注意

- 汚れを落とすときは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れが落ちにくいときは、息をかけながら乾いた布で拭き取るか、水で少し湿らせた布で軽く拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- ベンジン、アセトン、アルコールやシンナーなどは、表面の仕上げを傷めますので使わないでください。化学そうきんをお使いになるときは、その注意書きに従ってください。

CDやDVDなどのディスクのお手入れ

DVD-ROM、CD-ROMディスクのお手入れ

- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、読みとりエラーの原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でディスクの中心から外の方へ軽く拭きます。



- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた布で拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- ベンジンやシンナー、レコードクリーナー、静電気防止剤などはディスクを傷めることがありますので、使用しないでください。

書き込みのできるCDやDVDディスクのお手入れ

- 未記録部分に傷やほこりがあると、正しいデータが記録できないことがあります。取り扱いには充分ご注意ください。
- ベンジンやシンナー、クリーナー、静電気防止剤などはディスクを傷めることがありますので、使用しないでください。
- ほこりなどの汚れは、ブロワーを使って吹き飛ばしてください。

はじめに

本機をセットアップ
する

インターネットを
始める

困ったときは

サービス・サポート

その他

コンピュータ廃棄時などのハードディスク上のデータ消去について

コンピュータを廃棄などするときには、お客様の重要なデータを消去する必要があります。

データを消去する場合、一般には次のような作業を行います。

- データを「ごみ箱」に捨てる
- 「削除」操作を行う
- 「ごみ箱を空にする」コマンドを使って消す
- ソフトウェアで初期化(フォーマット)する
- ハードディスク内のリカバリ機能や自作のリカバリディスクを使い、お買い上げ時の状態に戻す

これらの作業では、一見データが消去されたように見えますが、ハードディスク内のファイル管理情報が変更され、WindowsなどのOSのもとで呼び出す処理ができなくなっただけで、本来のデータは残っています。

従って、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読み取ることが可能な場合があります。このため、悪意のある第三者により、重要なデータが読み取られ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。

廃棄時などにハードディスク上の重要なデータが流出するトラブルを回避するためには、ハードディスク上に記録された全データを、**お客様の責任において消去することが非常に重要となります。**消去するためには、専用ソフトウェアあるいはサービス(いずれも有償)を利用するか、ハードディスク上のデータを金槌や強磁気により物理的・磁氣的に破壊して、データを読み取れなくすることをおすすめします。

なお、消去のための専用ソフトウェアなどについての詳細は、VAIOホームページ内「サポート」ページ

(<http://vcl.vaio.sony.co.jp>)の「セキュリティについて」より「ハードディスク上のデータ消去に関するご注意」をご覧ください。

付属ソフトウェアのお問い合わせ先

本機に付属のソフトウェアはそれぞれお問い合わせ先が異なります。各ソフトウェアごとに記載された先へお問い合わせください。

なお、本機に付属のソフトウェアの起動方法やお使いになる際のご注意など詳しい情報は、下記の手順で「バイオ電子マニュアル」を表示させてご覧ください。

- 1 [スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]→[バイオ電子マニュアル]の順にクリックする。

「バイオ電子マニュアル」が表示されます。

- 2 「バイオ電子マニュアル」トップ画面の[ソフト紹介/問い合わせ先]をクリックする。

！ご注意

- Windows XPは、使用者がOS上で作業を行うには一定のユーザー権利とアクセス許可が必要です。

本機に付属のソフトウェアの中でも同様に、一定のユーザー権利とアクセス許可が必要なものがあります。

インストールができない、機能の一部が使用できない、またはソフトウェアが起動できない場合などは、ログインしているユーザーに必要なユーザー権利とアクセス許可が与えられていない可能性があります。

その場合は、システムの管理が可能なユーザー名で再度ログインするか、お使いのユーザー名に「コンピュータの管理者」の権利を与える設定にして作業をやり直してください。「コンピュータの管理者」の権利使用を許可されていない場合は、職場などのシステム管理者にご相談ください。

ユーザー権利とアクセス許可について詳しくは、「ユーザーアカウント」画面左のヘルプをご覧ください。([スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]→[バイオの設定]の順にポインタをあわせ[バイオの設定]をクリックし、表示された画面で[セキュリティ]→[ユーザー アカウント]の順にダブルクリックします。)

なお、ソフトウェアによっては、ユーザーの簡易切り替えに対応していないものがあります。詳しくは、各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。各ソフトウェアの「お問い合わせ先」にお問い合わせください。

- 付属ソフトウェアの一部においては、アプリケーション単独でアンインストールやインストールが行えるものもあります。
ただし、このような操作を行った場合の動作確認は行っておりません。

AVエンターテインメント

□ Do VAIO

VAIOカスタマーリンク

ビデオ編集・再生

□ DVgate Plus

VAIOカスタマーリンク

□ Windows Media(TM) Player

VAIOカスタマーリンク

□ WinDVD for VAIO

(ドルビーバーチャルスピーカー/ドルビーヘッドホン対応)

VAIOカスタマーリンク

DVD作成

□ Click to DVD

(VGN-T70B/L・T50B/L・T50B/Tを含むDVD±RWドライブ搭載モデル)

VAIOカスタマーリンク

音楽

□ SonicStage

VAIOカスタマーリンク

□ SonicStage Mastering Studio

VAIOカスタマーリンク

静止画・写真

□ PictureGear Studio

VAIOカスタマーリンク

ホームネットワーク

□ VAIO Media

VAIOカスタマーリンク

□ VAIO Media Integrated Server

VAIOカスタマーリンク

コミュニケーション

□ みんなでTV電話スタータ

NTTコミュニケーションズ(株)ドットフォン
パーソナルVサポートセンター

電話番号: (0120)050-506

受付時間: 9時~21時(年末年始を除く)

ホームページ: <http://coden.ntt.com/service/pv/>

インターネット・メール

□ Microsoft(R) Outlook Express

VAIOカスタマーリンク

□ Microsoft(R) Internet Explorer

VAIOカスタマーリンク

□ Google ツールバー(TM)日本語版

Google Inc.

電子メール: toolbar-support-ja@google.com

ISPサインアップ

□ インターネット カウンセラー

インターネット カウンセラーサポートセンター

電話番号: (03)3562-4500

受付時間: 月曜~金曜: 10時~18時

(年末年始、土・日・祝日を除く)

※プロバイダーサービス内容やお申し込みにつきましては、各プロバイダーへお問い合わせください(下記参照)。

□ AOL

まだ加入されていない方

お問い合わせ先: AOLかんたん入会ダイヤル

電話番号: (0120)265-265(通話料無料)

受付時間: 9時~21時(土・日・祝日もOK)

会員専用

お問い合わせ先: AOLメンバーズサポート

電話番号: (0120)275-265(通話料無料)

受付時間: 9時~21時(土・日・祝日もOK)

□ @nifty

お問い合わせ先: @niftyブロードバンド導入ご相談窓口

電話番号: (0120)816-042(通話料無料)

受付時間: 毎日9時~21時

□ BIGLOBE

お問い合わせ先: BIGLOBEカスタマーサポート・インフォメーションデスク

電話番号: (0120)86-0962(通話料無料)

受付時間: 9時~22時 365日受付

はじめに

本機をセットアップ
する

インターネットを
始める

困ったときは

サービス・サポート

その他

□ DION

サービス内容に関するお問い合わせ

お問い合わせ先:KDDIカスタマーサービスセンター

電話番号: (0077) 7192 (通話料無料)

受付時間: 9時～21時 (土・日・祝日も受付中)

接続・設定に関するお問い合わせ

お問い合わせ先:KDDIカスタマーサービスセンター

電話番号: (0077) 7084 (通話料無料)

受付時間: 24時間 (土・日・祝日も受付中)

□ OCN

お問い合わせ先:OCNスタートバックヘルプデスク

電話番号: (0120) 047-747 (通話料無料)

受付時間: 月曜～金曜: 9時～21時、土・日・祝日: 9時～17時 (年末・年始は休業とさせていただきます)

□ ODN

お問い合わせ先:ODNサービス案内

電話番号: 0088-86 (通話料無料)

(ブロードバンドは 0088-222-375)

受付時間: 24時間自動音声サービス

9時～18時はオペレータによるご案内も選択できます。

電話でのお申し込みも可能です。

電話番号: 0088-220-810 (通話料無料)

受付時間: 9時～18時

□ ぷらら

お問い合わせ先:株式会社ぷららネットワークス
「ぷららダイヤル」

電話番号 (Windowsをご利用の方):

009192-33 (通話料無料)

電話番号 (携帯電話・PHS・公衆電話からご利用の場合):
(03) 5954-5330

通話料金は、お客様負担となります。

受付時間: 月曜～金曜: 12時～21時、土日祝日: 12時～19時 (5/3～5/5 および 12/29～1/3 を除く)

□ So-net

お問い合わせ先: So-net インフォメーションデスク

電話番号: 0570-00-1414

(通話料: 全国共通3分 / 8.5円)

受付時間: 9時～21時 年中無休

□ Yahoo! BB

お問い合わせ先: Yahoo BB カスタマーサポートセンター

電話番号: (0120) 919-820 (通話料無料)

受付時間: 24時間 年中無休 (施設点検日およびメンテナンス日は休業)

□ ホットスポット

ホットスポットインフォメーションデスク

電話番号: (0120) 815244

受付時間: 月曜～金曜: 10時～18時 (年末年始、祝日を除く)

電子メール: hotspot@ntt.com

ホームページ: <http://www.hotspot.ne.jp/>

ワープロ・表計算

□ Microsoft (R) Office Personal Edition 2003

(VGN-T70B/L・T50B/L・T50B/Tを含む「Office Personal 2003」ソフトウェア搭載モデル)

マイクロソフト スタンダードサポート

電話番号: 東京 (03) 5354-4500 / 大阪 (06) 6347-4400

基本操作に関するお問い合わせ:

4インシデント (4件のご質問) までは無償、それ以降は有償になります。

本件について詳しくは、付属の「Office Personal 2003 プレインストールパッケージ」をご確認いただくか、マイクロソフト スタンダードサポートまでお問い合わせください。

受付時間: 月曜～金曜: 9時30分～12時、13時～19時、土曜: 10時～17時 (マイクロソフト社指定休業日、年末年始、日曜・祝日を除く)

セットアップ、インストール中のトラブルに関するお問い合わせ:

マイクロソフト スタンダードサポートにてサポートいたします。期間、回数の指定はありません。こちらのお問い合わせに限り、日曜日もサポートいたします。

受付時間: 月曜～金曜: 9時30分～12時、13時～19時、土・日曜: 10時～17時 (マイクロソフト社指定休業日、年末年始、祝日を除く)

！ご注意

- お電話をおかけいただく前に、住所、氏名、電話番号、郵便番号、プロダクトIDをご用意ください。プロダクトIDの確認方法については、付属の「Office Personal 2003 プレインストールパッケージ」をご覧ください。
- その他のサポートに関する詳しい情報は、付属の「Office Personal 2003 プレインストールパッケージ」をご確認ください。
- Office Personal 2003 関連のお問い合わせは、VAIO カスタマーリンクではお受けしておりません。

起動方法:

目的にあわせて、[スタート]→[すべてのプログラム]→[Microsoft Office]から各ソフトウェアをクリックして起動します。

！ヒント

Microsoft Office Home Style+ について

[スタート]→[すべてのプログラム]→[Microsoft Office Home Style+ ガイド]をクリックして表示される情報もご覧ください。

□ Microsoft(R) Office Professional Enterprise Edition 2003

(VGN-T90S・T90PSのうち「Office Professional Enterprise 2003」ソフトウェア搭載モデル)

マイクロソフト スタンダードサポート

電話番号: 東京(03)5354-4500 / 大阪(06)6347-4400

基本操作に関するお問い合わせ:

4インシデント(4件のご質問)までは無償、それ以降は有償になります。

本件について詳しくは、付属の「Office Professional Enterprise 2003 プレインストールパッケージ」をご確認いただくか、マイクロソフト スタンダードサポートまでお問い合わせください。

受付時間: 月曜～金曜: 9時30分～12時、13時～19時、土曜: 10時～17時(同社指定休業日、年末年始、日曜・祝日を除く)
セットアップ、インストール中のトラブルに関するお問い合わせ:

マイクロソフト スタンダードサポートにてサポートいたします。期間、回数の指定はありません。こちらのサポートに限り、日曜日もサポートいたします。

受付時間: 月曜～金曜: 9時30分～12時、13時～19時、土・日曜: 10時～17時

(同社指定休業日、年末年始、祝日を除く)

！ご注意

- お電話をおかけいただく前に、住所、氏名、電話番号、郵便番号、プロダクトIDをご用意ください。プロダクトIDの確認方法については、付属の「Office Professional Enterprise 2003 プレインストールパッケージ」をご覧ください。
- その他のサポートに関する詳しい情報は、付属の「Office Professional Enterprise 2003 プレインストールパッケージ」をご確認ください。
- Office Professional Enterprise 2003 関連のお問い合わせは、VAIOカスタマーリンクではお受けしておりません。

起動方法:

目的にあわせて、[スタート]→[すべてのプログラム]→[Microsoft Office]から各ソフトウェアをクリックして起動します。

実用ツール

□ RecordNow!

ソニックサポートセンター

電話番号: (03)5232-6400

受付時間: 土曜、日曜、祝日、年末年始を除く

10時～12時、13時～17時

電子メール: 下記のURLのメールサポートフォームよりお問い合わせください。

ホームページ: <http://www.sonicjapan.co.jp/support/>

□ 駅すばあと

ユーザーサポートセンター

電話番号(テクニカル): (03)5373-3522

電話番号(バージョンアップ): (03)5373-3521

受付時間: 月曜～金曜: 10時～12時、13時～17時

(祝日、年末年始、夏期休暇を除く)

ファックス番号: (03)5373-3523

電子メール: support@val.co.jp

ホームページ: <http://ekiworld.net/>

□ デジタル全国地図

株式会社ゼンリンデータコム お客様相談室

電話番号: (0120)210-616

受付時間: 月曜～金曜: 10時～17時(祝日・株式会社ゼンリンデータコム指定休日は除く)

電子メール: itsmo_navi@zenrin-datacom.net

ホームページ: <http://www.its-mo.net/>

□ 筆ぐるめ

富士ソフトABC インフォメーションセンター

電話番号: (03)5600-2551

受付時間: 月曜～金曜: 9時30分～12時、13時～17時

(土・日・祝日・富士ソフトABC株式会社指定休業日を除く)

ファックス番号: (03)3634-1322

電子メール: users@fsi.co.jp

ホームページ: <http://www.fsi.co.jp/product/>

□ HD革命/BackUp Lite

株式会社 アーク情報システム サポート係

電話番号: (03)3234-9251

受付時間: 月曜～金曜: 10時～12時と13時～17時まで
(年末年始、祝日を除く)

ファックス番号: (03)3234-9252

電子メール: kakumei@ark-info-sys.co.jp

ホームページ: <http://www1.ark-info-sys.co.jp/>

！ご注意

バックアップ・復元を確実にを行うために、必ず、「HD革命/BackUp Lite」のヘルプをお読みください。

はじめに

本機をセットアップ
する

インターネットを
始める

困ったときは

サービス・サポート

その他

□ Adobe (R) Reader (R)

アドビ システムズ 株式会社

ホームページ:

<http://www.adobe.co.jp/support/products/adobereader.html>

製品の操作方法に関するお問合せについて: 製品の操作方法に関しては有償となります。

有償サポート "Adobe Expert Program" についての詳しい情報は

http://www.adobe.co.jp/support/expert_support/main.html

をご参照ください。また、製品別サポートデータベース

<http://www.adobe.co.jp/support/main.html> にて最新のサポート情報を参照することができ、ご自身でトラブルシューティングしていただくこともできます。

□ Norton AntiVirus (TM) 2004

シマンテック コンシューマ テクニカルサポートセンター

ホームページ: <http://www.symantecstore.jp/oem/sony/>

!ご注意

本センターをご利用頂くためには、ユーザー登録が必要です。また、ご利用期間は登録日から90日間となります。期間経過後のご利用は、有償サポートをご購入頂くか、またはパッケージ製品へのアップグレードをご検討ください。

※テクニカルサポートセンターの連絡先は、ご登録された電子メールアドレス宛に通知いたします。

!ご注意

本機の2回目の起動時か、「Norton AntiVirus」ソフトウェアを初めて起動したときは、「Norton AntiVirus」画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

□ VAIO Synchronizer

VAIOカスタマーリンク

設定・ユーティリティ

□ メモリースティックフォーマット

ソニー株式会社 テクニカルインフォメーションセンター

ホームページ:

<http://www.sony.net/memorystick/support/>

□ Smart Network

VAIOカスタマーリンク

□ 「ホットスポット」自動ログインツール

ホットスポットインフォメーションデスク

電話番号: (0120) 815244

受付時間: 月曜～金曜: 10時～18時

(年末年始、祝日を除く)

電子メール: hotspot@ntt.com

ホームページ: <http://www.hotspot.ne.jp/>

□ Sony Notebook Setup

VAIOカスタマーリンク

□ バイオの設定

VAIOカスタマーリンク

サポート・ヘルプ

□ バイオ電子マニュアル

VAIOカスタマーリンク

□ VAIO ハードウェア診断ツール

VAIOカスタマーリンク

□ できるWindows XP for VAIO

インプレスカスタマーセンター

電話番号: (03) 5213-9295

□ How to VAIO

VAIOカスタマーリンク

□ VAIO リカバリユーティリティ

VAIOカスタマーリンク

□ VAIO Update

VAIOカスタマーリンク

その他

□ Java (TM) Software

サン・マイクロシステムズ株式会社

ホームページ: <http://www.java.com/ja/>

□ VAIOオンラインカスタマー登録

ソニーマーケティング株式会社 カスタマー専用デスク

電話番号: (0466) 38-1410

受付時間: 月曜～金曜: 10時～18時

(土曜、日曜、祝日、年末年始を除く)

□ オンラインコンテンツガイド

ソニー株式会社「オンラインコンテンツガイド」

お問い合わせ窓口

受付時間: 月曜～金曜: 9時～17時30分

(年末年始、祝日を除く)

電子メール: info@grami.ne.jp

主な仕様

VGN-T90S・T90PSをご購入のお客様へ

お客様が選択された商品により仕様異なります。^{*1}

本機には、お客様が選択された仕様を記載したラベルが同梱されていますので、そちらもあわせてご覧ください。

項目		VGN-T70B/L	VGN-T50B/L・T50B/T
OS		Microsoft® Windows® XP Home Edition	
テクノロジー		インテル® Centrino™ モバイル・テクノロジー	—
プロセッサ ^{*2}		インテル® Pentium® M プロセッサ 超低電圧版 733 (拡張版 Intel SpeedStep® テクノロジー搭載)	インテル® Celeron® M プロセッサ 超低電圧版 353
動作周波数		1.10 GHz	900 MHz
キャッシュメモリ (CPU内蔵)		1次キャッシュ 64 Kバイト、2次キャッシュ 2 Mバイト	1次キャッシュ 64 Kバイト、2次キャッシュ 512 Kバイト
システムバス		400 MHz	
チップセット		インテル® 855 GME チップセット	
メインメモリ 標準/最大		256 Mバイト/最大768 Mバイト (DDR SDRAM)	
メモリバス ^{*3}		266 MHz / 333 MHz	
拡張メモリスロット (空き)		マイクロ DIMM スロット (DDR333) × 1 (1)	
表示機能	グラフィックアクセラレータ	インテル® 855 GME チップセットに内蔵	
	ビデオメモリ	最大 64 Mバイト (メインメモリ共用)	
	液晶ディスプレイ	10.6型ワイド WXGA (1280 × 768 ドット) 対応、TFT カラー液晶	
	表示モード ^{*4}	最大約 1619 万色 (1280 × 768、1024 × 768、1024 × 600、800 × 600)	
	外部ディスプレイ出力 ^{*5}	最大約 1677 万色 (1600 × 1200、1280 × 1024、1280 × 768、1024 × 768、1024 × 600、800 × 600)	
記憶装置	ハードディスクドライブ	約 40 Gバイト (Ultra ATA/100) (C: 約 15 Gバイト / D: 約 21 Gバイト (お買い上げ時)) ^{*6 *7}	
	CD/DVD ドライブ ^{*8 *9}	内蔵 DVD ± RW ドライブ (固定式) - 書き込み^{*10}: DVD+R 最大 2.4 倍速、DVD+RW 最大 2.4 倍速、DVD-R 最大 2 倍速^{*11}、DVD-RW 最大 2 倍速^{*12}、CD-R 最大 24 倍速、CD-RW 最大 10 倍速 - 読み出し^{*13}: 最大 8 倍速 (DVD-ROM の場合)、最大 24 倍速 (CD-ROM の場合) <バッファアーアウンダーランエラー防止機能搭載>	
外部接続端子		USB2.0 (High-speed/Full-speed/Low-speed 対応) × 2	
		i.LINK (IEEE1394) S400 (4ピン) × 1	
		ネットワーク (LAN) コネクタ (100BASE-TX/10BASE-T) × 1	
		ステレオヘッドホン出力 (ステレオミニジャック) × 1	
		マイク入力 (モノラルミニジャック) × 1	
		外部ディスプレイ出力 (アナログ RGB、ミニ D-sub 15ピン) × 1	
		モテム用モジュラジャック × 1	
ワイヤレス通信		2.4GHz z ワイヤレス LAN (内蔵) (IEEE802.11b/g 準拠、WPA 対応、Wi-Fi 適合) ^{*14 *15}	
		- 無線チャンネル: 1 ~ 14^{*16} - 変調方式: DS-SS (IEEE802.11b 準拠)、OFDM (IEEE802.11g 準拠)	
メモリースティックスロット		メモリースティック (標準 / Duo サイズ対応スロット、メモリースティック PRO 対応、高速データ転送対応) ^{*17}	
PC カードスロット		Type II × 1、CardBus 対応	
オーディオ機能		3D サウンド機能、メガベース (高低音強調) 機能、内蔵ステレオスピーカー	
内蔵モデム ^{*18}		最大 56 kbps ^{*19} (V.92 および V.90 対応) 最大 14.4 kbps (Fax 時)	
入力デバイス		キーボード、インテリジェントタッチパッド	
主な付属品		「付属品を確かめる」(18 ページ) をご覧ください。	
電源		AC アダプタ ^{*20} : AC 100-240 V、50/60 Hz (付属電源コードは AC100 V 用) バッテリー: 出力電圧 7.4 V	
バッテリー駆動時間 ^{*21 *22}		付属バッテリー × 1: 約 8 時間	付属バッテリー × 1: 約 6.5 時間
バッテリー充電時間 ^{*23}		電源オン時: 約 4 時間 (85%)、約 5.5 時間 (100%) 電源オフ時: 約 3.5 時間 (85%)、約 5 時間 (100%)	
温湿度条件		- 動作温度: 5℃ ~ 35℃ (温度勾配 10℃ / 時以下) - 動作湿度: 20% ~ 80% (結露のないこと) ただし 35℃ における湿度は 65% 以下 (露点温度 29℃ 以下) - 保存温度: -20℃ ~ 60℃ (温度勾配 10℃ / 時以下) - 保存湿度: 10% ~ 90% (結露のないこと) ただし 60℃ における湿度は 20% 以下 (露点温度 35℃ 以下)	
外形寸法 (突起物含まず)		約 幅 272 mm × 高さ 25 (最厚部 34) mm × 奥行 205 mm	
質量		約 1.38 kg (バッテリーパック装着時)	
別売品		- リチャージャブルバッテリーパック: VGP-BPS3 - モバイル AC アダプター: VGP-AC16V7 - 増設メモリーモジュール 512MB^{*24}: VGP-MM5121 - フロッピーディスクドライブ: PCGA-UFD5 - ブライバシーフィルター: VGP-FL10 - ポートリブリーク: VGP-PRT1 - キャリングケース: VGP-CKT1 - キャリングポーチ: VGP-CP3	

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

注釈: 1 ~ *24 は次ページをご覧ください。

- *1 CD-RW/DVD-ROM一体型ドライブ搭載モデルの仕様は次のとおりです。
書き込み: CD-R最大 24倍速、CD-RW最大 16倍速
読み出し: DVD-ROM最大 8倍速、CD-R/CD-RW最大 24倍速
- *2 プロセッサの処理能力は使用状況により変化します。
- *3 266 MHz/333 MHzの2モードから選択できます。お買い上げ時は266 MHzに設定されています。
- *4 グラフィックアクセラレータのディザリング機能により実現。
- *5 外部ディスプレイによっては表示できないモードがあります。
- *6 ハードディスクドライブ内にリカバリ(お買い上げ時の状態に戻す)に必要なデータを保持します。
このリカバリ用の領域として約4 G/バイトを消費します。
- *7 1 G/バイトを10億バイトで計算した場合の数値です。Windowsのシステムでは、1 G/バイトを1,073,741,824バイトで計算しており、Windows起動時に認識できる容量は約32 G/バイト(C:13 G/バイト、D:19 G/バイト)になります。ファイルシステムはNTFSです。
- *8 本機のドライブは8 cmディスクの書き込みには対応しておりません。
- *9 CPRM方式で著作権保護されたDVD-RWディスクの再生はできません。
- *10 使用するディスクによっては一部の書き込み/読み出し速度に対応していない場合があります。
- *11 DVD-RはDVD-R for General Ver.2.0に準拠したディスクの書き込みに対応しています。
- *12 DVD-RWはDVD-RW Ver.1.1/1.2に準拠したディスクの書き込みに対応しています。
- *13 ご使用するディスク・設定・環境によっては再生できない場合があります。
- *14 通信速度 (IEEE802.11b:規格値 11 Mbps、IEEE802.11g:規格値 54 Mbps)は、通信機器間の距離や障害物、機器構成、電波状況、使用するソフトウェアなどにより変化します。また、電波状況により通信が切断される場合があります。
通信速度の規格値は、無線規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。
- *15 IEEE802.11gは、IEEE802.11bとの混在環境では相互の干渉により通信速度が低下する場合があります。
- *16 14チャンネルに対する規制が他チャンネルと異なるために、14チャンネルは、IEEE802.11bモードで動作します。
14チャンネルは送信時最大2 Mbpsまでの仕様になっています。
- *17 マジックゲート機能は使用できません。
- *18 一般電話回線のみに対応しています。交換機(PBXやホームテレホンなど)を経由する回線には対応していません。
- *19 V.92方式が利用できない場合には、V.90モデムとして機能します。56kbpsはデータ受信時の理論値です。
データ送信時は規格上33.6kbpsが最大値になります。実際の通信速度は回線品質などの状況により変動します。
- *20 その他の仕様については、ACアダプタのラベルをご覧ください。
- *21 省電力モード時。駆動時間は使用状況および設定等により記載時間と異なる場合があります。
- *22 JEITAバッテリー動作測定法(Ver.1.0)にもとづく駆動時間。詳細についてはVAIOホームページ[サポート]機種別ページで順次ご案内します。
- *23 充電時間は使用状況により、記載時間と異なる場合があります。
- *24 お買い上げ時にメモリ増設済みの場合があります。メモリ状況をご確認の上(110ページ)、お買い求めください。

索引

🔍 ➡ バイオ電子マニュアル

🔍 が付いている項目に関連する情報は、本機にプレインストールされている「バイオ電子マニュアル」内に詳しい情報が記載されています。

「バイオ電子マニュアル」の起動方法

[スタート]ボタン→[すべてのプログラム]→[バイオ電子マニュアル]の順にクリックします。

VAIO ランチャーが起動している

場合は、🔍 をクリックしてください。

【ア行】

アドバンストサポート _____ 99, 103, 106

一般電話回線 _____ 43, 44, 47

インターネット _____ 42

インターネット閲覧 _____ 74

インターネット接続 _____ 74

ウイルス _____ 45, 66, 95

液晶ディスプレイ _ 19, 72, 80, 131

エラーメッセージ _____ 75, 87

オーディオフィルタ機能 _____ 🔍

音楽 _____ 🔍

再生 _____ 🔍

作成 _____ 🔍

音量 _____ 🔍

【カ行】

カスタマー登録 _ 34, 75, 90, 105

カスタマーID _____ 34, 90, 91

画面 _____ 72, 80

カルテ _____ 101

キーボード _____ 19, 26, 72, 82

起動 _____ 72, 76

吸気口 _____ 25

休止状態 _____ 29, 78, 81, 134

携帯電話 _____ 74

結露 _____ 131

コンピュータウイルス _ 45, 66, 95

【サ行】

再生／一時停止ボタン _____ 21

サウンドエフェクトランプ _____ 22

消音ランプ _____ 22

消音／SOUND EFFECTボタン _____ 22

省電力 _____ 🔍

省電力動作モード _____ 29, 72, 134, 🔍

ショートカットキー _____ 🔍

Fnキーとの組み合わせ..... 🔍

Windowsキーとの組み合わせ.... 🔍

スタンバイ _____ 29, 81

スピーカー _____ 73, 🔍

静止画 _____ 🔍

印刷..... 🔍

再生..... 🔍

保存..... 🔍

セキュリティ _____ 9, 33, 66, 95

接続 _____ 🔍

液晶プロジェクタ..... 🔍

外部ディスプレイ..... 🔍

スピーカー..... 🔍

ネットワーク (LAN)..... 🔍

プリンタ..... 🔍

ヘッドホン..... 🔍

マイク..... 🔍

i.LINK..... 🔍

USB機器..... 🔍

設定 _____ 🔍

エフェクト効果..... 🔍

音量..... 🔍

省電力..... 🔍

タッチパッド..... 🔍

ディスプレイ..... 🔍

本機の使用環境..... 🔍

DVDボタン..... 🔍

ソフトウェア _____ 73

不正コピー禁止について.... 134

付属ソフトウェア..... 136

【タ行】

ダイヤルアップ _____ 51, 74

ダイヤルアップ接続 _____ 59

タッチパッド _____ 19, 72, 84, 🔍

左ボタン..... 19

右ボタン..... 19

次ボタン _____ 21

停止ボタン _____ 21

ディスク _____ 73

お手入れ..... 135

再生..... 73

作成..... 73

取り扱いについて..... 131

ディスプレイ _____ 72, 80, 🔍

表示切り替え..... 🔍

テクニカルWebサポート _____ 90, 99

テクノスクエア _____ 105

デスクトップ画面 _____ 🔍

電源 _____ 72, 76

入れる..... 28

切る..... 30

コード..... 18, 28

電子メール _____ 61, 74

動画 _____ 🔍

再生..... 🔍

作成..... 🔍

トーン式ダイヤル _____ 35, 52

ドライブ

アクセスランプ..... 23

イジェクトボタン..... 23

マニュアルイジェクト穴.... 23

【ナ行】

内蔵スピーカー _____ 22

ネットワーク (LAN) _____ 74

ネットワーク/LANコネクタ _____ 23

【ハ行】

パーティションサイズを変更する _____ 128

ハードディスク _____ 72, 86

アクセスランプ..... 20

データ消去について..... 136

取り扱いについて..... 131

バックアップ..... 120, 131

リカバリ..... 117

バイオ電子マニュアル _____ 7, 70, 92, 🔍

排気口 _____ 24

パスワード _____ 39, 72, 79

バッテリー _____ 18, 133, 🔍

コネクタ..... 25

ランプ..... 20

バルス式ダイヤル _____ 35, 52

パワーボタン _____ 19, 29

パワーランプ _____ 19, 29

左ボタン _____ 19

ファン _____ 73

付属ソフトウェア _____ 136

プラグアンドディスプレイ	74
プリンタ	74
プロセッサ	73
フロッピーディスク	73, 132
取り扱いについて	132
ヘッドホン	73
コネクタ	22
ポインタ	31, 85
ポートリプリケーター	74
コネクタ	25
ホームページ	73
ボリュームボタン	22, 73

【マ行】

マイク	73
コネクタ	22
マイサポーター	90, 97, 122
前ボタン	21
右ボタン	19
メガベース	73
メッセージ	75, 78, 87
メモリ	73
増設する	110
モジュールを取り付ける	110
モジュールを取りはずす	115
メモリースティック	73, 20
アクセスランプ	24
スロット	24
取り扱いについて	132
文字入力	72, 82
モジュラジャック	23, 48
モデム	44, 47, 55
モニタコネクタ	24

【ヤ行】

有償サービス	103
--------	-----

【ラ行】

リカバリ	117
ディスクを作成する	122
リカバリ領域を削除する	129
リリースレバー	25

【ワ行】

ワイヤレスLAN	74, 19
スイッチ	19
取り扱いについて	133
ランプ	19

【A】

ACアダプタ	18, 28, 133
AC電源	28
ADSL	43, 44, 49, 54, 74

【C】

Caps Lockランプ	20
CATVインターネット回線	43, 44, 49
CDディスク	73, 135
お手入れ	135
再生	73, 131
作成	73, 131
取り扱いについて	131
CD-RW/DVD-ROM一体型ドライブ	23
CPU	73

【D】

DC INコネクタ	25, 28
Do VAIO	39
設定	39
DV機器	74
DVDディスク	73, 135
お手入れ	135
再生	73, 131
作成	73, 131
取り扱いについて	131
DVDボタン	21, 23
DVD±RWドライブ	23

【I】

IDラベル	19
ISDN	43, 44, 49
i.LINK	74
コネクタ	24

【L】

LCD/Videoスタンバイ	80
----------------	----

【M】

My Sony ID	34, 38, 90
------------	------------

【N】

Num Lockランプ	20
-------------	----

【P】

PCカード	73, 24
イジェクトボタン	24
スロット	24, 133
取り扱いについて	133

【R】

RELEASEレバー	25
------------	----

【S】

Scroll Lockランプ	20
SOUND EFFECTランプ	22

【U】

USBコネクタ	24
---------	----

【V】

VAIO 省電力ビューア	91
VAIO Update	91
VAIOカスタマーリンク	67, 71, 90, 95, 98, 101, 105, 122

【W】

Windows	31, 66, 70, 94, 98, 124, 127
WIRELESS LANランプ	19
WIRELESSスイッチ	19

商標について

- **VAIO** はソニー株式会社の商標です。
- “MagicGate Memory Stick” (“マジックゲートメモリースティック”)および“Memory Stick” (“メモリースティック”)、
MEMORY STICK、、、
MEMORY STICK PRO、**MEMORY STICK DUO**、
MEMORY STICK PRO DUO、“MagicGate” (“マジックゲート”)、**MAGICGATE**、OpenMG、**OpenMG**
はソニー株式会社の商標です。
- i.LINKは、IEEE1394-1995とIEEE1394a-2000を示す呼称です。
i.LINKとi.LINKロゴ“”はソニー株式会社の商標です。
- CD and music-related data from Gracenote, Inc., copyright (c) 2000-2003 Gracenote. Gracenote CDDb (R) Client Software, copyright 2000-2003 Gracenote. This product and service may practice one or more of the following U.S. Patents: #5,987,525; #6,061,680; #6,154,773; #6,161,132; #6,230,192; #6,230,207; #6,240,459; #6,330,593, and other patents issued or pending.
- Gracenote and CDDb are registered trademarks of Gracenote. The Gracenote logo and logotype, the Gracenote CDDb logo, and the "Powered by Gracenote" logo are trademarks of Gracenote.
- "SBM/Super Bit Mapping" is a Trademark of Sony Corp.
- Equaliser for VAIO and Inflator for VAIO from Sony Oxford. Copyright (C) 2003,2004 Sony Business Europe.
- L1 Ultramaximizer, S1 Stereo Imager and Renaissance Bass plug-ins by Waves Ltd.
- Noise Reduction Effector Powered by DigiOn, Inc. Copyright (C) 2003 DigiOn, Inc.
- ASIO Interface Technology by Steinberg Media Technologies AG.
- VST PlugIn Interface Technology by Steinberg Media Technologies AG.
- Digital Music Recognition Technology & MoodLogic for SonicStage Mastering Studio Service provided by MoodLogic, Inc. Copyright (C) 2003.
- Grami All rights Reserved. Copyright Sony Corporation. Contains IP3 Technology licensed from Visionarts, Inc. A part of software is based on the work of the independent JPEG Group.
- Intel, Pentium, Celeron, Intel SpeedStepはIntel Corporationの商標または登録商標です。
- Microsoft, MS-DOS, Windows Media, Windows, Outlook, Bookshelf, PowerPointおよびInfopathは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- IBMおよびPC/AT, PS/2は、米国International Business Machines Corporationの商標および登録商標です。
- Dolby,ドルビー、Pro Logic及びダブルD記号  はドルビーラボラトリーズの商標です。
- (c)2003 Google Inc. All rights reserved.
- Adobe, Adobeロゴ、Adobe ReaderはAdobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の登録商標です。
- Powered by CyberSupport.
「ConceptBase」「ConceptBase Search」「CBSearch」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。
Portion Copyright 2000 株式会社ジャストシステム
Portion Copyright 1981-1988 Microsoft Corporation
- 「できる」は株式会社インプレスの登録商標です。

- Sun, Sun Microsystems, サンのロゴマーク、JavaおよびすべてのJava関連の商標およびロゴマークは、米国Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では(TM)、(R) マークは明記していません。

ソフトウェアをお使いになる前に、必ずお買い上げのコンピュータに添付のソフトウェア使用許諾契約書をご覧ください。

ソニーが提供する情報一覧

インターネット

インターネットに接続すれば、バイオを活用するために役立つ情報を閲覧することができます。

困ったときは



VAIO カスタマーリンク
<http://vcl.vaio.sony.co.jp/>

困ったときにご覧ください。
状況にあった解決方法を提供しています。

テーマ別にバイオの楽しみかたを紹介



ENJOY VAIO
<http://vaio.sony.co.jp/Enjoy/index.html>

バイオをさらに使いこなすためのヒントや、
ソフトウェアを提供しています。

バイオの製品情報が満載



VAIO ホームページ
<http://vaio.sony.co.jp/>

バイオならできること、バイオだからできることを
紹介しています。

画面は予告なく変更することがありますがご了承ください。

電話でのお問い合わせ

使いかたのお問い合わせ

VAIO カスタマーリンク
(0466) 30-3000

受付時間
平日：10時～20時
土、日、休日：10時～17時

お問い合わせには、「お客様サポート番号」、
または「VAIO カスタマーID」が必要です。

カスタマー登録に関するお問い合わせ

カスタマー専用デスク
(0466) 38-1410

受付時間
平日：10時～18時
(年末年始は除く)

有償サービス



VAIO ホームページでは、登録カスタマーのみなさまに
さまざまな有償サービスをご提供しています。

<http://vaio.sony.co.jp/Service/>

■VAIO メール

プロバイダに左右されない「@xxx.vaio.ne.jp」のメールアドレスを
ご提供します。

■VAIO Game Center

豊富なラインナップのゲームをダウンロード販売します。

■VAIO ソフトウェアセレクション

クリエイティブ系や実用ソフトなどをVAIO カスタマー優待価格で
ダウンロード販売します。

■VAIO カスタマイズサービス

ご愛用のバイオのハードディスクやメモリをアップグレードします。
ノートブック型では英語キーボード交換サービスも行っています。

■VAIO 延長保証サービス

バイオ本体の保証期間を3年間に延長します。

■VAIO Overseas Service

海外でバイオのサポートを電話で受けられるサービスです。

画面は予告なく変更することがありますがご了承ください。

サポート情報は、VAIOカスタマーリンクホームページへ
<http://vcl.vaio.sony.co.jp/>

VAIOホームページ
VAIOを楽しく使っていただくための情報をご案内します。
<http://www.vaio.sony.co.jp/>

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35
<http://www.sony.co.jp/>

© 2004 Sony Corporation / Printed in Japan
2-318-155-01 (1)

